明書

九

叢書集成

初編

主編者
王雲五

商務印書館發行

明書

(九)

傅維鱗纂

明書卷四十八

志三

厤法志五

大統厤七政躔度定局。

日

日乃陽精。一日繞地一周。而在天爲不及一度。厤家遂以其度爲行度。而推其右行至三百六十五度四分度之一。復與天會爲一歲。

算法。置積日減二算。三百六十五度二十五分五十秒爲一周天之數除之。冬至行盈度。夏至行縮度。漸盈漸縮。故立歲差法。

冬至日行一度五分。　小寒減一分。爲一度四分。

大寒減一分。爲一度三分。　立春減一分。爲一度二分。

雨水減一分。爲一度一分。　驚蟄減一分。爲一度太。

春分正一度。　清明減一分。爲九十九分。

北京大學圖書館藏

穀雨減一分。爲九十八分。　立夏減一分。爲九十七分。
小滿減一分。爲九十六分。　芒種減一分。爲九十五分。
夏至止九十五分。　小暑增一分。爲九十六分。
大暑增一分。爲九十七分。　立秋增一分。爲九十八分。
處暑增一分。爲九十九分。　白露增一分。爲一度少。
秋分正一度。　寒露增一分。爲一度一分。
霜降增一分。爲一度二分。　立冬增一分。爲一度三分。
小雪增一分。爲一度四分。　大雪增一分。爲一度五分少。

日躔之起。雖有不同。今立爲成局以漸進退。姑以起於虛者立春爲圖。而斟酌用之。均爲二十四氣。一氣得一十五日二十一分八十四秒七十三微半。

二十四節氣太陽行度。

	冬至。	小寒。	大寒。	立春。	雨水。	驚蟄。	春分。	清明。	穀雨。	立夏。	小滿。	芒種。
第一日。	箕四	寅斗十。	牛三。	虛一。	危七。	室七。	壁三。	奎九。	婁七。	胃九。	昴八。	畢十一。
二日。	五寅。	十二度。	四丑。	二子。	八子。	八亥。	四亥。	十乾。	八戌。	十辛。	九酉。	十二庚。

三日.	四日.	五日.	六日.	七日.	八日.	九日.	十日.	十一日.	十二日.	十三日.	十四日.	十五日.
六寅.	七寅.	八寅.	九寅.	斗一度.	二寅.	三艮.	四艮.	五艮.	六艮.	七艮.	八艮.	九艮.
十三丑.	十三丑.	十四丑.	十五丑.	十六丑.	十七丑.	十八丑.	十九丑.	二十丑.	二十一丑.	二十二丑.	二十三丑.	牛一丑. 牛二丑.
五丑.	六丑.	女初度.	一癸.	二癸.	三癸.	四癸.	五癸.	六癸.	七癸.	八癸.	九癸.	十癸. 十一癸.
三子.	四子.	五子.	六子.	七子.	八子.	九子.	危度.	二子.	三子.	四子.	五子.	六子.
九子.	十子.	十一壬.	十二壬.	十三壬.	十四壬.	十五壬.	室一度.	二壬.	三壬.	四壬.	五壬.	六壬.
九亥.	十亥.	十一亥.	十二亥.	十三亥.	十四亥.	十五亥.	十六亥.	十七亥.	十八亥.	壁初度.	一亥.	二亥.
五亥.	六亥.	七亥.	八亥.	奎初度.	一乾.	二乾.	三乾.	四乾.	五乾.	六乾.	七乾.	八乾.
十一戌.	十二戌.	十三戌.	十四戌.	十五戌.	十六戌.	十七戌.	婁一度.	二戌.	三戌.	四戌.	五戌.	六戌.
九戌.	十戌.	十一戌.	十二戌.	胃初度.	一戌.	二戌.	三辛.	四辛.	五辛.	六辛.	七辛.	八辛.
十一酉.	十二酉.	十三酉.	十四酉.	十五酉.	昴初度.	一酉.	二酉.	三酉.	四酉.	五酉.	六酉.	七酉.
十酉.	畢初度.	一酉.	二酉.	三酉.	四酉.	五酉.	六庚.	七庚.	八庚.	九庚.	十庚.	十一庚.
十三庚.	十四庚.	十五申.	觜半度.	參一度.	二申.	三申.	四申.	五申.	六申.	七申.	八申.	九申.

第一日.	井初度. 井十四.	夏至.	小暑.	大暑.	立秋.	處暑.	白露.	秋分.	寒露.	霜降.	立冬.	小雪.	大雪.
二日.	一申.	十五坤.	二十九未.	十二丁.	六午.	四丙.	十九巳.	十四巽.	十辰.	四乙.	三卯.	七甲.
三日.	二申.	十六坤.	鬼初度. 十三丁.	七午.	五丙.	軫初度. 十五巽.	十二辰.	五乙.	四卯.	八甲.
四日.	三申.	十七坤.	一未.	星初度. 八午.	六丙.	一巳.	十六巽.	十三辰.	六乙.	五卯.	九甲.
五日.	四申.	十六坤.	二未.	一丁.	九午.	七丙.	二巳.	十七巽.	亢初度. 七乙.	心一度. 十甲.
六日.	五申.	十九未.	柳初度. 二丁.	十午.	八丙.	三巳.	十八巽.	一辰.	八卯.	二卯.	十一寅.
七日.	六申.	二十未.	一未.	三午.	十一午.	九巳.	四巳.	角初度. 二辰.	九卯.	三卯.	十二寅.
八日.	七申.	二十一未.	二未.	四午.	十二午.	十巳.	五巳.	一辰.	三辰.	十卯.	四卯.	十三寅.
九日.	八坤.	二十二未.	三未.	五午.	十三午.	十一巳.	六巳.	二辰.	四辰.	十一卯.	五卯.	十四寅.
十日.	九坤.	二十三未.	四丁.	六午.	十四午.	十二巳.	七巳.	三辰.	五辰.	十二卯.	六卯.	十五寅.
十一日.	十坤.	二十四未.	五丁.	張初度. 十五丙.	十三巳.	八巳.	四辰.	六辰.	十三卯.	尾初度. 十六寅.

十二日．十一坤．二十五未．六丁．一午．十六丙．十四巳．九巳．五辰．七辰．十四卯．一卯．十七寅．

十三日．十二坤．二十六未．七丁．二午．十七丙．十五巳．十巳．六辰．八辰．十五卯．二卯．箕初度．

十四日．十三坤．二十七未．八丁．三午．翼初度．十六巳．十一巽．七辰．九辰．十六卯．三甲．一寅．

十五日．十四坤．二十八未．九丁．四午．一丙．二丙．十七巳．十二巽．八辰．氐一度．二乙．房初度．一卯．四甲．五甲．二寅．二艮．

十二月太陽過宮．

正月在子．二月在亥．三月在戌．四月在酉．

五月在申．六月在未．七月在午．八日在巳．

九月在辰．十月在卯．十一月在寅．十二月在丑．

二十四氣太陽過宮．

立春子．雨水壬．驚蟄亥．春分乾．清明戌．

穀雨辛．立夏酉．小滿庚．芒種申．夏至坤．

小暑未．大暑丁．立秋午．處暑丙．白露巳．

秋分巽．寒露辰．霜降乙．立冬卯．小雪甲．

大雪寅。　冬至艮。　小寒丑。　大寒癸。

二十四氣太陽躔度。

立春。四.虛　雨水。九.危　後四日入亥。躔娵訾之次。

驚蟄。九.室　春分。五.壁　後七日入戌。躔降婁之次。

清明。十一.奎　穀雨。九.婁　後八日入酉。躔大梁之次。

立夏。十一.胃　小滿。十.昴　後九日入申。躔實沈之次。

芒種。十三.畢　夏至。二.井　後八日入未。躔鶉首之次。

小暑。十七.井　大暑。一.鬼　後七日入午。躔鶉火之次。

立秋。十二.柳　處暑。七.張　後九日入巳。躔鶉尾之次。

白露。五.翼　秋分。一.軫　後十二日入辰。躔壽星之次。

寒露。軫十五。霜降。角十一。後十三日入卯。躔大火之次。

立冬。氐五。小雪。房四。後十一日入寅。躔析木之次。

大雪。尾八。冬至。箕五。後八日入丑。躔星紀之次。

小寒。斗十一。大寒。牛四。後四日入子。躔玄枵之次。

月

月乃陰精。一日繞地一周。而在天爲不及十三度百分度之三十七。厤家遂以不及之度爲行度。積二十九日五十三分△五秒九十三微而與日會爲一月。

春入陽厤。秋入陰厤。月行朱道。則羅在日之春躔。計在日之秋躔。

春入陰厤。秋入陽厤。月行黑道。則羅在日之秋躔。計在日之春躔。

冬入陰厤。夏入陽厤。月行青道。則羅在日之夏躔。計在日之冬躔。

冬入陽厤。夏入陰厤。月行白道。則羅在日之冬躔。計在日之夏躔。

起於女虛俱閏。有閏極後一日半。無閏極速先一日。

遇孛最疾行十四度餘四之三。衝孛最遲行十三度餘。

算法。置積日減二。以三百二十四一之爲順行。減積日。餘不滿順逆行數者。以九因之中數二百四十八數除之。不盡者爲殘分。在一百二十四已下入疾厤。一百二十四已上入遲厤。

疾行。一日十四度半。平行。一日十一度少強。遲行。一日十二度強。二十七日有奇。行一周天。更行二日。與日合朔。

月行之起。有女虛危之不同。宜取其起於危者。立爲定式而斟酌用之。自無繆盩。

每月太陰逐日行度定局。

	初一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日
正月	危初	斗三	室十	壁四	奎七	婁二	胃二	十四
二月	壁二	奎四	十七	婁二	胃十二	昴八	畢九	參五
三月	奎十二	婁八	胃八	昴五	畢七	參三	井五	十七
四月	昴一	畢三	十五	井一	十四	二十七	柳五	星五
五月	參六	井九	二十二	柳一	星初	張七	翼三	十七
六月	井十六	三十	柳九	張二	十六	翼十二	軫五	角一
七月	星五	張十二	翼六	軫初	十三	角九	氐二	房二
八月	翼三	十六	軫九	角四	亢六	氐十二	心四	尾十二
九月	角初	亢二	氐七	心初	尾八	箕五	斗十	牛初
十月	氐一	房初	尾二	箕初	斗五	二十	女三	虛五
十一月	尾十三	牛初	十四	牛五	虛初	危六	十三	十七
十二月	斗九	牛四	女七	危七	十四	室十二	壁初	奎十一

二十三日	二十二日	二十一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日
心二	氐九	亢四	角二	軫六	翼十三	十八	張十	星四	柳四	二十五	井十三	參九	十二	畢初
斗七	箕三	尾六	房三	氐四	角十二	十六	軫十	十六	翼二	張六	柳十三	鬼一	二十	井七
女初	十七	斗三	十四	尾一	氐十四	八	亢三	角一	軫四	翼十二	十五	張二	柳九	三十
十六	危二	女九	牛二	斗十三	箕七	十	尾四	房一	氐三	角十	十四	軫初	翼七	張十二
奎六	壁三	室八	危十	虛六	女四	牛一	斗六	十一	尾十四	心五	氐十三	亢五	角五	軫九
婁一	十四	奎二	十六	室三	危六	虛六	牛六	牛一	斗十二	箕六	尾十	心六	氐六	亢三
畢一	昴二	胃六	婁六	奎十	壁七	室十三	十六	危二	虛六	女四	牛一	斗六	箕一	尾四
參九	十三	畢二	昴初	胃二	婁三	奎八	壁九	十七	室三	危六	虛一	牛五	十五	斗初
鬼一	三十一	井九	參七	畢十一	昴九	十二	胃七	婁六	奎十	壁七	室十一	十四	危初	女七
張二	柳九	三十	十八	井五	參三	畢七	昴五	十四	胃三	婁一	奎五	壁三	室七	危十
十九	翼五	張十	星四	柳四	三十六	十三	井一	參四	畢九	昴七	胃十一	婁十	十五	奎二
角二	軫七	十四	翼初	張六	十三	柳初	十八	十六	井四	參三	畢六	昴四	胃七	婁六

二十四日。尾十一。牛七。虛二。室十三。婁二。胃十。參一。井十一。柳十二。十五。軫十二。亢四。
二十五日。箕三。女四。尾六。壁六。胃二。昴八。井三。三十四。張四。翼九。角七。氐九。心二。
二十六日。斗十三。虛六。室三。奎十。十四。畢九。十六。柳三。十八。軫二。氐初。十四。尾十一。
二十七日。牛三。危十一。十六。婁五。畢初。參五。三十九。尾二。翼十三。十六。尾初。箕八。
二十八日。女十。室八。奎一。胃五。十二。井八。柳七。張九。軫二。角十一。氐四。十五。斗十五。
二十九日。危二。壁三。十四。昴三。參八。二十。張初。翼四。角一。房二。牛三。
三十日。十六。婁九。翼三。鬼初。十八。

木星

木曰歲星。木之精也。五日行一度。亦不及天數也。其行十二年一周天。太歲在四仲則行三宿。在四孟四季則行二宿。歲行一舍。故謂之歲星。八十三年而七周天。與日合度者七十六。合期約三百九十九日。取上古甲子四分爲八十三號。每號分爲十二月。而置閏於其下。閏在號前。那前一月。閏在號後。那後一月。比日較遲。合伏以後日在前。距日十三度晨見。初疾漸遲。○距日一百九度而留。○留後距日一百三十一度而退。初遲漸疾。○退止而留。背距日一百三十一度。○留久而順行。則背距日一百九度。初遲漸疾。○背距日十三度而伏。○最疾約四百行一度。○加減最多處約七度。○合期三百九十九日。

晨伏 十七日行四度去日十三度五十分晨見東方 順 一百十三日行十度七十六分 留 一百十三日行十七度七十六分 晨逆 四千六百九十四分一十秒半行四度九十一分八十五秒 夕退 同上 留 同上 順 同上 夕伏 十七日行四度復與日同度

歲星定局圖

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
正	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	閏
女虛	虛危	危	危	危	危	危	危	危	危	危室	室
室壁	壁	奎	奎	奎	奎	奎	奎	奎	壁	壁奎	奎
奎婁	婁	婁	婁	婁	婁	胃昴	畢	參	胃	胃	胃
胃	胃昴	昴畢	畢	畢	畢	畢參	參	參	參	參	參畢
畢	畢參	參	參井	井	井	井	井	井	井	井	井
參	參	井	井	井鬼	柳	柳星	星張	張	張	張	張
井	井	井	井	柳	柳	張	張	井	井	井	井
井	井	井	井	井	井	井	井	井角	角	角	角
張	張	張	張	張	張	張	張翼	翼	翼	翼	翼
翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼	翼	角	角	角	角
軫	軫	軫	軫	軫	軫	軫	軫	軫	軫	軫	軫
亢	亢角	角	角	角	角	角亢	亢	亢氐	氐	氐	氐房
											房

十.	十一.	十二.	十三.	十四.	十五.	十六.	十七.	十八.	十九.	二十.	二十一.	二十二.	二十三.
心.	箕.	斗.	虛危.	室.	奎.	胃.	參.	井.	張.	軫.	亢.	心.	箕.
心.	箕斗.	斗.	危.	室壁.	奎婁.	昴.	參.	井.	張.	軫.	亢.	心.	箕.
心.	斗箕.	牛女.	危室.	壁.	婁.	昴畢.	參.	井.	張.	軫翼.	亢角.	心.	斗.
房氐.	箕.	女.	室.	奎.	婁胃.	畢.	參井.	井.	張.	翼.	角.	心.	斗.
氐.	箕.	女.	室.	奎.	胃.	畢.	井.	井鬼.	張.	翼.	角.	房.	斗.
氐.	箕.	女牛.	室.	奎.	胃.	畢參.	井.	柳.	張翼軫.	翼.	角.	房.	斗.
氏房.	尾.	牛.	室危.	奎.	胃昴.	參.	井.	柳星.	翼.	軫.	亢.	房.	箕.
房心.	尾箕.	牛.	危.	奎.	昴.	參井.	井.	星張.	翼.	軫.	亢氐.	房心.	箕.
心尾.	箕.	牛.	危.	奎.		井.	柳井鬼.	張.	翼.	軫角.	氐.	心尾.	箕.
尾.	箕斗.	牛.	危.	奎.		井參.	柳.	張.	翼軫.	角.	氐.	尾.	箕.
尾.	牛.	牛女.	危室.	奎.	胃.	參.	柳.	張.	軫.	角亢.	氐房.	尾.	斗.
尾箕.	斗.	女.	室.	奎.	胃.	參.	柳鬼.	井.	張.	軫.	亢.	箕.	斗.
		虛.			胃.						亢.		斗.

二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八
牛	虛	室	奎	胃	參	鬼	張	軫角	氐	心尾	斗	牛女	危	奎婁
女	危	室	奎婁	昴	參井	井	張	角	氐亢	尾	斗	女	危	婁
女	危	畢	胃	昴	井	井	張	角	亢	尾	斗	女虛	危室	婁
女	室	奎	胃	畢	井	鬼	張	角軫	亢	尾	斗	虛	室	胃
女	室	奎	昴	畢	井	柳	張	軫	亢	心	斗	虛	室	胃
女	室	奎	昴	觜	井	柳	翼	軫	亢	心	斗	虛女	室	昴
女	室	婁	昴	參	井	星	翼	軫	亢	心	箕	女	室	昴畢
斗	室	婁	昴	井	鬼	張	翼	軫角	氐	心	箕斗	女	室	畢
牛	室	奎	昴	井	柳	張	翼	角	氐	心	斗	女	室	畢
女	危	室	奎	昴	井	柳	張	軫	角	氐	尾	女	室	畢昴
女	室	奎	昴	井	柳	翼	軫	亢	氐房	尾	斗	虛	室	昴
虛	室	奎	昴	參	胃	柳	翼	軫	亢氐	房心	尾箕	斗牛	室	昴
		奎			柳									昴

三十九．	昴．	昴．畢．	畢．	畢．	參．	參．井．	井．	井．	井．	井．	井．	井．	
四十．	室．壁．	壁．	奎．	奎．	奎．婁．	婁．	婁．	婁．	婁．奎．	奎．	奎．	奎．	
四十一．	井．	井．	井．	井．	井．	井．	井．鬼．	柳．	柳．	柳．	柳．	柳．	
四十二．	柳．	柳．	柳．	柳．	柳．	柳．星．	星．張．	張．	張．	張．翼．	翼．	翼．	
四十三．	翼．張．	張．	張．	張．	張．翼．	翼．	翼．	翼．	軫．	軫．	軫．	軫．	
四十四．	軫．	軫．	軫．	軫．	軫．	軫．	軫．	軫．角．	角．	角．亢．	亢．	亢．氐．	
四十五．	氐．	氐．	氐．	氐．亢．	亢．	亢．	亢．	亢．氐．	氐．	氐．	氐．房．	心．	心．尾．
四十六．	尾．	尾．	尾．	尾．	尾．心．	心．	心．	尾．	尾．	尾．	尾．箕．	箕．斗．	
四十七．	斗．	斗．	斗．	斗．	斗．	斗．	斗．	斗．	斗．	斗．	斗	斗．牛．	牛．女．
四十八．	女．	女．虛．	虛．	虛．	虛．	虛．	虛．女．	女．	女．	女．虛．	虛．危．	危．	
四十九．	危．	危．室．	室．	室．	室．壁．	壁．	壁．	室．	室．	室．	室．	室．	
五十．	室．壁．	壁．奎．	奎．	奎．	奎．婁．	婁．	婁．	婁．	婁．	婁．	婁．	婁．	婁．
五十一．	婁．	婁．胃．	胃．	胃．昴．	昴．	昴．畢．	畢．	畢．	畢．	畢．	畢．昴．	昴．	
五十二．	昴．	畢．	畢．	畢．參．	參．	參．井．	井．	井．	井．	井．	井．	井．	

六十六	六十五	六十四	六十三	六十二	六十一	六十	五十九	五十八	五十七	五十六	五十五	五十四	五十三
星柳	井	畢	婁胃	壁奎	危	女	斗	尾	氐	角	翼	柳	井
柳	井	畢	胃	奎	危室	女虛	斗	尾	氐	角軫	翼	柳	井
柳	井	畢	胃	奎婁	室	虛危	斗	尾	氐	軫	翼張	柳	井
柳	井	畢參	胃昴	婁	室	危	斗	尾	氐	軫	張翼	柳	井
星	井	參	昴畢	婁胃	壁	危	斗	尾	亢	軫	翼	柳星	井
星張	柳 井鬼	參井	畢	胃	壁	危	斗	尾	亢氐	軫	翼	星張	井
張	柳	井	畢	胃	壁	危室	斗	尾	氐	軫	翼	張	柳 井鬼
張	柳星	井	畢	胃	壁	虛	斗	尾	氐	軫角	翼軫	張	柳
翼	星	井	畢	胃	壁室	虛	斗	尾	氐	角	軫	張翼	柳
翼	星張	井	畢	胃婁	室	虛	斗	尾	氐房	角亢	軫	翼	柳星
翼	張星	井	畢	婁	室	虛危	斗牛	尾箕	心尾	亢	軫	翼	星
翼	星	井	畢	婁	室	危	牛女	箕斗	尾	氐	軫	翼	星
				婁				斗					星柳

六十七.	翼.	角.	氐.	尾.	斗.	女. 虛.	女.	室.	壁. 奎.	胃.	畢.	參.
	翼.	角.	氐.	尾.	斗.	虛.	虛.	室.	奎.	胃.	畢.	參.
	翼.	角.	氐.	尾.	斗. 牛.	虛. 危.	虛.	室. 壁.	奎. 婁.	胃.	畢.	參.
	翼.	軫.	氐.	尾.	牛. 斗.	危.	危.	壁.	婁.	昴.	畢.	參.
	翼.	軫.	氐.	尾.	斗.	危.	危.	壁.	婁.	畢.	參. 井.	井. 柳.
	翼.	軫.	氐.	尾.	斗.	危.	危.	壁.	奎.	胃.	畢.	井. 柳. 星.
	翼.	軫. 角.	氐.	尾.	斗.	危.	危.	奎. 壁.	胃.	畢. 觜.	參.	井. 星. 張.
	軫.	角.	氐.	尾.	斗.	危.	危.	壁.	胃.	參.	井.	張. 翼.
	軫.	角.	氐. 房.	尾.	斗.	危.	危.	壁.	胃.	畢.	井.	張. 翼.
	軫.	亢. 氐.	房. 心.	箕.	斗.	虛.	虛.	壁.	胃.	畢.	井.	張. 翼.
	角.	氐.	心. 尾.	箕. 斗.	斗. 牛.	虛. 危.	虛.	壁.	婁.	畢.	井.	張. 翼.
	角.	氐.	尾.	斗.	牛.	危.	危.	壁.	婁.	畢.	井.	翼.
			尾.						婁.		井.	角.

七十.	七十一.	七十二.	七十三.	七十四.	七十五.	七十六.	七十七.	七十八.	七十九.	八十.		
尾.	斗.	女. 虛.	室.	壁. 奎.	胃.	畢.	井.	張. 星.	翼.	角.		
尾.	斗.	虛.	室.	奎.	胃.	畢.	井.	星.	翼.	角.		
尾.	斗. 牛.	虛. 危.	室. 壁.	奎. 婁.	胃.	畢. 參.	井.	星.	翼.	角.		
尾.	牛. 斗.	危.	壁.	婁.	昴.	參.	井.	星.	翼.	角.		
尾.	斗.	危.	壁.	婁.	畢.	參. 井.	井. 柳.	張.	翼.	角.		
尾.	斗.	危.	壁.	奎.	胃.	井.	柳. 星.	張.	翼.	角.		
尾.	斗.	危.	奎. 壁.	胃.	畢. 觜.	井.	星. 張.	張.	翼. 軫.	角.		
尾.	斗.	危.	壁.	胃.	參.	井.	張.	張. 翼.	軫.	角.		
尾.	斗.	危.	壁.	胃.	畢.	井.	張.	翼.	軫.	亢. 氐.		
箕.	斗.	虛.	壁.	胃.	畢.	井.	張.	翼.	軫. 角.	氐.		
箕. 斗.	斗. 牛.	虛. 危.	壁.	婁.	畢.	井.	張.	翼.	角.	氐.		
斗.	牛.	危.	壁.	婁.	畢.	井.		翼.	角.	氐. 房.		
				婁.		井.			角.			

八十一。房。房。房。氐。氐。氐。氐。氐。氐。氐。房。心。心。尾。尾。尾。斗。
八十二。尾。箕。箕。箕。箕。箕。箕。尾。尾。尾。尾。箕。箕。箕。斗。
八十三。斗。斗。牛。牛。牛。牛。牛。牛。斗。斗。斗。斗。斗。牛。牛。女。女。

火星

火星曰熒惑。火之精也。三日行一度。亦不及天數也。其行二年一周天。常以十月入太微垣受制而出。以其疏急無常道。故謂之熒惑。七十九年而四十二周天。與日合度者五十七。合期三百七十八日。取上古甲子而分爲七十九號。每號分爲十二月。而置閏於其下。閏在號前。那前一月。閏在號後。那後一月。

比日較遲。合伏以後日在前。距日十九度而晨見。初疾漸遲。○距日一百三十四度而留。○留後距日一百四十四度而退。初遲漸疾。○退止而留。背日一百四十四度。○留久而順。背距日一百三十四度。初遲漸疾。○背距日十九度伏合。○最疾七日行五度。○加減最多處二十五度。○合期三百七十八日。

晨伏 七十一日行五十一度。去日二十度。晨見東方。 順行 二百八十日。行六百十四度九十。 留 八日不行。 晨逆 三十日九十六分四十八秒。行八度五十△分八十八秒。 夕逆 三十日。 留 八日不行。

順 二百八十日。 夕伏 七十一日。行度同上。

熒惑定局圖

正	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	閏
一．危．女．虛．	壁．危．室．	壁．奎．	胃．奎．婁．	畢．胃．昴．	畢．參．	參．井．	井．	柳．井．鬼．	張．柳．星．	張．	張．退．	
二．退．	退．柳．	柳．星．	張．星．	張．翼．	翼．軫．	軫．角．	氐．角．亢．	心．氐．房．	心．尾．	箕．斗．	女．斗．牛．	
三．危．女．虛．	壁．危．室．	壁．奎．	胃．奎．婁．	畢．胃．昴．	參．畢．	氐．角．亢．	心．氐．房．	星．鬼．柳．	星．張．	張．翼．	翼．	
四．軫．翼．退．	退．	退．翼．	翼．	翼．軫．	軫．角．	角．亢．	心．氐．房．	心．尾．	箕．斗．	翼．軫．	軫．角．	角．亢．
五．危．室．	壁．奎．	胃．奎．婁．	胃．昴．	參．昴．畢．	參．井．	井．鬼．	星．鬼．柳．	星．張．	張．翼．	張．翼．	翼．軫．	角．亢．
六．亢．氐．	退．氐．亢．	退．	角．	角．亢．	亢．氐．	心．氐．房．	箕．心．尾．	箕．斗．	女．斗．牛．	危．女．虛．	危．室．	
七．室．壁．奎．	胃．奎．婁．	胃．昴．	參．昴．畢．	參．	井．	柳．井．鬼．星．	斗．尾．箕．	星．張．	張．翼．	翼．軫．	角．亢．	亢．氐．
八．氐．房．心．	心．尾．	尾．箕．	箕．退．	退．	退．尾．	尾．		斗．	女．斗．牛．虛．	虛．危．	壁．危．室．	壁．奎．

九．壁．奎．婁．
十．尾．箕．
十一．奎．婁．胃．
十二．箕．斗．
十三．胃．昴．畢．
十四．斗．女．虛．女．
十五．參．
十六．斗．牛．女．虛．
十七．井．

胃．昴．
箕．斗．
胃．昴．
斗．牛．女．虛．
畢．參．
虛．危．室．
參．井．
井．柳．星．
昴．畢．
斗．牛．女．
室．壁．
井．
室．壁．
井．柳．星．
井．畢．參．
危．女．虛．井．
井．
壁．奎．
柳．井．鬼．室．
虛．危．室．
參．井．
柳．井．鬼．
壁．奎．婁．
井．
鬼．柳．
井．
危．
井．
柳．井．鬼．星．
危．室．
柳．井．鬼．
奎．婁．
胃．昴．
張．柳．星．
張．翼．
畢．參．
張．翼．
柳．井．鬼．
張．翼．
張．柳．星．
退．
星．張．
張．翼．
翼．軫．
畢．參．
翼．軫．
張．翼．
畢．
張．翼．
畢．參．
井．
軫．角．
昴．胃．
張．翼．
退．
張．翼．
氐．角．亢．
參．井．
軫．角．
氐．角．亢．
翼．軫．
退．
翼．軫．
心．氐．房．
井．
井．
軫．角．
退．昴．胃．
翼．軫．
退．
翼．軫．
尾．箕．
柳．井．鬼．
心．氐．房．尾．
退．
氐．角．亢．
退．婁．
亢．軫．角．
室．退．危．
亢．軫．角．
箕斗
柳．
尾．箕．
退．
心．氐．房．尾．
婁．胃．
亢．氐．
室．壁．
亢．氐．
女．斗．牛．虛．
退．
箕．斗．
退．畢．
尾．箕．
胃．
壁．奎．
心．氐．房．尾．
斗
尾．箕．

十八.	虛.危.室.	室.壁.	壁.奎.婁.	婁.胃.	胃.昴.畢.	畢.參.	參.井.	井.鬼.	柳.星.	星.張.	張翼	翼.	
十九.	退.	退.	退.張.	張.翼.	翼.	翼.軫.	軫.角.	角.亢.氐.	氐.房.心.	心.尾.箕.	箕.斗.	斗.牛.女.	虛.危.
二十.	室.壁.	壁.奎.婁.	婁.胃.	胃.昴.畢.	畢.參.	參.井.	井.鬼.柳.	柳.星.張.	張.翼.	翼.	翼.軫.	軫.角.	
二十一.	角.	退.	退.	退.軫.	軫.角.	角.亢.	亢.氐.	氐.房.心.尾.	尾.箕.	箕.斗.	斗.牛.女.虛.	虛.危.	
二十二.	室.壁.	壁.奎.	婁.胃.	胃.昴.畢.	畢.參.	參.井.	井.鬼.柳.	柳.星.張.	張.翼.	翼.軫.	軫.	軫.角.亢.	亢.氐.
二十三.	氐.房.	房.心.	心.房.退.	退.	氐.	氐.房.心.	心.尾.	尾.箕.斗.	斗.	牛.女.虛.	虛.危.室.	室.壁.	
二十四.	壁.奎.	婁.胃.	胃.昴.	畢.參.	參.井.	井.鬼.柳.	柳.星.張.	張.翼.	翼.軫.	軫.角.	角.亢.	亢.氐.	
二十五.	房.心.尾.	尾.箕.	箕.斗.	斗.牛.	牛.女.	女.牛.退.	退.	退.牛.	牛.女.	女.虛.危.	危.室.	室.壁.奎.	
二十六.	婁.胃.	胃.昴.畢.	畢.參.	參.井.	井.	鬼.柳.星.	星.張.	張.翼.	翼.軫.角.	角.亢.	亢.氐.房.	房.心.尾.	

二十七。	尾箕斗。	斗女。	牛女虛危室。	室壁奎。	奎婁。	婁胃昴。	昴畢。	畢觜參。
二十八。	畢昴胃。	畢參。	參井。	井	井鬼柳星。	星張。	張翼。	翼軫。
二十九。	斗牛。	牛女虛。	危室。	室壁奎。	奎婁。	婁胃。	胃昴畢。	畢。
三十。	畢。	畢參。	參井。		井鬼柳星。	星張。	張翼。	翼軫。
三十一。	牛女虛危。	危室。	室壁奎。	奎婁。	婁胃。	昴畢。	畢參。	參井。
三十二。	井。	井。	井鬼柳。	柳星。	星張。	張翼。	翼軫。	軫角亢。
三十三。	牛女虛危。	危室。	室壁奎。	奎婁。	婁胃昴。	昴畢參。	畢參井。	參井鬼。
三十四。	退柳。	柳星。	星張。	張翼。	翼。	翼軫角亢。	軫角亢。	亢氐。
三十五。	虛危室。	室壁奎。	奎婁。	婁昴。	昴畢。	畢。	井。	井。

二十七。	退。	退。	婁。	婁胃。	胃。	昴。	畢。	畢參。
二十八。	亢氐房。	房心尾。	尾。					
二十九。	參畢退。	退昴。	昴畢。	畢。				
三十。	亢氐。	氐房心尾。	尾箕斗。	斗牛。				
三十一。	井。	井。	退。	退。				
三十二。	亢。	氐房心尾。	尾箕斗。	斗牛。				
三十三。	柳井鬼。	柳星。	星張。	張。	張。			
三十四。	心尾氐房柳星。	尾箕。	斗。	斗。				
三十五。	張翼。	翼。	翼軫。	軫。				

三十六.	軫.翼.退.	退.	翼.	翼.軫.	軫.	亢.氐.	亢.氐.	氐.房.心.尾.	尾.箕.	斗.	牛.女.虛.	虛.危.室.	
三十七.	室.壁.	奎.婁.	婁.胃.	胃.昴.畢.	畢.參.井.	井.鬼.柳.	井.鬼.柳.	柳.星.張.	張.翼.	翼.軫.	軫.	軫.角.亢.	
三十八.	亢.氐.	氐.	氐.亢.退.	退.角.	角.亢.	氐.房.	氐.房.	房.心.尾.	斗.箕.尾.	斗.牛.	牛.女.虛.	虛.危.室.	
三十九.	壁.奎.婁.	婁.胃.	胃.昴.畢.	畢.參.	參.井.	井.鬼.柳.	柳.星.張.	張.翼.	翼.軫.	軫.角.	角.亢.	氐.房.	
四十.	房.心.尾.	尾.箕.	箕.斗.	退.	退.	退.箕.	箕.	斗.	斗.牛.女.	女.虛.危.	危.室.	室.壁.奎.	
四十一.	奎.婁.	婁.胃.	胃.昴.畢.	畢.參.	參.井.	井.鬼.柳.	柳.星.張.	張.翼.	翼.軫.	軫.角.	角.亢.氐.	氐.房.	房.心.尾.
四十二.	尾.箕.斗.	斗.牛.	牛.女.虛.	虛.危.	危.室.	室.壁.	壁.室.退.	退.	室.	室.壁.	壁.奎.	奎.婁.	
四十三.	婁.胃.	胃.昴.畢.	畢.參.	參.井.	井.鬼.柳.	柳.星.	張.翼.	翼.軫.	軫.角.	角.亢.	氐.房.	心.尾.	
四十四.	尾.箕.斗.	斗.牛.女.	女.虛.危.	危.室.	室.壁.奎.	奎.婁.	婁.胃.	胃.昴.	昴.	退.	退.	退.胃.	胃.昴.

四十五. 昴.畢. 畢.參. 參.井. 井.鬼. 柳.星. 星.張. 翼. 角.翼.軫. 角.亢. 亢.氐. 氐.房. 房.心. 心.尾. 尾.箕. 斗.

四十六. 斗.牛. 女. 女.虛. 危. 危.室. 室.壁. 壁.奎. 奎.婁. 婁.胃. 胃.昴. 昴.畢. 畢.參. 參.井. 井. 井.鬼. 鬼.柳. 柳.星. 星.張. 張.翼. 翼.軫. 軫.角. 角.亢. 亢.氐. 氐.房. 房.心. 心.尾. 尾.箕. 箕.斗. 斗.牛. 牛.女. 女.虛. 虛.危. 危.室.

四十七. 參. 井.井. 井. 井.鬼. 鬼.柳. 柳.星. 星.張. 張.翼. 翼.軫. 軫.角. 角.亢. 亢.氏. 氏.房. 房.心. 心.尾. 尾.箕. 箕.斗. 斗.牛. 牛.女. 女.虛. 虛.危. 危.室. 室.壁. 壁.奎. 奎.婁. 婁.胃. 胃.昴. 昴.畢. 畢.參. 參.井.

四十八. 女. 虛. 危. 危. 室. 室.壁. 壁.奎. 奎.婁. 婁.胃. 胃.昴. 昴.畢. 畢.參. 參.井. 井. 井.鬼. 鬼.柳. 柳.星. 星.張. 張.翼. 翼.軫. 軫.角. 角.亢. 亢.氐. 氐.房. 房.心. 心.尾. 尾.箕. 箕.斗. 斗.牛. 牛.女. 女.虛. 虛.危. 危.室. 室.壁. 壁.奎. 奎.婁. 婁.胃. 胃.昴. 昴.畢. 畢.參. 參.井.

四十九. 退. 井.井. 井. 井.鬼. 鬼.柳. 柳.星. 星.張. 張.翼. 翼.軫. 軫.角. 角.亢. 亢.氐. 氐.房. 房.心. 心.尾. 尾.箕. 箕.斗. 斗.牛. 牛.女. 女.虛. 虛.危. 危.室. 室.壁. 壁.奎. 奎.婁. 婁.胃. 胃.昴. 昴.畢. 畢.參.

五十. 危. 室.室. 室.壁. 壁.奎. 奎.婁. 婁.胃. 胃.昴. 昴.畢. 畢.參. 參.井. 井. 井.鬼. 鬼.柳. 柳.星. 星.張. 張.翼. 翼.軫. 軫.角. 角.亢. 亢.氐. 氐.房. 房.心. 心.尾. 尾.箕. 箕.斗. 斗.牛. 牛.女. 女.虛. 虛.危. 危.室.

五十一. 翼. 退. 退. 退. 張.翼. 翼.軫. 軫.角. 角.亢. 亢.氐. 氐.房. 房.心. 心.尾. 尾.箕. 箕.斗. 斗.牛. 牛.女. 女.虛. 虛.危. 危.室. 室.壁. 壁.奎. 奎.婁. 婁.胃. 胃.昴. 昴.畢. 畢.參. 參.井.

五十二. 危. 室.室. 室.壁. 壁.奎. 奎.婁. 婁.胃. 胃.昴. 昴.畢. 畢.參. 參.井. 井. 井.鬼. 鬼.柳. 柳.星. 星.張. 張.翼. 翼.軫. 軫.角. 角.亢. 亢.氐. 氐.房. 房.心. 心.尾. 尾.箕. 箕.斗. 斗.牛. 牛.女. 女.虛. 虛.危. 危.室.

五十三. 角. 退. 亢. 退. 退. 退. 軫. 軫.角. 角.亢. 亢.氐. 氐.房. 房.心. 心.尾. 尾.箕. 箕.斗. 斗.牛. 牛.女. 女.虛. 虛.危. 危.室.

五十四。室壁。奎。
五十五。氐房。心尾。
五十六。奎婁。
五十七。心尾。
五十八。婁胃。
五十九。箕斗。
六十。胃昴。
六十一。斗牛。女。
六十二。畢參。

奎婁。
尾。
婁胃。昴。
尾。
昴畢。
斗。
胃昴。
畢觜。
斗牛。女。
昴畢。
女虛。危。
參井。

昴畢。
退。
畢參。井。
牛女。
參井。
危室。
井。
畢參。井。
井。
女虛。
井。
女虛。危。
危室。
井。
室壁。奎。
井鬼。柳。

井。
心尾。
井鬼。柳。
退心。
井。
奎室壁。
柳井鬼。
危。
柳星。
室壁。奎。
胃奎婁。
柳星。張。

心尾。
井鬼。柳。
尾箕。
柳星。張。
井。
柳星。
張翼。
奎。
張。
張翼。
胃昴。
張翼。

張翼。
箕斗。
張翼。
斗牛。女。
翼軫。
翼。
昴畢。
翼。
胃。
翼。
畢參。
軫。角。
翼軫。
女虛。危。
軫角。
翼軫。
軫角。
角亢。氐。
軫角。
角亢。氐。
參。
胃婁。退。
角亢。
危室。
氐房。心。
退。
角亢。氐。
退。
氐房。心。
退畢。
心尾。
畢。
尾箕。斗。
箕斗。
婁。
婁胃。
室壁。奎。
氐房。心。
尾房。心。
室壁。奎。
奎婁。

六十三。斗牛。女。
六十四。井。
六十五。女。虛。危。
六十六。退。星。
六十七。危。室。
六十八。軫。
六十九。室。壁。奎。
七十。亢。氐。
七十一。室。壁。奎。

女。虛。危。
井。
危。室。
星。張。
室。壁。奎。
退。
室。壁。奎。胃。奎。婁。
氐。房。

井。鬼。柳。
張。
奎。室。壁。
胃。奎。婁。
柳。星。張。
張。翼。
胃。奎。婁。
張。翼。
翼。軫。
軫。角。
軫。角。
參。井。
井。
角。亢。
井。
角。亢。
井。
房。亢。氏。
柳。井。鬼。
尾。房。心。
斗。尾。箕。
女。斗。牛。
女。斗。牛。
危。女。虛。
退。柳。鬼。
退。

危。室。
壁。奎。
奎。婁。
胃。昴。
昴。畢。
畢。參。
參。昴。畢。
昴。畢。
畢。參。
井。
參。井。
軫。角。
角。亢。
井。
畢。參。
井。
井。鬼。
鬼。柳。
柳。星。張。
張。翼。
翼。軫。
軫。角。
角。亢。
氐。房。心。

胃。昴。
昴。畢。
畢。參。
井。
軫。角。
氐。
柳。井。鬼。
星。張。
張。翼。
翼。軫。
軫。角。
角。亢。
氐。房。
心。尾。
斗。尾。箕。
女。斗。牛。
危。女。虛。
危。室。

井。
井。鬼。
鬼。柳。
柳。星。張。
張。翼。
翼。軫。
軫。角。
角。亢。
氐。房。心。
房。心。尾。
尾。房。心。
斗。尾。箕。
女。斗。牛。
危。女。虛。
軫。
張。翼。
退。

七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九
心尾	奎婁	女	胃昴	箕斗	畢	斗牛女	退井
尾箕斗	婁胃昴	斗牛女	昴畢	斗牛女	參井	虛危	井
斗	昴畢	女虛危	畢參井	女虛危	井	危室壁	井
斗	畢參井	危室	井	危室	井鬼柳	壁奎	井鬼柳
退	井	室壁	柳井鬼	壁奎	柳星張	奎婁胃	柳星張
退	柳井鬼	壁奎	張柳星	奎婁胃	張翼	胃昴	張翼
斗	張柳星	奎	張翼	胃昴	翼軫	昴畢參	翼軫
斗牛	張翼	奎壁退	翼軫	昴畢	軫角	參井	軫角
虛牛女	翼軫	退	軫角	畢	角亢氐	井	角亢氐
虛危	軫角	壁奎	角亢	退	氐房心	井	氐房心
危室	角亢氐	奎婁	氐房心尾	退昴	心尾箕	退	心尾箕
室壁奎	氐房心	婁胃	尾箕	昴	箕斗	退	箕斗女
	尾箕			昴畢			

土星曰鎮星。又曰填星。乃土之精也。其行最疾。七日行一度。亦不及天數、其行二十八年一周天。常以甲辰元始建斗之歲歲鎮一宿。故曰鎮星。五十九年而二周天。與日合度者七十五。合期約三百七十八日。取上古甲子而分爲五十九號。每號分爲十二月。而置閏於其下。閏在號前。那前一月。閏在號後。那後一月。

比日較遲。合伏已後日在前。距日二十八度半晨見。初疾漸遲。○距日七十四度而留。○留後距日一百二十八度而退。初遲漸疾。○退止而留。背距日一百二十八度。○留久而順。背距日九十四度。初遲漸疾。○背距日十八度半伏合。○最疾約七日行一度。○加減最多處八度有餘。○合期約三百七十八日。

晨伏 二十一日七十五分。行度七十五分。去日十九度而晨見東方。 順行 八十三日。行七度十一分。 留 二十三日不行。 晨退 五十日二十九分六十一秒。行三度四十三分五十四秒半。 夕退 二十五日 七十五分。 留 二十三日。 順行 八十三日。 夕退 二十五日七十五分。又與日合。

鎮星定局圖

一。	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	閏
危。夕伏。	危。	危。	危。	室。	室。	室。危。	危。	危。	危。	危。	危。	室。

二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
室.	室.	壁.	奎.	婁.	胃.	胃. 昴.	畢.	參.	井.	井.	柳.	張.	張.
室.	室.	壁. 奎.	奎.	婁.	胃.	昴.	畢.	參.	井.	井.	柳.	星.	張.
室.	室. 壁.	奎.	奎.	婁.	胃.	昴.	畢.	參.	井.	井.	柳.	星.	張.
室.	壁.	奎.	奎. 婁.	婁. 胃.	胃.	昴.	畢.	參.	井.	井.	柳.	星.	張.
室.	壁.	奎.	婁.	胃.	胃. 昴.	昴. 畢.	畢. 參.	參. 井.	井.	井.	柳.	星.	張.
室.	壁.	奎.	婁.	胃.	昴.	畢.	參.	井.	井.	井.	柳.	星.	張.
室.	壁.	奎.	婁.	胃.	昴.	畢.	參.	井.	井.	鬼.	柳.	張.	張.
室.	壁.	奎.	婁.	胃.	昴.	畢.	參.	井.	井.	柳.	星.	張.	翼.
室.	壁.	奎.	婁.	胃.	昴.	畢.	參.	井.	井.	鬼.	星.	張.	翼.
室.	壁.	奎.	婁.	胃. 退.晨	昴.	畢.	參.	井.	井.	柳.	張.	張.	翼.
室.	壁.	奎.	婁.	胃.	昴.	畢.	參.	井.	井.	柳.	張.	張.	翼.
室.	壁.	奎.	婁.	胃.	胃.	畢.	參.	井 退.	井.	柳. 退.	張. 退.	張.	翼.
	壁.					畢.			井.			張 退.	翼.

二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六
牛女	斗	斗	箕	尾	尾	房心	氐	亢	角	軫	張	張退
女	斗	斗	箕斗	尾	尾	心	氐	亢退	角退	軫退	張	張
女	斗牛	斗	斗	尾	尾	心	氐	角	角	軫	翼	張
女	牛	退斗	斗	尾	尾退	房	氐	角	角	軫	翼	張
女	牛斗	斗	斗箕	尾	尾	房	氐	角	角	軫	翼	張
女	斗	斗	箕	尾	心	氐	氐	角亢	角	軫	翼	張
女牛	斗	斗	箕	尾	心	氐	氐	伏亢	角	軫	軫	張
斗	斗	斗	箕	尾	心尾	氏房	氐	亢	角	軫	軫	張
牛	斗	斗	箕	尾	尾	房	氐伏	亢氐	角	角	軫	張
斗女	斗	斗	箕	尾	伏尾	房心	氐	退亢	亢	角	軫	張
女	斗	斗	箕斗	伏尾箕	尾	心	氐	氐	亢	角	軫	軫
女	斗牛	斗合	斗	箕	尾	心尾	房	氐	亢	角	軫	軫
	牛		斗			箕斗			亢			軫退

二十九。	三十。	三十一。	三十二。	三十三。	三十四。	三十五。	三十六。	三十七。	三十八。	三十九。	四十。	四十一。
女。虛。	虛。危。伏合。	危。室。	室。	室。壁。	奎。	奎。	胃。婁。	胃。	昴。	畢。	參。	井。
虛。	危。	室。	室。	壁。	奎。	奎。婁。夕見。	胃。	胃。	昴。	畢。	參。	井。
虛。	危。	室。	室。	壁。	奎。	婁。伏合。	胃。	胃。昴。	昴。畢。	畢。	參。井。	井。
虛。	危。	室。	室。	壁。奎。	奎。	婁。昴。見。	胃。	昴。	畢。	參。	井。	井。
虛。	危。	室。	壁。	奎。	奎。婁。	婁。	胃。	昴。	畢。	參。	井。	井。
虛。	危。	室。	壁。	奎。	婁。	胃。婁。	昴。胃。	昴。畢。	畢。	參。井。	井。	井。
虛。	危。	室。	壁。室。	奎。	婁。	胃。	昴。	畢。	畢。	井。	井。	井。
虛。女。	危。	室。	室。	奎。	婁。奎。	胃。	昴。胃。	畢。	畢。	畢。	井。	井。鬼。
女。	危。	室。危。	室。	奎。	奎。婁。	胃。婁。	胃。	畢。	參。十。	井。	井。	鬼。柳。
女。虛。	危。	危。	室。	奎。壁。	奎。	退。婁。	胃。	畢。	參。畢。	井。	井。	柳。
虛。	危。室。	危。	室。	壁。	奎。	婁。	胃。	昴。	畢。	井。	井。	柳。
虛。	危。	室。	室。	壁。	奎。	婁。	胃。	昴。	畢。	井。參。	井。	柳。鬼。
	伏。危。			壁。奎。		婁。			畢。			鬼。井。

四十二。	四十三。	四十四。	四十五。	四十六。	四十七。	四十八。	四十九	五十。	五十一。	五十二。
井。	柳。	張。退。	翼。	翼.	軫。	角。	亢。	氐。	房。	心。尾。
井。	柳。	張。	翼。退。	翼。	軫。退.夕	角。	亢。	氐。	房。退。	尾。
井。	柳。	張。	張。	翼。	軫。	角。軫。	亢。退。	氐。	房。氐。	尾。
井。鬼。	柳。	張。	張。	翼。	軫。	軫。	亢。角。	氐。亢。	氐。	尾。心。
鬼。柳。星。	柳。	張。	張。翼。	翼。	軫。	軫。	角。	亢。	氐。	心。
柳。	星。	張。	翼。	翼。	軫。	軫。	角。	亢。	氐。	心。房。
柳。	星。張。	張。伏.夕	翼。伏.夕	翼。	軫。	軫。角。	角。	亢。氐。	氐。	房。
柳。	張。	張。	翼。	翼。軫。	軫。	角伏。	角。亢。	氐。	氐。	房。心。
柳。星。	張。	張。見.晨	翼。	翼。	軫。見.晨	角。	亢。伏。	氐。伏。	氐。房。	心。
星。	張。	翼。	翼。	軫。	軫。角。	角。見.晨	亢。	氐。	房。	心。伏.尾
星。	張。	翼。	翼。	軫。	角。退。	角。	亢。氐。	氐。	房。心。	尾。
星。柳。	張。	翼。退。	翼。	軫。	角。	亢。	氐。	氐。房。	心。	尾。見.晨
		翼。					氐。			尾。

五十三。	尾。	尾。	尾。退。	尾。	尾。	尾。	尾。	尾。	尾。	尾。夕伏	尾。晨見	尾。箕。	
五十四。	箕。	箕。	箕。晨見	箕。	箕。	箕。尾。	尾。	尾。	尾。箕。	箕。	箕。	箕。斗。	
五十五。	斗。	斗。	斗。退。	斗。	斗。	斗。	斗。箕。	箕。	斗。	斗。	斗。	斗。夕伏	斗。
五十六。	斗。	斗。	斗。	斗。	斗。	斗。退。	斗。	斗。	斗。	斗。	斗。	斗。夕伏	斗。
五十七。	斗。牛。	牛。	牛。	女。	女。牛。	牛。	牛。	牛。	斗。牛。	牛。	牛。	牛。女。夕伏	
五十八。	女。	女。	女。虛。	虛。退。	虛。女。	女。	女。	女。	女。	女。	女。	女。虛。夕伏	
五十九。	虛。	虛。危。	危。	危。	危。退。	危。	危。虛。	虛。	虛。	虛。	虛。	危。夕伏	

金星

金星曰太白。乃金之精也。一日行一度餘。亦不及天數也。其行一年一周天。以其大而色白。故曰太白。夕見西方曰長庚。晨見東方曰啓明。出以辰戌。入以丑未。出東方二百四十日而一入。出西方二百四十日而一入。入三十五日而復出。八年之間而五合於日。退合亦然。合期約五百八十四日。而順逆二合。取上

古甲子而分爲八號。每號分十二月而置閏於其下。閏在號前。那前一月。閏在號後。那後一月。

比日較速。故合伏以後過日。而距日十度半而夕見。初疾漸遲。○距日三十度有餘而留。○留後距日二十四度有餘而退。○距日十度半退伏。○背距日十度半而晨見。初疾漸遲。○背距日二十四度而退留。○留久而順行。背距日三十度有餘。初遲漸疾。○甚遲不過四十五度。○最疾約四日行五度餘。○加減最分處不過四度餘。○合期約五百八十四日。而順逆二合。

夕伏。三十九日行四十九度五十分。去日十度半而夕見西方。順行二百二十一日行一百五十一度十二分。留五日不行。退十日行四度十一分。晨退十日。留五日不行。順行三百三十三日。晨伏三十九日行四十九度五十分。

太白定局圖。

正	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	閏
一。斗。	二。室。壁。奎。	三。斗。牛。女。	井。鬼。	奎。婁。胃。昴。	斗。牛。女。	虛。危。室。	室。壁。奎。	奎。婁。昴。畢。	昴。畢。參。井。	參。井。鬼。柳。	柳。星。張。翼。	翼。軫。角。亢。氐。
		女。虛。危。室。奎。婁。昴。井。柳。翼。角。氐。房。箕。女。虛。室。奎。		胃。昴。畢。參。井。柳。星。張。翼。軫。角。亢。氐。房。心。尾。斗。牛。	昴。畢。參。井。鬼。星。張。翼。軫。角。亢。氐。房。心。尾。箕。斗。牛。女。	室。壁。奎。婁。胃。柳。張。翼。軫。角。亢。氐。房。心。尾。箕。斗。牛。女。虛。危。室。壁。奎。	張。星。張。翼。軫。角。亢。氐。房。心。尾。箕。斗。牛。女。虛。危。室。壁。奎。	張。翼。軫。角。亢。氐。房。心。尾。箕。斗。牛。女。虛。危。室。壁。奎。	翼。軫。角。亢。氐。房。心。尾。箕。斗。牛。女。虛。危。室。壁。奎。	角。亢。氐。房。心。尾。箕。斗。牛。女。虛。危。室。壁。奎。	房。心。尾。箕。斗。牛。女。虛。危。室。壁。奎。	箕。斗。牛。女。虛。危。室。壁。奎。	女。虛。危。室。壁。奎。	閏

四。奎。奎壁。壁奎。奎婁。胃昴。畢參。井鬼。柳星。張翼。角亢。氐房。心尾。斗牛。女虛。牛斗。

五。危室。壁奎。婁畢。胃昴。畢參。井鬼。柳星。張翼。角亢。氐房。心尾。斗牛。女虛。牛女。虛危。

六。尾箕。斗牛。女虛。危室。壁奎。婁胃。畢昴。胃昴。畢參。井鬼。柳星。張翼。角亢。氐房。心尾。斗牛。女虛。牛女。虛危。

七。奎婁。胃昴。畢參。參畢。畢。井鬼。柳星。張翼。軫角。亢氐。心尾。斗牛。箕斗。

八。女牛。虛危。奎婁。室壁。奎婁。昴畢。參井。柳星。翼軫。軫角。氐房。尾箕。斗牛。牛斗。

水星

水星曰辰星一日行一度餘亦不及天數也其行一歲一周天以四仲之日春見奎婁夏見東井秋見角亢冬見牽牛出以辰戌入以丑未二旬而入其出入也不違其時故謂之辰星四十六年之間合於日者一百四十五退合亦然約一百一十六日而順逆二合取上古甲子而分爲四十六號每號分十二月而置閏於其下閏在號前那前一月閏在號後那後一月

比日較速故合伏後過日而前距日十七度而夕見初疾漸遲○距日二十一度而留○距日十九度半而退初遲漸疾○距日十六度而退伏○背距日十六度而疾漸遲○退久而留背距日十九度半

○留久而順。背距日二十一度。初遲漸疾。○背距日十六度而伏合。○甚遲不過二十四度。○最疾不過一度半。○加減最多不過六度。○合期約一百一十六日。退合亦然。

夕伏 十八日。行三十四度五十分。去日十六度五十分而夕見於西。順行 十七日。順逆 十日。共行三十一度五十分。夕留 二日不行。夕退 十日九十二分八十〇秒半。行八度六分十九秒半。晨退 十日九十三分八十秒半。晨留 二日。晨遲 十日。順行 十九日。晨伏 十八日。

辰星定局圖

	正	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	閏
一。	室。退。	室。壁。奎。	胃。昴。畢。	井。鬼。	退。井。	井。鬼。柳。	星。張。翼。	翼。軫。	角。亢。	氐。退。	氐。房。心。	尾。箕。斗。	斗。牛。女。虛。危。
二。	危。退。	危。室。	室。壁。奎。	胃。昴。畢。	井。退。	退。參。	井。鬼。柳。	星。張。翼。	翼。軫。	角。亢。	退。角。	氐。角。亢。	氐。房。心。
三。	虛。女。	女。虛。	室。壁。	胃。昴。	參。畢。	畢。參。	井。鬼。柳。	星。張。翼。	翼。軫。	角。軫。	軫。角。	氐。房。心。	尾。箕。斗。	斗。牛。女。
四。	退。	危。室。	奎。婁。	畢。參。	退。	井。	星。張。	角。	退。	亢。	尾。箕。	女。	退。斗。	退。箕。斗。
	斗。牛。女。虛。危。	危。室。壁。	婁。胃。	昴。	退。胃。	昴。畢。	參。井。	井。鬼。柳。	張。翼。	翼。軫。	亢。氐。房。	箕。斗。	退。
	奎。婁。	昴。	退。胃。	昴。畢。	參。井。	井。鬼。柳。	星。張。	軫。	退。翼。	角。亢。	尾。箕。	退。	

五.	六.	七.	八.	九.	十.	十一.	十二.	十三.
斗.牛.女.虛.危.	危.室.壁.奎.	危.室.壁.	虛.危.室.	退.虛.危.	退.女.虛.	斗.牛.	女.虛.危.室.壁.	牛.女.虛.危.室.
危.室.壁.奎.	奎.婁.退.	壁.退.	室.退.	危.室.壁.	虛.危.室.壁.	女.虛.危.室.壁.	壁.奎.婁.	室.壁.奎.
婁.胃.退.	退.奎.婁.	室.壁.奎.	危.室.壁.奎.	奎.婁.胃.昴.畢.	奎.婁.胃.昴.	奎.婁.胃.	退.奎.	奎.退.
婁.胃.	婁.胃.昴.畢.參.	婁.胃.昴.畢.參.	奎.婁.胃.昴.畢.	畢.參.井.	畢.退.	胃.昴.退.	奎.婁.胃.昴.畢.	奎.婁.胃.昴.
胃.昴.畢.參.	井.鬼.柳.星.	參.井.鬼.柳.	畢.參.井.	退.	退.昴.畢.	胃.昴.畢.	畢.參.井.鬼.柳.	昴.畢.參.井.
井.鬼.柳.星.張.	星.張.退.	柳.退.	退.井.	井.鬼.柳.星.	參.井.鬼.柳.	畢.參.井.鬼.柳.	柳.星.張.翼.	井.鬼.柳.星.張.退.
張.翼.	退.星.張.	井.鬼.柳.星.張.	井.鬼.柳.星.	星.張.翼.軫.	星.張.翼.軫.	柳.星.張.翼.	退.	退.柳.
退.張.翼.	張.翼.軫.角.	張.翼.軫.角.	張.翼.軫.	軫.退.	軫.退.	翼.退.	張.翼.軫.	星.張.翼.
翼.軫.角.亢.	氐.房.心.尾.	角.亢.氐.房.心.	角.亢.氐.	軫.角.	軫.角.	翼.軫.	軫.角.亢.氐.	軫.角.亢.氐.
亢.氐.房.心.尾.	退.	心.退.	氐.退.	角.亢.氐.房.尾.	角.亢.氐.房.尾.	軫.角.亢.氐.房.心.	心.尾.箕.	氐.房.心.尾.退.
尾.箕.退.	心.尾.箕.	氐.房.心.尾.	亢.氐.房.心.尾.	尾.箕.斗.牛.	尾.箕.斗.	尾.箕.斗.	退.	退.尾.
退.尾.箕.	箕.斗.牛.女.虛.	尾.箕.斗.牛.女.虛.	尾.箕.斗.牛.女.	女.退.	斗.牛.女.	退.	尾.箕.斗.	尾.箕.斗.
斗.牛.女.室.危.			女.虛.危.			箕.斗.牛.女.		女.虛.危.室.

十四.
室.壁.
室.退.
退.室.
壁.

十五.
危.室.
危.退.
危.
室.

胃.奎.
昴.婁.
昴.畢.
參.井.

十六.
危.虛.
退.
退.女.虛.
危.
室.
室.壁.奎.
婁.胃.
胃.昴.
畢.參.

退.
井.
退.
柳.井.
退.鬼.
退.鬼.
柳.
退.參.
井.
畢.參.
井.

十七.
牛.女.虛.
危.室.
室.壁.奎.
婁.胃.
胃.昴.
畢.參.
退.
井.畢.參.
鬼.柳.星.
張.翼.
翼.
軫.
退.
翼.
軫.
角.翼.軫.
角.亢.
氐.房.
氐.房.
退.
退.角.
亢.氏.
尾.箕.
斗.退.
退.斗.
斗.牛.
女.
斗.
退.

十八.
斗.牛.女.
虛.危.
室.壁.
奎.婁.
婁.胃.
退.
退.婁.
胃.
參.井.
胃.昴.畢.
星.井.鬼.柳.
張.翼.
退.
翼.
軫.
角.翼.軫.
氐.房.心.
尾.箕.
退.
尾.箕.
斗.
牛.女.
斗.牛.
女.
虛.
退.

十九.
斗.牛.女.
虛.危.
室.壁.
奎.婁.
奎.婁.
退.
胃.奎.婁.
參.井.
胃.昴.畢.
星.井.鬼.柳.
張.翼.
退.
翼.星.張.
翼.
軫.
氐.房.
心.尾.
退.
心.尾.
箕.
退.
箕.
斗.牛.
女.
虛.危.
斗.牛.女.
虛.危.

二十.
危.室.
壁.奎.
退.
奎.室.壁.
奎.婁.
參.井.
井.
柳.井.鬼.
退.
星.張.
翼.軫.
鬼.柳.
星.張.
翼.
角.翼.軫.
亢.氏.
房.心.
退.
尾.箕.
斗.牛.
女.虛.危.
斗.牛.女.

二十一.
危.室.
退.
室.壁.
奎.婁.
婁.胃.昴.
畢.參.
井.
退.
星.張.
退.鬼.柳.
張.翼.
軫.角.
氐.角.亢.
心.尾.
箕.斗.牛.
女.虛.

二十二.
虛.危.
退.
壁.奎.
退.室.
婁.胃.
昴.畢.
參.井.
退.
井.參.
星.井.鬼.柳.
張.翼.
軫.角.
角.亢.
退.
氐.房.
心.尾.
斗.牛.
女.虛.
斗.牛.女.
虛.
退.

二十三。
退牛女虛危
危室壁奎
奎婁胃昴畢
退
退昴畢參
柳星張翼軫
軫角
角亢氏房心尾斗牛
退箕
退

二十四。
斗牛女虛
虛危室壁奎
奎婁胃昴畢
退
退胃昴畢參
參井鬼柳星張翼
軫退
軫角
角亢氏房心尾箕
退箕
退箕
斗牛女

二十五。
虛危室壁奎
奎婁
退奎
婁胃昴畢
參井鬼柳星張翼
退
張翼軫
角亢氏房心尾
退尾箕
退箕斗牛女

二十六。
女虛危室壁
壁奎
退壁奎
奎婁胃昴畢
畢參井鬼柳星張退
退柳星軫
軫角亢氏房心
退心尾
退房心尾
尾箕斗牛女

二十七。
女虛危室
室壁退
退室壁奎
奎婁胃昴退
退鬼井柳退翼
柳星張軫角亢氏
退氏房心尾
退氏房心尾箕斗
尾箕斗牛女
女虛危室

二十八。
退
退危室壁
壁奎胃昴
畢參井
退井柳
井鬼翼軫角亢氏
退角亢心尾箕斗
牛女虛危

二十九。
退女
虛危室壁
壁奎婁胃昴畢參
畢參井鬼張翼
柳星張翼軫角亢氏
軫角
退軫
角亢氏房心尾箕斗
斗退

三十。
退斗牛
女虛危室
室壁奎婁胃
胃昴畢退
退昴畢
畢參井
井鬼柳星張翼
翼軫角亢氏
退軫
軫角亢氏房心尾箕
斗退
退斗

三十一。
牛女虛危室
室壁奎婁胃
胃退
退婁昴畢參
參井
昴畢星張翼
翼退
退張翼
軫角亢氏
退軫
軫角亢氏房心尾箕
斗退
退尾箕斗

三十二。
斗。牛。女。虛。危。室。壁。奎。婁。
張。退。
退。星。張。翼。亢。氐。翼。軫。角。亢。氐。翼。軫。角。氐。房。心。尾。
退。
斗。尾。箕。牛。女。虛。危。

三十三。
室。壁。奎。
退。壁。
壁。奎。婁。胃。
胃。昴。畢。參。井。
井。鬼。柳。星。
退。鬼。
柳。星。張。翼。
退。星。張。翼。亢。氐。尾。退。
退。房。心。尾。箕。斗。
房。心。尾。箕。斗。虛。危。
斗。牛。女。

三十四。
危。室。
退。危。虛。
室。壁。奎。婁。
胃。昴。畢。參。井。
井。
退。井。
井。鬼。柳。星。張。翼。
退。氐。
氐。房。心。尾。箕。斗。虛。危。
斗。牛。女。

三十五。
危。退。
退。虛。危。
室。壁。奎。婁。
胃。昴。畢。參。
參。井。退。
退。參。井。星。張。
井。鬼。柳。星。張。翼。軫。角。亢。
張。翼。角。亢。退。
退。角。亢。氐。房。心。尾。箕。
退。牛。女。虛。危。

三十六。
牛。女。虛。危。
室。壁。奎。婁。
婁。胃。昴。畢。
畢。退。
畢。參。井。
參。井。退。
井。鬼。柳。星。張。翼。軫。
張。翼。軫。角。亢。
軫。角。亢。氐。房。心。尾。箕。牛。
退。斗。

三十七。
斗。牛。女。虛。危。
危。室。壁。奎。
婁。胃。昴。
昴。退。
退。胃。
胃。昴。畢。參。
畢。參。井。星。張。
井。鬼。柳。星。張。翼。軫。
張。翼。軫。角。
軫。角。亢。氐。房。心。尾。箕。斗。
退。箕。斗。

三十八。
斗。牛。女。虛。
室。壁。奎。
胃。昴。畢。
畢。退。
畢。參。井。
參。井。鬼。柳。星。張。
井。鬼。柳。星。張。翼。軫。
張。翼。軫。角。亢。
軫。角。亢。氐。房。心。尾。箕。斗。牛。
退。尾。箕。斗。牛。女。虛。危。

三十九。
虛。危。室。壁。奎。
奎。
婁。胃。昴。畢。參。
畢。參。井。鬼。柳。張。
柳。星。張。翼。軫。角。亢。氐。房。心。尾。箕。斗。牛。女。
退。柳。星。張。翼。軫。角。亢。氐。房。心。尾。箕。斗。牛。女。

四十。
虛。危。室。壁。
退。室。
室。壁。奎。婁。
奎。婁。胃。昴。
昴。畢。參。井。鬼。柳。退。
柳。井。星。張。翼。軫。角。亢。氐。房。心。尾。箕。斗。牛。女。虛。危。室。

四十一。退危。危室。壁奎。奎婁胃。昴畢。畢參。井。井鬼。柳。星張。翼軫。軫角。亢氏。退角。亢氏房。尾箕。心尾。斗牛。女虛。牛。

四十二。退虛。虛危室。壁奎。奎婁胃。昴畢。畢參。井退。退參。參井。鬼柳。柳星。張翼軫。軫角。角退。軫角。房心。角亢氏。尾箕。斗牛。牛女。退。

四十三。退斗。牛女。女虛危。室壁奎。奎婁。胃昴。昴畢。退。畢昴。退昴。畢參。井鬼。柳星。張翼。翼軫。退翼。軫氏房。心尾。箕斗。軫角亢。氏房心。角亢氏。尾箕。斗牛。斗。斗牛。

四十四。女虛危。室壁。壁奎。婁胃。胃。胃昴。畢。畢參。井鬼。柳星。張翼。翼。翼軫。軫角亢。氏房。心尾。箕斗。退箕。箕斗。牛。

四十五。女虛。危室。壁奎。婁。退奎。奎婁。胃昴。昴畢。畢參。井。井鬼柳。星張。張。張翼。翼軫。軫角。亢氏。房心。尾箕。退尾。尾箕。

四十六。斗牛女。虛危室。室壁。奎。退壁。奎婁。胃。昴畢。參井。井鬼。柳星。星退。柳。張翼。柳星。翼軫角。亢氏。氏房。心尾箕。退房。心尾。箕。斗牛女。虛危室。

凡五星之變。同舍曰合。變爲妖星曰散。寸以內光芒相及曰犯。自下往觸亦曰犯。居其宿曰守。相胃而過曰陵。突掩亦曰陵。經之曰厤。相出曰鬬。離復合合復離亦曰鬬。早出曰贏。晚出曰縮。失次上二三宿亦曰贏。失次下二三宿亦曰贏。星月相陵曰食。吉凶各以數應。在占者得之。

明書卷四十九

志三

厤法志六

大統厤四餘躔度定局

四餘總說

如日、月、木、火、土、金、水、謂之七政。亦曰七曜。今術家增入月孛、紫炁、羅睺、計都、四餘星。爲十一曜。大統厤中遂設四餘躔度厤。按計生於天尾。羅生於天首。孛生於月。炁生於閏。蓋日月行道如兩環。兩環相交。一處日天首。一處月天尾。天尾爲計。天首爲羅。月之行遲速有常度。最遲之處卽孛也。炁生於閏。二十八年十閏而炁行一周天。炁孛皆有度數。無光象。故與羅計通謂之四餘。金獨無餘者。或謂金本不可以餘度分。而月爲金精。故無餘也。

羅睺

天首羅睺。續火之餘。乃厤家之交初。天尾計都。續土之餘。乃厤家之交終。故羅睺對照則日食。計都交終乃日月交會之次。交深則有餘。在天無象。故其行度無伏順留遲。

平行。日行五分三十七秒。

羅睺定局圖。

七。	六。	五。	四。	三。	二。	一。		正	二	三	四
九。	一。	二十一。	八。	八。	十。	軫十。	七。	五。	六	七	八
七。	參十。	十八。	五。	五。	八。	七。	五。	四。	五	六	七
五。	八。	十六。	四。	四。	六。	五。	四。	二。	四	五	六
四。	六。	十五。	二。	二。	五。	三。	二。	一。	三	四	五
二。	四。	十三。	一。	初。	三。	二。	一。	翼十。二	二	三	四
初。	三。	十二。	鬼二。	星六。	二。	初。	翼十。二	十八。	一	二	三
昴一。十	一。	十。	初。	四。	初。	張七。十	十六。	十四。	十三。	十一。	十二
八。	初。	八。	井九。二十	二。	十五。	十三。	十二。	十。	八。		閏
七。	畢五。十	七。	二十七。	初。	柳三。十	十。	九。				
五。	十三。	五。	二十六。								
三。	十一。	四。	二十四。								
二。	十。	二。	二十三。								
初。			二十一。								

十七.	十六.	十五.	十四.	十三.	十二.	十一.	十.	九.	八.
二.	十一.	五.	一.	二.	十二.	十五.	八.	九.	初.
初.	九.	四.	斗三.二十	初.	九.	十二.	七.	六.	胃三.十
氐五.十	七.	二.	亢一.	女十.	七.	十.	五.	五.	十一.
十三.	六.	初.	二十.	九.	六.	九.	三.	三.	十.
十二.	四.	箕九.	十八.	七.	四.	七.	二.	一.	八.
十.	二.	七.	十六.	六.	三.	六.	初.	初.	七.
八.	一.	六.	十五.	五.	一.	四.	壁九.	奎六.十	五.
七.	心六.	四.	十四.	三.	虛九.	三.	六.	十五.	三.
五.	四.	三.	十二.	二.	七.	一.	五.	十三.	二.
四.	二.	初.	十.	初.	五.	危五.十	三.	十一.	初.
二.	一.	尾六.十	八.	牛六.	四.	十四.	二.	十.	婁三.十
初.	房五.	十四.	七.	四.	二.	十二.	初.	八.	九.
	三.			二.			室八.十		

十八.	十九.	二十.	二十一.	二十二.	二十三.	二十四.	二十五.	二十六.	二十七.
初.	三.	一.	二.	一.	初.	十四.	三.	一.	九.
亢七.	一.	翼十.二	初.	星六.	井十.三	十一.	一.	昴十.	六.
五.	軫八.十	十七.	張六.十	三.	三十九.	十.	觜初.	八.	五.
四.	十六.	十六.	十四.	二.	三十七.	八.	畢四.十	六.	三.
二.	十五.	十四.	十三.	初.	三十六.	七.	十三.	五.	二.
一.	十三.	十三.	十一.	柳三.十	三十四.	五.	十一.	三.	初.
角二.十	十一.	十一.	十.	十.	三十二.	三.	十.	二.	婁.十
十.	十.	九.	八.	八.	三十一.	二.	八.	初.	九.
九.	八.	八.	七.	七.	十九.	初.	六.	胃四.十	八.
七.	七.	七.	五.	五.	十八.	參十.	五.	十三.	六.
五.	五.	五.	四.	三.	十六.	七.	三.	十一.	四.
四.	四.	四.	二.	二.	十四.	六.	二.	十.	三.
	二.			初.		四.			一.

二十八.	一.	奎六.十	十四.	十三.	十一.	十.	八.	六.	五.
二十九.	壁八.	六.	五.	三.	二.	初.	室七.十	十五.	十三.
三十.	八.	五.	四.	二.	一.	危五.十	十三.	十二.	十.
三十一.	三.	一.	虛九.	七.	五.	三.	二.	初.	女一.十
三十二.	三.	二.	初.	牛六.	四.	二.	一.	斗三.二十	二十一.
三十三.	十四.	十二.	十.	八.	七.	五.	四.	二.	初.
三十四.	四.	二.	初.	尾七.十	十五.	十四.	十二.	十一.	十.
三十五.	四.	一.	心六.	四.	二.	一.	房五.	三.	二.
三十六.	十一.	九.	七.	井五.	四.	二.	一.	亢九.	七.
三十七.	二.	角二.十	十.	九.	七.	六.	四.	二.	一.
									軫八.十
									十六.
									十五.
									十三.

四十七.	四十六.	四十五.	四十四.	四十三.	四十二.	四十一.	四十.	三十九.	三十八.
十一.	初.	四.	十二.	六.	二十五.	柳八.十	十一.	十三.	十三.
八.	婁一.十	二.	十.	三.	二十二.	十.	十.	十一.	十二.
六.	九.	初.	八.	二.	二十一.	八.	八.	九.	十.
五.	八.	胃五.十	六.	初.	十九.	七.	七.	八.	八.
三.	六.	十三.	五.	參十.	十八.	五.	五.	六.	七.
二.	四.	十一.	三.	七.	十六.	四.	三.	五.	五.
初.	三.	十.	二.	六.	十五.	二.	二.	三.	四.
壁九.	二.	八.	初.	四.	十三.	一.	初.	一.	二.
六.	初.	六.	昴二.十	三.	十一.	鬼二.	星六.	初.	初.
五.	奎六.十	五.	八.	一.	十.	井一.二十	三.	張六.十	翼十.二
三.	十四.	三.	六.	觜初.	八.	二十九.	二.	十四.	十七.
二.	十二.	二.	五.	畢四.十	七.	二十七.	初.	十三.	十六.
	十一.			十三.		二十六.			

四十八。	四十九。	五十。	五十一。	五十二。	五十三。	五十四。	五十五。	五十六。	五十七。
初。	初。	四。	三。	六。	十五。	二。	二。	七。	六。
室七.十	危三.十	二。	一。	四。	十二。	房五。	一。	四。	四。
十五。	十二。	初。	斗二.二十	二。	十一。	三。	亢九。	二。	二。
十三。	十。	女一.十	牛一。	初。	九。	二。	七。	一。	一。
十二。	九。	八。	二十。	箕九。	七。	初。	六。	軫八.十	翼十.二
十。	七。	七。	十九。	七。	六。	氐六.十	四。	十六。	十七。
九。	六。	五。	十六。	五。	四。	十三。	三。	十五。	十六。
七。	四。	三。	十五。	四。	三。	十二。	二。	十三。	十四。
六。	二。	二。	十三。	三。	一。	十。	角二.十	十二。	十三。
四。	一。	初。	十二。	初。	心六。	九。	十。	十。	十一。
二。	虛九。	牛六。	十。	尾七.十	四。	七。	九。	八。	十。
一。	七。	四。	八。	十五。	三。	五。	八。	七。	八。
	五。		七。			四。			六。

五十八.	六.	三.	二.	初.	張六.十	十五.	十三.	十一.	十.
五十九.	四.	二.	初.	星六.	三.	二.	初.	柳三.十	十.
六十.	五.	二.	一.	鬼三.	井十.三	二十九.	二十七.	二十六.	二十四.
六十一.	十七.	十五.	十三.	十一.	十.	八.	七.	六.	四.
六十二.	八.	六.	四.	三.	二.	初.	畢四.十	十三.	十一.
六十三.	四.	二.	初.	昴一.十	八.	六.	五.	三.	二.
六十四.	十二.	十.	十.	六.	四.	三.	二.	初.	婁十.
六十五.	五.	三.	一.	初.	奎六.十	十四.	十三.	十一.	十.
六十六.	三.	初.	璧九.	六.	五.	三.	二.	初.	室七.十
六十七.	十一.	九.	七.	六.	四.	二.	一.	危五.十	十四.
									十三.
									十.
									九.

七十八.	七十七.	七十六.	七十五.	七十四.	七十三.	七十二.	七十一.	七十.	六十九.	六十八.
二.	十六.	十八.	十七.	五.	氐五.十	七.	八.	十九.	八.	八.
初.	十三.	十六.	十五.	二.	十二.	四.	五.	十六.	五.	六.
柳三.十	十一.	十四.	十三.	一.	十一.	三.	四.	十五.	四.	四.
十.	十.	十三.	十二.	角二.十	十.	一.	二.	十三.	二.	二.
八.	八.	十一.	十.	十.	九.	初.	一.	十二.	初.	一.
六.	七.	十.	九.	九.	七.	心四.	尾七.十	十一.	牛六.	虛九.
二.	五.	八.	七.	七.	五.	三.	十五.	九.	四.	七.
一.	四.	六.	五.	六.	二.	一.	十四.	七.	三.	五.
鬼二.	二.	五.	四.	三.	一.	房五.	十二.	五.	一.	四.
初.	一.	三.	二.	二.	一.	三.	十一.	四.	斗三.二十	二.
	星六.	二.	一.	一.	亢九.	二.	九.	二.	二十一.	初.
	三.	初.	翼十.二	軫八.十	七.	初.	七.	一.	十九.	
		張六.十			五.			箕九.		

七十九.	八十.	八十一.	八十二.	八十三.	八十四.	八十五.	八十六.	八十七.	八十八.
井十.三	九.	初.	八.	四.	十五.	四.	三.	初.	初.
二十七.	七.	畢五.十	五.	三.	十三.	二.	危五.十	虛七.	牛四.
二十六.	五.	十三.	三.	初.	十一.	初.	十五.	五.	二.
二十四.	四.	十一.	二.	婁二.十	十.	室七.十	十四.	四.	一.
二十三.	二.	十.	初.	九.	八.	十五.	十二.	二.	斗三.二十
二十一.	初.	八.	胃五.十	八.	七.	十三.	十一.	初.	二十一.
十九.	參十.	七.	十三.	七.	五.	十二.	九.	女一.十	二十.
十八.	八.	五.	十一.	五.	三.	十.	七.	八.	十八.
十六.	六.	三.	十.	三.	二.	九.	六.	七.	十七.
十五.	四.	一.	八.	一.	初.	八.	四.	五.	十五.
十三.	三.	初.	七.	初.	壁九.	六.	三.	四.	十三.
十二.	一.	昴一.十	五.	奎六.十	六.	四.	一.	二.	十二.
九.		八.			五.			初.	

八十九．十一．九．七．五．四．二．一．箕九．七．五．四．二．一．

九十．初．尾六．十 十四．十二．十一．九．八．六．四．三．一．初．

九十一．心五．三．一．初．房三．二．初．氐六．十 十三．十二．十．九．

九十二．八．六．四．二．一．亢九．七．六．四．二．二．角一．十 十．

九十三．十．七．六．四．三．一．軫八．十 十七．十五．十三．十二．十．

計都

計都者．爲天尾續士之餘．常與羅睺相對．故曰首尾星也．逆行於天．逢日月則食．

計都定局圖．

	正	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	閏
一．	奎一．	壁九．	六．	五．	三．	三．	初．	室八．十	十五．	十四．	十三．	十．	
二．	十．	七．	六．	四．	三．	一．	危五．十	十三．	十二．	十一．	九．	六．	

三.	四.	五.	六.	七.	八.	九.	十.	十一.	十二.
六.	五.	十六.	六.	五.	十三.	三.	十五.	十五.	十四.
四.	三.	十三.	四.	三.	十.	一.	十三.	十三.	十二.
二.	三.	十二.	二.	一.	九.	角 一.十	十二.	十一.	十.
初.	初.	十.	一.	初.	七.	十.	十.	十.	八.
虛 七.	牛 六.	九.	尾 七.十	心 四.	六.	九.	九.	八.	七.
四.	四.	七.	十六.	三.	四.	七.	七.	六.	五.
二.	三.	五.	十四.	一.	三.	五.	六.	五.	四.
初.	一.	四.	十三.	初.	一.	四.	四.	三.	二.
女 十.	斗. 三.十	二.	十二.	房 三.	亢 九.	二.	三.	二.	一.
九.	二十一.	一.	九.	二.	七.	一.	一.	初.	星 六.
七.	二十.	箕 九.	八.	初.	六.	軫 八.十	翼 十.二	張 七.十	四.
六.	十八.	七.	六.	氐 六.十	四.	十七.	十八.	十五.	二.
	十七.			十四.			十六.		

十三.	十四.	十五.	十六.	十七.	十八.	十九.	二十.	二十一.	二十二.
初.	二十六.	七.	畢五.十	六.	一.	十四.	三.	二.	七.
柳三.十	二十四.	五.	十三.	三.	初.	十一.	初.	危五.十	五.
十.	二十三.	四.	十一.	二.	婁十.	九.	室七.十	十三.	三.
九.	二十一.	三.	十.	初.	九.	八.	十五.	十二.	二.
七.	十九.	初.	八.	胃四.十	七.	六.	十三.	十.	初.
五.	十八.	參十.	六.	十三.	六.	五.	十三.	九.	女一.十
四.	十六.	七.	五.	十.	四.	三.	十.	七.	八.
二.	十五.	六.	三.	九.	三.	三.	九.	六.	七.
一.	十三.	四.	二.	八.	一.	初.	七.	四.	五.
鬼二.	十二.	三.	初.	六.	初.	壁八.	六.	二.	三.
初.	十.	一.	昴十	五.	奎六.十	六.	四.	一.	二.
井九.二十	八.	初.	八.	三.	十四.	五.	二.	虛九.	初.
二十七.	六.					四			牛六.

二十三.	二十四.	二十五.	二十六.	二十七.	二十八.	二十九.	三十.	三十一.
五.	九.	十六.	三.	六.	八.	七.	九.	六.
二.	七.	十四.	一.	四.	六.	五.	六.	三.
一.	五.	十三.	房五.	二.	四.	四.	五.	一.
斗三.二十	四.	十.	二.	一.	二.	二.	三.	初.
二十一.	二.	九.	二.	亢九.	一.	初.	一.	星六.
十九.	初.	七.	初.	七.	軫八.十	翼十.二	初.	三.
十八.	箕九.	六.	氐五.十	五.	十六.	十七.	張六.十	二.
十六.	七.	四.	十三.	四.	十五.	十六.	十五.	初.
十五.	五.	三.	十二.	二.	十三.	十四.	十三.	柳三.十
十三.	四.	一.	十.	一.	十二.	十三.	十一.	十.
十二.	二.	心六.	八.	角二.十	十.	十一.	十.	八.
十.	初.	四.	七.	十一.	八.	九.	八.	五.
	尾七.十			九.			七.	

三十三。	十九。	十六。	十四。	十三。	十一。	十。	八。	七。	五。	三。	二。	初。	初。
三十四。	參十。	七。	六。	四。	三。	一。	畢六.十	十四。	十三。	十一。	十。	八。	
三十五。	七。	五。	三。	二。	初。	昴十。	八。	六。	五。	二。	二。	初。	胃四.十
三十六。	十四。	十一。	九。	八。	六。	五。	三。	二。	初。	婁一.十	九。	八。	
三十七。	七。	四。	二。	一。	初。	奎六.十	十四。	十三。	十一。	十。	八。	六。	
三十八。	五。	三。	三。	初。	壁八。	六。	五。	三。	一。	初。	室七.十	十五。	十三。
三十九。	十二。	十。	九。	七。	五。	四。	二。	一。	危五.十	十三。	十二。	十。	
四十。	七。	七。	六。	四。	二。	一。	虛九。	七。	五。	三。	二。	初。	
四十一。	女一.十	八。	七。	五。	三。	二。	初。	牛六。	四。	二。	一。	斗三.二十	二十一。
四十二。	二十。	十八。	十六。	十五。	十三。	十二。	十。	八。	七。	五。	四。	二。	

四十三。	四十四。	四十五。	四十六。	四十七。	四十八。	四十九。	五十。	五十一。	五十二。
一。	八。	氐五.十	八。	初。	初。	初。	四。	初。	十。
箕九。	六。	十三。	五。	軫六.十	翼七.十	張六.十	二。	井九.二十	八。
七。	四。	十二。	四。	十五。	十六。	十五。	初。	二十六。	七。
五。	三。	十。	二。	十四。	十四。	十三。	柳三.十	二十四。	五。
四。	一。	九。	一。	十三。	十三。	十一。	十。	二十三。	四。
二。	心六。	七。	角二.十	十。	十一。	十。	八。	二十一。	二。
一。	四。	五。	十。	八。	九。	八。	七。	十九。	初。
尾七.十	三。	四。	九。	七。	七。	七。	五。	十八。	參十。
十五。	一。	二。	七。	五。	七。	五。	四。	十六。	八。
十四。	房五。	一。	六。	四。	五。	三。	二。	十五。	六。
十二。	三。	亢九。	四。	二。	三。	一。	一。	十三。	五。
十一。	二。	九。	二。	初。	二。	初。	鬼二。	十一。	三。
九。			二。			星六。		十。	

五十三.	五十四.	五十五.	五十六.	五十七.	五十八.	五十九.	六十.	六十一.	六十二.
一.	昴一.十	五.	奎七.十	七.	五.	二.	三.	十三.	三.
初.	八.	三.	十四.	五.	二.	虛九.	初.	十.	一.
畢五.十	七.	二.	十三.	三.	一.	七.	牛六.	八.	尾七.十
十三.	五.	初.	十一.	二.	危五.十	五.	四.	七.	十五.
十一.	三.	婁十.	十.	初.	十四.	四.	一.	六.	十四.
十.	二.	九.	八.	室七.十	十三.	一.	初.	四.	十三.
八.	初.	七.	七.	十五.	十.	初.	斗三.三十	二.	十一.
七.	胃五.十	六.	五.	十四.	九.	女一.十	牛一.	一.	九.
五.	十三.	五.	三.	十二.	七.	九.	二十.	箕九.	七.
三.	十一.	三.	二.	十.	六.	八.	十八.	七.	六.
二.	十一.	二.	初.	九.	四.	六.	十六.	五.	四.
初.	八.	初.	壁九.	七.	二.	五.	十五.	四.	三.
	七.			六.		四.			一.

六十三。	初。	心四。	三。	一。	房五。	三。	二。	初。	氐五.十	十三。	十二。	十。
六十四。	九。	七。	六。	四。	二。	二。	初。	亢七。	五。	四。	二。	一。
六十五。	初。	角十。	九。	七。	六。	四。	一。	一。	軫六.十	十六。	十五。	十三。
六十六。	十一。	九。	七。	五。	四。	二。	初。	翼十.二	十八。	十六。	十四。	十三。
六十七。	十二。	十。	八。	六。	五。	三。	二。	初。	張六.十	十五。	十三。	十二。
六十八。	十一。	八。	七。	四。	三。	二。	初。	星六。	四。	二。	初。	柳三.十
六十九。	九。	七。	五。	四。	二。	一。	鬼二。	初。	井九.二十	二十七。	二十六。	二十四。
七十。	二十四。	二十一。	十九。	十八。	十六。	十五。	十三。	十二。	十。	八。	七。	五。
七十一。	三。	初。	參十。	七。	六。	四。	三。	一。	初。	畢五.十	十三。	十一。
七十二。	十一。	八。	七。	五。	三。	二。	初。	昴一.十	八。	七。	五。	三。

十，

十一。

七十三.	七十四.	七十五.	七十六.	七十七.	七十八.	七十九.	八十.	八十一.	八十二.
二.	九.	九.	室七.十	十三.	三.	二.	五.	十二.	房四.
初.	八.	七.	十六.	十.	初.	斗三.二十	二.	十一.	二.
畢五.十	六.	五.	十四.	九.	女一.十	二十一.	一.	九.	初.
十三.	五.	三.	十二.	七.	八.	二十.	箕九.	八.	氐六.十
十一.	三.	二.	十.	六.	七.	十八.	七.	六.	十三.
十.	一.	初.	九.	四.	五.	十七.	五.	四.	十二.
七.	奎七.十	璧九.	七.	三.	四.	十五.	四.	三.	十.
五.	十六.	六.	六.	一.	二.	十三.	一.	一.	九.
三.	十四.	五.	四.	虛九.	初.	十二.	一.	初.	七.
三.	十三.	三.	三.	七.	牛六.	十.	尾七.十	心四.	五.
二.	十二.	三.	一.	五.	四.	九.	十五.	三.	四.
初.	十.	初.	危五.十	四.	三.	七.	十四.	一.	二.
婁二.十			十四.					初.	

九十一.	九十.	八十九.	八十八.	八十七.	八十六.	八十五.	八十四.	八十三.
三.	五.	十六.	二.	三.	四.	三.	五.	十.
初.	三.	十三.	鬼二.	初.	三.	一.	三.	亢九.
昴一.十	一.	十一.	初.	星六.	初.	翼十.二	一.	七.
八.	初.	十.	井九.二十	四.	張六.十	十八.	軫八.十	六.
七.	畢五.十	八.	二十七.	二.	十五.	十六.	十七.	四.
五.	十三.	七.	二十六.	初.	十三.	十三.	十五.	二.
三.	十一.	五.	二十四.	柳三.十	十二.	十二.	十三.	一.
二.	十.	四.	二十三.	十.	十.	十一.	十二.	角二.十
初.	八.	二.	二十一.	九.	八.	十.	十.	十.
胃五.十	七.	初.	二十.	七.	七.	十.	九.	九.
十三.	五.	參十.	十八.	五.	五.	八.	七.	七.
十一.	三.	八.	十六.	四.	四.	五.	五.	六.
		六.		二.			四.	

九十二。十一。八。七。五。三。二。初。婁十二。九。七。六。五。三。

九十三。二。初。奎十六。十五。十三。十一。十。八。七。五。三。二。

右從月交黃道求之。月交之終始。該三百六十三度七十九分三十四秒。厤二十七日二十一分二十二秒二十四微。羅計於其間。各逆行一度四十六分三十秒。逆實順也。其數幷月行交終之度。卽黃道周天之度。凡十八年有餘而周天。九十三年而五周天。至交初復在舊躔矣。取上古甲子日月之交。分爲九十三號。每號分爲十二月而置閏於其下。閏在號前。那前一月。閏在號後。那後一月。

紫炁

天乙紫炁。續木之餘。在天無象。以木德最厚。立此名以道步其餘先。其行度無伏見遲速退留。

平行。一日行三分五十七秒。

紫炁定局圖。

	正	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	閏
一。	危十一。	十三。	十五。	室初。	一。	二。	三。	四。	五。	六。	七。	八。	九。
二。	九。	十一。	十二。	十三。	十四。	十五。	十七。	十八。	壁初。	一。	二。	四。	

十六. 十五. 十四. 十三. 十二. 十一. 十. 九. 八. 七. 六. 五. 四. 三.

十. 十四. 二. 八. 二十八. 十五. 一. 十五. 三. 初. 三. 三. 八. 五.

十二. 十六. 三. 十. 三十. 十七. 三. 參一. 三. 一. 五. 五. 八. 六.

十三. 十七. 四. 十一. 二十一. 十八. 四. 二. 五. 三. 六. 六. 十. 七.

十四. 翼一. 五. 十三. 鬼一. 十九. 五. 三. 六. 四. 七. 七. 十一. 八.

十五. 二. 六. 星二. 十三. 二. 井十. 二 六. 四. 七. 五. 九. 八. 十二. 九.

十六. 三. 七. 三. 柳初. 二十一. 八. 五. 八. 六. 十. 九. 十三. 奎初.

十七. 四. 九. 四. 二. 二十二. 九. 六. 九. 七. 十一. 十. 十四. 一.

十八. 五. 十. 五. 三. 二十三. 十. 七. 十. 八. 十二. 十二. 十五. 二.

十九. 六. 十一. 六. 四. 二十四. 十一. 八. 十一. 九. 十三. 十二. 十六. 四.

軫初. 七. 十二. 張初. 五. 二十五. 十二. 九. 十二. 十一. 胃四. 十二. 十七. 五.

二. 八. 十三. 一. 六. 二十七. 十三. 十. 十三. 畢一. 十五. 三. 婁一. 六.

三. 九. 十四. 七. 二十八. 十四. 井一. 十四. 二. 昴初. 二. 七.

十. 八. 十五. 十五. 三.

十七.	三.	五.	六.	七.	八.	九.	十.	十一.	十二.	十三.	十四.	十五.
十八.	十五.	十七.	十八.	角一.	二.	三.	四.	五.	六.	七.	八.	九.
十九.	十.	十二.	亢一.	二.	三.	四.	五.	六.	七.	八.	九.	氐初.
二十.	一.	三.	四.	五.	六.	七.	八.	九.	十.	十一.	十二.	十三.
二十一.	十四.	十六.	房一.	二.	三.	四.	五.	心一.	二.	三.	四.	五.
二十二.	五.	尾一.	二.	三.	四.	五.	六.	七.	八.	九.	十.	十一.
二十三.	十一.	十三.	十四.	十六.	十七.	箕初.	一.	二.	三.	四.	五.	六.
二十四.	七.	九.	斗一.	二.	三.	四.	五.	六.	七.	八.	九.	十.
二十五.	十.	十二.	十三.	十四.	十五.	十六.	十八.	十九.	二十.	二十一.	二十二.	二十三.
二十六.	二十三.	牛一.	三.	四.	五.	六.	女初.	一.	二.	三.	四.	五.
二十七.	六.	八.	九.	十.	十一.	虛一.	二.	三.	四.	六.	七.	八.
二十八.	九.	危一.	二.	三.	四.	五.	六.	七.	八.	九.	十.	十一.

四餘惟紫炁閏有象狀如半月所謂景星也生於晦朔助月爲明其度起於閏法二十八年而周天厤以十二日八十七分五十三秒八十三微爲一歲之閏紫炁則一歲行十三度〇五分〇四秒六十微八十芒兩數比之乃加二之算二十八年十閏紫炁行十二宮亦加二之算也取上古甲子分爲二十

八號每號分爲十二月而置閏於其下閏在號前那前一月閏在號後那後一月

月孛

太乙月孛乃水之餘在天無象古人以水星在天其行最疾其行無伏見遲留

平行日行十二分二十九秒

月孛定局圖

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
正	牛五	十一	五	八	虛初	三	七	危一	三	八	十四
二	室二	七	十	十三	十七	壁二	五	八	十二	六	十二
三	十五	婁一	四	八	十一	胃二	五	九	十五	昴三	六
四	畢一	五	九	十二	十五	參二	五	九	井二	五	八
五	十四	十八	二十	二十五	鬼一	二	柳二	五	九	十二	張二
六	十三	十七	翼二	六	九	十二	十六	十九	軫三	六	九
七	十五	角初	三	七	十	亢一	四	七	氐一	四	八
八	房一	五	心三	六	尾二	六	十	十三	十六	箕二	五

十二	閏
十四	
十二	
九	
十二	
九	
十一	十四
八	

二十三.	二十二.	二十一.	二十.	十九.	十八.	十七.	十六.	十五.	十四.	十三.	十二.	十一.	十.
柳三.	六.	九.	五.	八.	七.	心初.	六.	翼初.	三十.	參初.	胃初.	壁初.	虛初.
六.	十.	十三.	七.	危四.	十一.	四.	九.	四.	柳初.	四.	五.	四.	四.
十.	井三.	昴一.	奎三.	七.	十三.	尾一.	十二.	七.	五.	八.	八.	七.	七.
十三.	六	四.	七.	十.	十七.	五.	亢二.	十一.	八.	井一.	十一.	奎二.	危二.
星三.	九.	七.	十.	十四.	二十二.	八.	四.	十四.	十一.	四.	十五.	五.	十六.
張初.	十三.	十一.	十三.	室一.	牛一.	十一.	六.	十七.	十四.	八.	昴二.	八.	八.
四.	十六.	畢三.	十七.	四.	四.	十五.	九.	軫一.	星五.	十一.	五.	十二.	十二.
十.	二十.	六	婁二.	八.	女初.	箕初.	氐三.	四.	張二.	十四.	九.	十五.	十五.
十四.	二十三.	十.	五.	十一.	四.	四.	六.	七.	五.	十八.	畢一.	婁初.	室二.
十四.	二十六	十三.	九.	十四.	七.	七.	十.	十一.	九.	二十一.	四.	四.	六.
十七.	二十九.	十六.	十二.	十八.	十.	斗一.	十三.	十四.	十二.	二十四.	八.	七.	九.
翼三.	鬼一.	參三.	胃三.	壁三.	虛三.	四.	十六.	十七.	十五.	二十八.	十一.	十.	十二.
六.			六.		六.		房三	角二.					十六.

三十八.	三十七.	三十六.	三十五.	三十四.	三十三.	三十二.	三十一.	三十.	二十九.	二十八.	二十七.	二十六.	二十五.	二十四.
九.		二十.	八.	亢二.	十四.	十一.	井一.	十四.	奎一.	四.	十五.	五.	十.	九.
十四.	十四.	牛一.	十二	七.	十八.	星二.	五.	昴三.	五.	九.	十九.	尾二.	亢一.	十三.
十七.	室一.	四.	十五.	氐一.	軫一.	五.	八.	六.	九.	十二.	二十三.	七.	四.	十六.
婁三.	五.	女一.	箕一.	三.	四.	張二.	十一.	九.	十三.	十五.	牛二.	十.	八.	十九.
六.	八.	四.	四.	七.	八.	六.	十五.	畢二.	十五.	室三.	六.	十二.	氐一.	軫三.
九.	十一.	七.	七.	十.	十一.	九.	十八.	五.	婁一.	六.	女二.	十七.	五.	六.
胃初.	十五.	十一.	斗一.	十三.	十四.	十二.	二十一.	八.	四.	九.	六.	箕二.	八.	十.
四.	十八.	虛四.	四.	房初.	十八.	十六.	二十五.	十一.	七.	十三.	九.	五.	十一.	十三.
七.	壁二.	六.	八.	四.	角二.	翼一.	二十八.	十五.	十一.	十六.	虛一.	九.	十五.	十六.
十.	六.	危一.	十一.	心一.	六.	五.	三十.	參五.	胃二.	壁一.	四.	斗二.	房一.	角初.
十三.	奎初.	四.	十四.	六.	九.	八.	柳二.	五.	五.	四.	八.	六.	五.	四.
昴一.	四.	七.	十八.	尾二.	十二.	十一.	五.	八.	八.	八.	危二.	九.	心三.	七.
	七.			五.			八.		十二.			十二.		

五十三.	五十二.	五十一.	五十.	四十九.	四十八.	四十七.	四十六.	四十五.	四十四.	四十三.	四十二.	四十一.	四十.	三十九.
十五.	四.	五.	六.	十二.	九.	十二.	室初.	牛二.	十三.	氐一.	十九.	星二.	十.	三.
箕一.	八.	九.	張三.	十五.	畢一.	十六.	四.	女初.	十七.	五.	軫三.	張一.	十二.	八.
五.	十一.	十二.	六.	十九.	六.	婁一.	七.	三.	箕三.	九.	六.	四.	十六.	十一.
八.	十四.	十四.	七.	二十.	九.	五.	十.	十.	六.	十二.	十.	七.	二十.	畢三.
斗二.	房一.	十八.	十三.	亥五.	十二.	八.	十四.	十.	九.	十五.	十三.	十一.	亥二.	七.
五.	四.	角三.	十六.	亥九.	十六.	十一.	十七.	虛三.	斗三.	房二.	十六.	十四.	亥七.	十.
八.	心二.	六.	翼二.	鬼初.	參二.	胃二.	壁二.	六.	六.	五.	角一.	十七.	三十.	十三.
十二.	三.	十.	五.	柳一.	九.	六.	五.	九.	九.	三.	四.	翼三.	鬼二.	觜初.
五.	四.	亢初.	九.	六.	九.	九.	九.	危三.	十三.	翼一.	八.	六.	柳三.	參三.
八.	六.	四.	十二.	九.	井二.	十二.	奎三.	六.	十六.	尾四.	十一.	十.	七.	七.
亥三.	九.	七.	十五.	十.	五.	昴初.	六.	九.	十九.	七.	亢一.	十三.	十.	十.
牛二.	十三.	氐三.	十九.	星二.	九.	三.	九.	十三.	亥三.	十.	五.	十六.	十三.	井三.
五.			軫三.			七.								七.

五十四．女一．五．八．十一．虛四．七．危一．五．八．十一．室二．
五十五．四．九．十二．壁初．四．七．奎一．四．八．十一．十四．婁初．
五十六．二．七．十．胃一．四．八．十一．十四．昴二．五．八．十一．畢一．
五十七．一．七．十一．十四．參一．四．八．井一．四．七．十一．十四．
五十八．十八．二十一．二十四．二十八．鬼一．柳二．五．八．十一．十四．張二．
五十九．五．九．十二．十九．翼四．七．十一．十四．十七．軫一．四．六．
六十．八．十一．十四．十八．角二．六．九．十二．亢二．七．九．氐三．九．
六十一．十．三．十六．房三．心初．四．尾一．五．八．十一．十五．箕初．
六十二．四．七．十一．斗四．七．十一．十三．十七．二十．二十二．牛二．五．

右從月之盈縮而求盈縮一轉二十七日五十五分四十六秒．月行三百六十八度三十七分△四秒半．孛行二度十一分十四秒半．黃道周天之數併索行數．即月行之數也．凡六十二年而七周天．月行最遲之處．與之同躔矣．取上古甲子分爲六十二號．每號分十二月而置閏於其下．閏在號前．那前一月．閏在號後．那後一月．

明書卷五十

志四

郊祀志

史官論曰。露穀華文。金泥玉簡。詡雄封禪。舉不依經。未矣。明太祖敬共神明。博考典常。釐正祀事。大者如二邱始分而終合。四廟先異而後同。創制明堂。尊崇廟寢。偉哉。酌古今。通幽渺。絕地天通。洽神人志。因革損益。神道設教之禮。不可有加。而訓辭諄復。本於克誠。猗歟。當明議禮諸臣。咸能尋則彝彤。取法萃渙。條之品式。仰贊廷謨。雖未盡復古聖王之舊。而洗濯淫瀆。諸凡矯誣鄙褻。巫覡奇袤之類。莫不峻防。洵守正儒矣。至建文撤仁祖郊太祖。仁宗因太祖進太宗。憲宗升祔。詳愼祧寢。孝穆登饗。特建奉慈。情文抑伸。有孚古度。及夫世宗入繼。天資英邁。隆於所生。未免太過。卽仁至義盡。而祔廟稱宗。君臣誼盩。位次未安。諸臣洶激。罹憂不悛。悲夫。然靡神不舉。更制紘綸。軌憲雖多。意創閒出。獨金籙齋醮。迄無曠期。嘉進步虛之摛。怒遷青詞之斬。此司馬遷之所以顯譏於漢武也。其他卽稍有注措。祇爾細故。微文明之祀典。大約斟式曩儀。棐常無斁。今考厥累朝遺訓。誠敬殷殷。可謂得其本矣。舉凡在祀典者。列於是篇。使擇憲禋宗者得以覽焉。

明興。太祖高皇帝重百神之祀。吳元年。建圜丘於鍾山之陽。以冬至祀昊天上帝。建方丘於鍾山之陰。以夏至祀皇地祇。建四親廟於闕左。中奉德祖。東懿祖。西熙祖。東下方仁祖。廟與祖皆南向。東西有夾室。有廡有三門。門建二十四戟。略如古都宮之儀。洪武元年正月乙亥。祭告天地於南郊。即皇帝位於郊壇之南。建國號。改元。明受之於天也。追尊四代考妣爲帝。敕禮官言。自昔聖王內致誠敬。外盡儀文。嚴於祭祀。朕膺天命。首建郊社宗廟。顧草創之初。典禮未備。將何以交神明而致靈貺。其博考古今定儀以聞。於是丞相善長、學士安、太常卿惟庸等奏。國有大祀。曰圜丘。曰方丘。曰宗廟。曰社稷。若他中祀小祀。各具沿革以進。乃以郊廟社稷先農爲大祀。已而改先農及山川帝王先師旗纛爲中祀。諸神小祀。大祀致齋三日。中祀二日。祀有牲。牲四等。曰犢。曰牛。曰太牢。曰少牢。色尚騂或黝。天地日月加玉焉。玉三等。曰蒼璧。曰黃琮。曰玉。殺禮不用牲。用果脯或素羞。大祀中祀用制帛。帛五等。小祀素帛。於是祀天圜丘。而以大明夜明星辰太歲諸神從饗。祭地方丘。以嶽鎮海瀆諸神從饗。饗以樂。而前代大乙感生五帝諸不經之祀俱罷。定宗廟儀及樂。以四孟及歲除凡五享。而清明端午中元冬至祀如儀。祝稱孝子皇帝不稱臣。遣皇太子祝稱遣長子某。不稱皇太子。三年奉仁祖配天地。位西向。而四親廟孟春犆享三時。奉三祖合享於德祖之廟。德祖南向。三祖東西向。初獻各奏其廟樂。餘奏德祖樂。上親郊。皇太子居守。親王戎服從。尋以大祀獻終乃分獻。未安。學士濂同言。請初獻玉帛已。分獻官即初獻。亞終亦如之。上曰。善。八年。定大祀登壇脫舄禮。九年。改建太廟。前正殿。後寢殿。殿翼兩廡。寢殿九間。間一室。中奉德祖帝后。東懿西熙。仁居東二室。

皆南向。几席諸器備具如生儀。兩廡則以十五王從祀焉。詳故王表。而建奉先殿於乾清宮左。上日焚香展敬。朔望薦新。及節序生辰。用常饌。行家人禮。祭焉。十年春。且郊。上感齋居陰雨。覽京房災異對。喟然嘆。採古明堂遺制。卽圜丘舊壝作大祀殿。定合祀之制。而是歲卽奉天殿行之。及後殿成。祀昊天上帝皇地祇。位南向。仁祖配西向。六宗五嶽四瀆之神各壇壝以從。壇十有四。禮成。上作大祀文并歌文。略言天生君主。爲民立命。洪荒之時。莫知誰始。今載於書。開天立極。首興彝倫者。伏羲、神農、黃帝。是也。法三皇而守行者。少昊、顓頊、高辛、唐、虞。其損益禮樂大備其文者。夏、商、周也。下至秦、漢、以及唐、宋、元。嗚呼。天惟自然。而常者三綱五常也。聖人度人情而措彝倫。不逆其性。務從於善。每聞昔君欽若昊天。莫敢有怠。朕卽位以來。祀天饗地。奉宗廟社稷。當齋期恆風雨臨祭乃斂。每以爲憂。京房有言。郊祀鬼神。必天道雍合。神乃答。若飄風驟雨。是爲未善。於是命三公度土工。部役梓人。於南郊創大祀殿。合享。朕思古人南郊祭天。以陽生之月。北郊祭地。以陰生之月。獨以義起。不知至陽祭之至陰之月。至陰祭之至陽之月。於理可疑。且掃地而祭。其來甚遠。尙質不華。令天地之享與大人異。將人之享亦執古不變乎。古則汙樽杯酒。茹毛飲血。巢居穴處。今可行乎。殆必不然。因定歲祭天地於首春。三陽交泰之時。合祀天地。前期致齋五日。內二日以告仁祖。三日正齋。風和日暖。及夜升壇。草木不搖。江海不波。陰中天。神恍降臨。故合祀宜也。朕雖失學無文。特述其事而咏歌。文多不能載。已罷朝日夕月熒星之祭。并諸從饗者。歲八月各祭於其壇廟。而制郊社大事。國有大喪。不廢廟饗。值國喪。樂備而不作云。當是時。上於郊邱宗廟之禋祀。執鬯秉圭。夔夔

敬畏。儼神明。綏將告祀南郊。敕百官天高聽卑、鬼神幽顯、通一無二之道甚具。令竭誠盡慎。已詔中書言。祀禮肇於聖王。諸周旋上下進趨獻酌之節。慇懃至矣。朕親循行。無乃失之瀆而過飾乎。過飾是不誠也。且人不誠者衆。暫誠者有之。永誠者鮮矣。今措禮設儀而過飾。能有終乎。朕周旋神所十有一年。未見其當。於是更儀殊式。合祀天地。神乃懽。中書下翰林紀焉。上嘗以仁祖忌辰詣廟祭。已御便殿。泣數行下不自休。謂起居注詹同曰。往吾父以是月六日亡。兄以九日亡。母二十二日亡。一月間三喪相繼。人生何堪。終天之痛。念之罔極。因悲咽不自勝。左右皆感泣。不能仰視。尋定仁祖陵號。如漢光武祖昌陵、宋欽陵、康陵、定陵、安陵故事。遣太常祭告。國初大社大稷。異壇同壝。皆北向。勾龍后稷配東向。已上乃言。社祀五土。稷祀五穀。土主發生。五穀用以生。乃各壇而祭。是土穀不合同以生也。義何當焉。又祭先社固當。乃先奠社。配乃奠稷。何居。其一壇合祀二神。神乃答。罷勾龍后稷氏配。配以仁祖。壇成。禮尚書張籌上言。書稱成湯顧諟天之明命。以承上下神祇。社稷宗廟罔不祇肅。則社稷於神祇宗廟崇禮一也。後世列爲中祀。失之矣。祭之日。或具通天冠絳紗袍。或以皮弁。制未有定。今陛下稽古左祖右社之制。奉仁祖配。至尊重宜升爲上祀。冕服以祭。從之。初建山川壇於天地壇西正殿。爲壇七。曰太歲。曰風雲雷雨。曰五嶽。曰五鎮。曰四海。曰四瀆。曰鍾山。兩廡從祀六壇。左京畿山川。若夏冬季月將。右春秋季月將。若都城隍神。而壇西南有先農壇、東旗纛廟壇、南籍田、在焉。尋大正天下祀典神祇之名號。下詔曰。朕惟五鎮四海四瀆之封。起自有唐。歷代崇加。夫嶽鎮海瀆。皆高山廣水。自開闢王於斯。今皆受職上帝。元眇莫測。豈國家封號之所

得加。瀆莫甚焉。雖忠臣烈士。惟當代褒勵封號爲宜。今依古制。凡嶽鎮海瀆。並去其前代所封號名。止以山水本名稱神與郡縣城隍神號。歷代忠臣烈士。從當代本封。無從其溢名。庶幾神人名正言順焉。禮官上言。太歲風雲雷雨嶽鎮海瀆。及天下山川都城隍。及天下城隍。皆祀於城南。屋而不壇。非禮也。唐制以立春後壬日祭風師於城東。立夏後申日祭雨雷於城東南。以今觀之。天地生物。動之以風。潤之以雨。發之以雷。本一氣使然。至於海嶽之氣。流通暢達。何限隔之有。宜以太歲風雲雷雨嶽鎮海瀆及山川諸地祇合爲一壇。春秋專祀。制曰可。壇成親祀。後遣官。上服皮弁服。御奉天殿降香。中嚴以待事終。獻官復命。始解嚴還宮。後於壇北建祭殿五間。又北建拜殿五間。以備風雨。禮官又以太歲者十二辰之神。按說文從戊步木星歲行一次。應十二辰而一周天。自子至巳爲陽。自午至亥爲陰。所謂太歲也。陰陽家又有十二月將十二日時所值之神名不見經。唐宋不載祀典。元有大興作。祭太歲月將日值。今定祭太歲於山川壇之正殿。而以四月將分祀兩廡。蓋太歲統四時。而月將乃四時之候。寒暑行焉。涉陰陽言宜釐正。不果。至永樂初年。增左鍾山右天壽山。後復左增列基運山、翌聖山、神烈山。右增列純德山。皆以列聖園陵託之故也。國初祀三皇太牢。勾芒祝融風后力牧配。已命官考古帝王臨中國安養民有功德者祠祭之。擇名臣從祀。禮官上言。古帝王祠。父子祖孫合一廟而食。非禮也。請爲廟同堂異室。歲春秋禮三皇、五帝、夏禹、商湯、周文武、漢高祖、光武、唐高祖、太宗、宋太祖、元世祖。其守成賢君。令所在有司歲春秋祭於陵。制曰可。七年。肖帝王衮冕坐像。上曰。伏羲神農未有冠裳之制。勿加。已而郊祔祭諸帝王。省春祭。歲仲秋遣

官祭於廟。尋命官擇古名臣始終全節者三十五人。曰風后、力牧、臯陶、夔、龍、伯夷、伯益、伊尹、傅說、周公旦、召公奭、太公望、召穆公虎、方叔、張良、蕭何、曹參、陳平、周勃、鄧禹、馮異、諸葛亮、房元齡、杜如晦、李靖、郭子儀、李晟、曹彬、潘美、韓世忠、岳飛、張浚、凡三十二人。先是既定帝王。上曰。文王雖基命。終守臣節。唐高祖有天下。太宗力也。可勿祀。祀於陵。增祀隋文帝。廟火。改建於欽天山之陽。去隋文。諸臣先有趙普。上曰。趙普負太祖不忠。不可祀。元木華黎。安童祖也。不可祀孫而去祖。祀木華黎罷安童。祀伯顏。罷阿木。已著令子午卯酉年傳制祭於陵。廟祭停焉。詔天下儒學通祀孔子。頒釋奠儀及大成樂。詳學校志。乃立功臣廟於鷄鳴山。廟成。上親論功列祀。令死者塑像。生者虛位。殿中則徐達、常遇春、李文忠、鄧愈、湯和、沐英、東序則馮國用、耿再成、丁德興、張德勝、吳禎、康茂才、茅成。西序則胡大海、趙德勝、華高、俞通海、吳良、曹良臣、吳復、孫興祖。凡有舊嫌者皆不與。後增戰歿功臣百二十四人。而以都督指揮千百戶鎮撫從之。若古先賢古功臣忠臣祠。若先農城隍旗纛馬祖五祀大厲京倉諸祀祠。遣祭而百神咸秩矣。建文元年。奉太祖神主祔寢殿西二室南向正殿神座。位次熙祖東向。祀圜丘。撤仁祖。奉太祖配。永樂初循行。上狩燕邸。皇太子攝郊禮成。部尚書驛赴行在復命。後定都北京。建郊廟如留部。歲親祀。而留部壇廟。國有事乃逢官祭告焉。洪熙中。奉太宗郊祀配天。位太祖下西向。而太祖祔東三室殿。座次仁祖。祭社稷。定用仲春秋月上戊日。本周公卜洛戊申。社奉太祖太宗配。自是百年間郊廟百神之祀大定。歲敕舉如儀。而成化弘治中。有慈懿祔

葬孝穆登饗之事。慈懿皇太后。英宗后錢。而貴妃周太后實生憲宗。憲宗既卽位。閣夏時倡言錢皇后久病。不當上尊號。獨尊上生母爲皇太后。輔臣爭之。卒從賢議。詳宮闈紀。及慈懿太后崩。下大臣議葬祔。大學士時曰。此定禮無可議者。梓宮當合葬裕陵。主祔廟。部尙書姚夔贊之曰。禮也。閣夏時復有嘖言。大學士時曰。太后母儀天下三十年。卽臣子何忍異議。事關鉅。一異議謂天下後世何。反復章數上。至羣臣伏文華門哭。遂溫旨諭如議。謚孝莊祔廟。及周太后崩。上尊謚如皇后儀。乃建別廟祀。語詳宮闈紀。廟奉孝肅中室。孝穆左室。嘉靖中奉獻皇母邵太后右室。具稱得禮云。先是憲宗崩。九廟之制已滿。議所祧。禮官倪岳等言。昔周以稷爲始祖。文武爲世室。皆百世不祧。餘以次序祧。前乎周則商以契爲祖。而湯與三宗百世不遷。後乎周。則宋以僖祖爲始祖。而太祖太宗百世不遷。宋雖時有異議。而大儒程頤朱熹。皆以奉僖祖爲得禮。國家自德祖而上。世次莫推。則德祖視周后稷。不可祔明甚。太祖太宗視周文武。又百世不遷。憲宗升祔。則懿祖神主義當奉祧。宜於太廟寢殿後別建祧廟。如古夾室之制。歲暮奉祧主合享爲當。而吏部侍郎楊守陳議。以爲禮天子太廟祖功宗德。上祀德懿熙仁四祖爲四親廟。非祖功之意。郊祀配天以仁祖。取嚴父之意。固未嘗以德祖擬商周之稷契而配天也。太宗嗣位。尊高皇帝爲太祖而配天。其意以四祖親盡當祧。而太祖則如禹之於夏。高祖之於漢。固百世不遷也。且古者一帝一廟。廟皆南向。後世同堂異室。亦皆南向而全其尊。時享盡然。惟祫祭則太祖東向而尊。餘左右分向而卑耳。今國家時享之禮。皆德祖南面。餘東西分列。已儼然古祫禘之義矣。今以德祖爲始祖。永居南面之尊。而太祖旁列。永

居東西向之位。臣子仰瞻。甯無悽怛。必且有博聞洽禮之儒。昌言以排其失。尊太祖而後已。唐宋之事是已。況今別廟於太祖伊邇。祫祭則德祖猶居南面之位。不失其尊。非如唐遷興聖。宋遷四祖。殿遠隔而別饗也。亦何嫌於伸孫屈祖之云哉。臣愚請祧德懿熙三祖。自仁祖而下七廟。以應古制。異時祧盡。則太祖以功德而時祭有常尊。而大祫以尊德祖。庶功德崇而恩義以備。無悖於禮也。議上。上從禮官議。建別殿於寢殿後。藏懿祖神主神座。而熙祖寢主遷東一室。殿座遷西向一位。憲宗升祔西四室。殿座次宣宗。而仁祖以下遞遷。孝宗升祔祧熙祖。武宗升祔祧仁祖。已奉獻皇祔而德祖不容無祧。於是太祖高皇帝實正九廟南向之尊。歲大祫。太祖與四祖並南向。列聖左右序東西向如初。世宗入繼初元。敕禮部下百官議。興獻王崇祀號名。固將闢秦漢以來諸儒之議。而祖其意於唐虞繼統三代世及之上。閣學士廷和欲重太宗尊尊爲正紀。援漢定陶宋濮王事授禮官。是正典當據。有異論爲熒惑者斬矣。禮尚書澄會公鵬舉、侯孫杲、駙馬蔡震、府部翰林科道官六十八人上章言。昔漢成帝立定陶王爲太子。立楚孝王孫爲定陶王。奉共王祀。共王者。皇太子本生父也。時大司空師丹以爲恩義兼至。今皇上入奉大統。宜別立興獻王後。主祀事。宋英宗議濮安懿王追崇典禮。司馬光曰。請尊以高官大爵。稱皇伯而不名。大儒程頤是之。今興獻王於孝宗弟也。皇上考孝宗。於王當稱叔。當別爲殊稱曰皇叔父興國大王。興妃稱皇叔母興獻大王妃。凡祭告若上箋俱稱姪皇帝名。而以倫序命益王第二子崇仁王厚炫襲封興爲獻王後。稱考妣禮。乃愜上意。內卻之。下再議。廷和澄等各守前議。錄宋儒程頤說以上。且言。上篤念興獻王主鬯非血屬。

請令崇仁王暫主興王祀。需異時皇嗣繁衍。仍以皇嗣第二子爲獻王後。則情理得矣。上復命雜刺典禮求至當。廷和復錄魏明帝重大宗詔以上。持不下。廷和因入見力言之。上曰。朕奉大統非所願。獨謂庶幾得尊崇父母爲至榮。今若此。徐之。需朕意少釋乃下。時進士張璁知上意。隆本生。欲將順旨。上章言。臣聞孝子之至。莫大乎尊親。尊親之至。莫大乎以天下養。皇上嗣極。敕議追崇興獻王以致其尊。奉迎聖母以致其養。此孝子尊親養親之心。不能自已者也。茲朝議考孝宗而叔興獻王。不過執漢定陶宋濮王故事。謂爲人後者爲之子。不得顧私親耳。夫漢哀帝宋英宗。當成帝仁宗時。皆豫立爲皇嗣。猶曰是爲人後者也。今武宗時孝廟已十有六年矣。比崩。遺詔遵祖訓兄終弟及之義。迎皇上入繼大統。比之預立爲嗣者較然。且皇上興獻王之元子也。又獻王所生惟皇上一人。利天下爲人後而稱以叔父。質之鬼神。固不能無疑。興獻王妃。聖母也。今止稱皇叔母。將以君臣禮見乎。抑以母子禮見乎。以君臣禮見。臣恐子無臣母之禮也。夫繼統之於繼嗣。似也而實不同。統者帝王相傳之次第。而嗣則父母之體之至親。漢哀宋英。彼繼嗣者可矣。其在繼統。若漢文帝承惠帝之後。是以弟繼也。宣帝承昭帝之後。是以兄孫繼也。必奪彼父子之親。建此父子之號以爲繼。則漢文漢宣。皆不得謂之統耶。故禮時爲大。順次之。不時不順。非人情也。何禮之與有。竊伏謂宜別爲興獻王立廟京師。隆尊親之孝。而母以子貴。迎聖母致養焉。則興獻王不失爲父。聖母不失爲母。所謂永言孝思、孝思維則者也。上覽奏大喜曰。此論出。吾父子終可完。下閣議。閣部守前議。逾深堅。於是主事霍韜是璁議。作大禮議與澄私辯之。不能得。乃具疏上。略以爲皇上繼統。於濮

王不類。今近舍無嗣之武宗不嗣。顧遠紹有嗣之孝宗而嗣之。是孝宗乃有兩嗣子。而武宗興獻王顧終無嗣也。且天下外物也。舜受堯之天下。未聞不父瞽瞍而父堯。禹受舜之天下。未聞不父鯀而父舜。舜禹不父堯舜。未聞廢堯舜之祀。此堯舜禹處人倫之變。而不廢人紀之常者也。若曰舜紹堯宜爲堯之子。禹紹舜宜爲舜之子。是利天下而家之。非所謂有天下而不與也。若必以追尊爲非禮。雖勿追尊焉可也。乃名則何可奪也。於是上召輔臣入。賜坐勞慰之曰。卿等議是。第至親莫如父母。今尊父爲獻皇帝。母興獻皇后。祖母康甯皇太后。其允行。廷和等持不可。已復手詔諭之曰。朕受祖宗鴻業。父興獻王獨生朕一人。既不得承祀。又不得徽稱。謂罔極恩何賴。卿等委曲折衷。下禮部。部尚書澄持不可。璁復著大禮或問。申前議甚辨。且言父子天性也。皇上考孝宗。而又以崇仁王考興獻。是強之爲父子也。使孝宗不得子武宗。又使興獻王不得子皇上。是奪人之父子也。古之爲禮者。將使無後之人有後。今之爲禮者。將使有後之人無後也。且士階一命。無不欲尊榮其親。何獨至於皇上而疑之。是使君之尊親不如己也。無亦愛君之心。不如愛己矣乎。至力闢爲人後者不得顧私。爲漢儒之說。而廷臣各鬨然以璁貢諛惑上聽。訟共擠排之。會聖母至通州。聞朝議不肯入。上聞之憂泣。於是太后詔皇帝本生興獻王宜稱帝。母興獻王妃宜稱后。憲廟貴妃邵稱太后矣。已又降御批。父興獻大皇帝。母大皇后。而閣臣持前議以去就爭。且言正統大義。賴一皇字而明。若加於本生。與正統混。非所以重宗廟。上曰。卿等言皆大義。朕奉昊天。至情不忍奪。毋拘文。於是禮尚書澄及百官連疏爭。事寢。明年。上欲申興獻帝稱皇之命。召閣士見平臺。語溫溫懇。閣議

堅不可。上命中官詣禮尚書第卽賜金。令勉爲上屈。澄堅持不可。謝事去。當是時。璁發大議固辯。而於古今所共是頗扞忤。疏具未上。時旁皇四顧。邀與同功者莫或應。疏上。巡撫都御史席書。吏部員外郎方獻夫。皆是之。各具議。憚衆詬未上也。於是主事桂萼具疏。幷錄書獻夫議以上。時上意殊鬱。念羣議堅難奪。而廷臣中無復主璁韜議者。得疏乃大喜。下百官集前後章奏平議聞。於是閣學士廷和乞罷。許之。禮尚書俊會百官主前議。上下覆議。給事中御史力持之。上怒罵曰。此朋奸。修撰唐皐進曰。願陛下考所後以別正統。隆所生以備尊稱。上曰。何首鼠也。於是召書璁韜萼畢詣闕會議。萼乃復疏言。帝王傳統。體天下之心。盡君臣之道。以開萬世。非若一家一人之私者也。故統爲重。嗣爲輕。堯以不得舜爲己憂。不聞陶唐氏失天子之祀享爲憂也。舜以不得禹皐陶爲己憂。不聞以有虞氏失天下之祀享爲憂也。夏后商周以世及。康天下久矣。太康之世。立弟仲康。至不降。則立弟扃。扃之子復立。不降之子孔甲。商七傳三立弟。至太戊而殷道中興。太戊以下。傳弟河亶甲而又興。祖辛數世五立弟。至盤庚而殷道又興。盤庚以下再立弟。至小乙生武丁。而殷道又復大興。周六傳乃無嗣。立王叔父辟方以繼統。而周德復興。夷王以下衰矣。又數十世。匡王無嗣。立弟瑜而周復不墜。夫唐虞三代。豈必皆無子行爲可繼哉。重繼統之得人。而不重己之得嗣。爲天下謀。不以一人之私謀也。後世爲人君者。不計天下之安危。爲人臣者。不知事君之大節。女后奸臣。利於立昏。豈無賢長。而以其繼嗣之私情干之。而國統替矣。我太祖高皇帝深懲其失。獨取法於二帝三王。以兄終弟及之文定爲祖訓。故皇上以興獻帝長子。上續祖宗之統。事法三代。義合唐虞。豈

當持後世爲人後之文以亂斯義哉。故考興獻帝繼統武宗。此天理人心推之爲堯舜人倫之至者也。史官曰。尊所引三代立弟是矣。所立弟未嘗隆所生。徒以弟繼統之說進。於加皇之義謂何。璁亦復上疏如尊言。於是禮官議。本生父母加尊號隆極務稱塞。而上意終未慊。七年。定稱孝宗曰皇伯考。昭聖皇太后曰皇伯母。恭穆獻皇帝曰皇考。章聖皇太后曰聖母。告郊廟。纂明倫大典。播中外。而議禮諸臣至殿閣孤卿官。先是旨下召璁尊韜入會議。於是衆相與言上意不可回。而二奸人入卽事變。欲逆閉其塗。乃議加皇字。且言大禮定。二人者不必來。於是璁尊知所建白爲舉朝疾。不得召。衆且將齮齕之。復合疏言。以加本生二字。蓋外之之辭。既考獻皇。又考孝宗。是二考也。二考是二本也。孝宗有靈而信乎。獻皇有靈而懟乎。皇上兩考之而安乎。疏上。二人者復得召。而廷臣疾之如仇。尊璁至。立命爲翰林學士。諸翰林閉院門拒之。羣臣伺尊璁入朝。欲拳歐如馬順故事。璁尊走避武定侯勛所。乃免。就勛所上疏。上夜召見璁曰。禍福與卿共之。今衆洶洶當奈何。璁曰。天子至尊無上。日月雷霆。夫誰敢敵。需錦衣數力士足矣。上頷之。明日百官奏爭愈激。上齋居文華殿。侍郎何孟春倡百官赴殿門伏哭。修撰愼廷和子也。謂衆曰。國家養士百五十年。仗節死義在今日。而御史王元正遮朝臣曰。今日有不力者頌共擊之。於是哭且讙。上怒。命錄諸哭者收繫。乃逮御史豐熙等八人下詔獄。時百官非實有見於國是禮體。獨承沿濮議。見大臣墨守。共堅和爲名高。被逮有奔避者。愼元正撼門哭。羣臣皆哭曰。太祖高皇帝孝宗皇帝。聲大震。上益怒。逮繫馬理等百三十有四人下獄。諸大臣待罪。閣學士冕疏救。不聽。罷謫官。於是熙等八人拷訊發編伍。四品

上皆罰俸五品下各廷杖追繫凡二百二十人餘惟編伍滇南乃詔於奉先殿側創西室曰觀德殿奉獻皇帝主翰林科道交章諫不聽及是定皇考聖母尊號以觀德殿規制未備嫌之而光祿寺署丞何淵請於太廟內立世室爲禰廟崇祀獻皇帝與祖宗同饗下禮官禮尚書書學士璁萼亦不敢任其議各上言孝子不順情以危親忠臣不作奸以諂君祖伊於殷高宗以典祀豐昵爲告願陛下及聖子神孫於太廟奉以正統之禮於獻廟奉以私親之儀所謂尊尊親親並行不悖也上覽私親語而恚手詔曰朕恭膺天命繼大統於太廟豈敢干惟皇考恩罔極觀德殿在內太常不禮焉誠心所未安今議反覆云爲私親何違理悖經也宜將夏殷周典禮博考上於是會議言獻皇帝以天子之父追稱大號宜於皇城內擇地建別廟出入不與太廟不同位虛不與太廟並列祭用祭次日使敬心不分於所尊廟與廟相遠使樂聲不徹於列祖禮也上終不愜乃建廟於太廟又曰世廟云先是議遷顯陵賴禮尚書大學士時言得罷議不遷當是時上既定明倫大典益覃益於禮樂制作之事諸郊廟百神咸欲大釐振一代獨偉之觀九年以合祭天地於大祀殿於上下之分陰陽之義未著也又屋而不壇爲非禮下廷議給事中夏言上議曰周禮一書言祭祀甚詳大宗伯掌禮者也而首及天人神鬼地祇之三禮此卽有虞秩宗典朕三禮之意是故以祀天神則有禋祀實柴槱燎之禮以禮地祇則有血祭貍沉疈辜之禮以享人鬼則有獻祼饋食祠禴蒸嘗之禮大司樂冬日至地上圜丘之制則曰禮天神夏日至澤中方丘之制則曰禮地祇圜丘禮天方丘禮地則天地分祀從來久矣掌次王大旅上帝則設氈案設皇邸司裘爲大裘以共王祀天之服皆

言天而不及地。宗伯六器。則以蒼璧禮天。黃琮禮地。是天地之禮。玉有別也。典瑞則以四圭祀天。兩圭祀地。是天地之祀玉不同也。祀天於冬至。以陽氣來復之始。以就陽。祭地於夏至。以陰氣潛萌之候。以卽陰。時不同也。用圜鐘於震之宮。取乾出乎震之義。曰圜鐘。像其形。用函鐘於未之地。取坤居於未之義。曰函鐘。象其容。是樂不同也。故宋儒葉時之言曰。郊丘分合。當以周禮爲定。以其明於天地之性。而盡事天地之道也。請分祀天地於圜丘方丘如周官。是時主分祭者右都御史汪鋐中允廖道南等八十二人。主分祭而成憲及時未可爲言者。大學士璁等八十四人。主分祭而以山川壇卽方丘者。尙書李瓚等二十六人。主合祭而分祭爲非者。尙書方獻夫詹事霍韜等二百六人。他無所可否。而議者往往以周正建子冬至乃歲首。以歲首祀天序爲順。國朝用夏正。則地先天食。祀地先於祀天。逆也。聖祖親定合祀之文。一則曰去繁就簡。一則曰永爲定禮。兩京大祀殿。皆祖宗竭心思而就之。分祀之說行。則太祖所定之禮已盡變。更大祀殿宇必且撤毀。昊天上帝皇地祇正位。太祖太宗配位。必且撤藏。則是不惟不當改。亦且不忍改也。上主給事中議。而詹事韜主大學士濬議。闢分祀甚力。且詆周官爲劉歆王莽瀆亂不經之書。諫官創議紊亂朝政。變成法。必有任其責者。而給事言復申疏議曰。陛下今日之舉。欲復古禮。大報天也。遵祖初制。求盡善也。欲遠跡三代之隆。正千古之謬。建一代中興之業也。議者往往以更祖爲嫌爲懼。知合祭乃太祖之制爲不可改。而不知分祭固太祖之初制爲可復也。知大祀文乃太祖之明訓爲不可背。而不知存心錄固太祖之著典爲可尊也。皆太祖之制。從其是者而已矣。矧敬天法祖。初無二道。陛下固已灼

見禮之實矣。周禮一書。朱子曰。乃周公從廣大心中流出。又曰。周官編布精密。乃周公運用天理熟爛之書。又謂天官冢宰一篇。周公輔道成王。垂法後世。用意最深切處。欲知人主正心誠意之學。於此考之。近年禮部奉明旨行移。令立小學。習讀周禮。又令科場必以周禮策士。不聞韜有奏止。韜修大明會典。具奏欲將內府各監局職掌屬之禮部。亦復援周禮天官冢宰之文。是韜平日固未嘗謂非經也。獨臣執以議郊。即顧爲非經哉。蓋韜欲中人以禍。而不知往往自蹈之也。律有紊亂朝政之條。指國家一應法度政令干係紀綱名分。而奸臣交結。紛更壞亂。欺君罔上。虐民害政者言也。有變亂成法之文。指國家律令酌事情輕重。定立罪名。頒天下遵守。百司官務要熟讀講明律意。官吏挾詐欺公。妄生異議。擅改成法者言也。今所議者郊社之禮。古先哲王之典。我太祖之所已行。本非變法。而以爲紊亂變法。非律意矣。輔臣璁度不能難。以災旱爲變。國力方詘。更議郊禮。則闢除邱澤兆域。修治儀物壇壝。紛然百出。不知費財若干萬勞民若干年而後成。請需後。言即營度建壇丘造陶匏之費。計不過萬金。請行。身行營其事。不以爲國費。上大喜。於是作圜丘於郊南。稍北爲皇穹宇。以大明夜明列曜風雲雷雨從與享。作方丘於郊北。稍南爲皇祇室。以五嶽五鎮四海四瀆若陵寢諸山從與享。而春秋分朝日夕月。如國初時。已上用言議。以太祖太宗父子同列連袂並配爲非禮。請南北之郊。露祭於壇。奉太祖配。仍於歲首祀上帝大祀殿。奉太宗配。用祈穀。下廷議。羣臣咸疏爭。不省。輔臣璁三疏爭。留中。言復理前議甚力。上怒羣臣違君叛禮。一如言議行。自是璁韜稍絀。而言以郊議稱旨。擢學士。尋以禮尚書入閣爲孤卿。十年。上坐文華殿東室。召見輔臣。

時變禮尙書言。議復古九廟之制。太廟寢殿祧廟存勿撤。惟量地建羣廟。如議當時獻皇帝尙遜不祔太廟爲世廟。以故議而諸大臣無任上旨者。於是中允廖道南上疏言。請建九廟。上得疏輒喜。下廷議。而禮官言。以爲廟者所以象生之有朝也。寢者所以象生之有寢也。建之觀門之內。不敢遠其親也。位之左。不敢死其親也。是以營構之制。奠兆之所。各有定而不可以意爲之者。今太廟南邊宮牆。東邇世廟。西阻前朝。奉聖諭太廟三殿勿撤。則廟外垣隙地不數十丈。依古制昭穆六廟以次而南。則太廟都宮之南。直承天門外。卽盡闢其地。恐猶未得容也。若稍減規模。則太廟巍然宏壯。而羣廟隤然湫隘。亦於義未協。議者欲就太廟兩廡卽分羣廟。不惟去尊就卑。不足稱聖孝尊隆之意。而遷就一時。裁損廟貌。非細故也。臣聞廟者貌也。所以形貌祖考而禮之明。寢者寢也。所以寢息祖考而妥之幽也。有廟無寢。神將安棲。議者又欲藏主夾室。夾室者側室也。藏祧主以卽遠可也。藏宗廟未毀之主。情理舛矣。或謂周人廟制儉約。宜倣爲之。夫周廟門容大扁七箇。闈門容小扁三箇。則大門實容二丈一尺。小門實容六尺。制過於今。烏在其儉約也。且太宗功業。媲隆太祖。憲宗獻皇帝父也。令可損於太廟。可損於世廟乎。卽使廟宇旣成。皇上以一人之身。冠冕佩玉。執圭服衮。循紆曲之途。徧歷羣廟。而行興俯拜起升降奠獻之禮。非獨筋力不逮。而日力亦已不給矣。議者乃曰。周官宗伯代獻。羣廟攝可也。古者廟祭。王后親獻。后有故不與。宗伯代獻。謂一廟中代亞獻之禮而可矣。未聞人臣而可主廟祭者也。且古之諸侯。罔非天胤。今陪禮者可得擬乎。皇上仁孝誠敬。可終歲舉祭。止對越太祖之廟。不一致羣廟乎。且規制必備而成。廟門垣廡寢是也。儀文必

備而後成禮主助禮樂是也今廟分勢不得不降從簡易是欲尊之而反卑欲親之而反疎見其貶損未見其隆重也宋儒馬端臨有言漢儒講求廟制非不詳也而卒不能復古者則昭穆難定故也以古三昭三穆之說推之獨父子相繼而可矣兄弟相及殷武丁時一昭五穆上祀不及曾祖未當祧而祧者四世矣唐懿宗時四昭二穆上祀不及高祖未當祧而祧者三世矣夫繼世者既不能必其爲弟爲子其建廟者豈能預定其爲昭爲穆也哉若必建廟之時昭居太廟之左穆居太廟之右則豫立六廟三昭三穆以其次爲之序者又可得乎此東都以來同堂異室之制亦未可盡非也如皇上之心以皇考專享世廟而太廟列聖乃不得專廟以全其尊則列聖同享太廟已極尊崇而皇考獨居世廟終爲退遜若以太廟世廟大小不倫行禮親攝各異不稱皇上尊親之意則皇上劄諭輔臣言祀典宜正廟制難更大哉皇言固寶訓也疏入不允乃盡撤故廟改建之祖宗各爲專廟諸廟各爲都宮中太祖昭穆六廟左右列而太宗廟在六朝上示百世不遷廟各有殿有寢太廟寢後有祧殿奉祧主藏焉太廟門殿皆南向羣廟門東西向內門寢殿皆南向畫既定會南太廟災上獻罷建而禮官言京師宗廟行復古而南太廟災殆皇天眷德祖宗答饗之意請改建勿輟上喜令亟就工十五年廟成上告事九廟是日雨甚至廟門不乘輦步入又自太祖廟步至獻皇帝廟禮成詔下言朕創昭穆羣廟祀祖宗彰太廟爲專尊之主復作太宗廟於羣廟之外表功德不遷享百世祀更創皇考廟曰獻皇帝廟別擇吉渠以避渠道止修時祭避豐禰之嫌而太廟與羣廟及世各列廟有嚴矣九廟成上以國家大禘未具舉創議大禘禮羣臣請德祖爲帝所自出

上不可。或請帝顯頊。益不可。親署曰。可稱皇初祖帝。神主無主名。五歲一行。十七年。致仕揚州府通判豐坊上言。宜建明堂。尊獻皇帝爲宗以配上帝。下廷議。而尙書嵩等上議曰。明堂圜丘皆以事天。大祀殿在圜丘之北。應古之方位。今明堂秋饗之禮。卽以大祀殿行之爲當。所配之帝。以功德論。當配以太宗。以親論。則當配以獻皇帝。邱於稱宗之說。臣等又議得人君之位天位也。以天位相承謂之統。殷人稱宗。周人稱王。繼統之嚴。不容或紊。外旣已稱宗。未有帝系非親履大寶可列於太廟者。竊恐皇考之靈。亦有未安。議上。上咈然。令再議。於是侍郎唐胄疏爭。以爲不可。上大怒。逮下詔獄拷訊。黜爲民。自是羣臣皆將順。乃舉明堂儀。因薦徽號於天於祖宗於皇考。遂卽南郊大祀殿建大饗殿。擬古明堂。而是秋殿未成。卽大內之元極殿行禮焉。殿成。薦大號於天稱皇天上帝。奉獻皇帝侑。如嚴父配天之文。先是羣臣再議稱宗。不言祔廟。上於是作明堂或問凡千餘言示輔臣。略以爲祖宗列聖。歡聚一堂。獨去我皇考一人。人情不堪。於是禮部言。古者父子異昭穆。兄弟同世數。今皇考與孝宗同氣之親爲一世。宜奉皇考祔於孝廟。但孝廟寢殿不足容二主。竊謂皇考神主。宜仍奉特廟。遇祫享太廟。恭設神座與皇伯考同居昭位。上以爲然。是秋上謚號。詳本紀。曰睿宗。與廟饗。遂尊太宗爲成祖。制廟立春犆享。各出主於殿。三孟亦然。以太祖成祖七宗饗太殿爲時祫。季冬中旬卜日。出四祖太祖成祖七宗主饗太殿爲大祫。禮成。各歸主於其寢。而獻皇帝享祫如列聖神座。次孝宗下。於武宗則叔也。以故擠而撤世廟專祀之儀。獻皇帝專廟如故。二十年夏四月。九廟災。初震。火從仁廟起。延成廟及太廟。羣廟一時俱燼。成仁火先發。主不及收。燬。惟睿廟在

垣外獨存。上奉安列主於景神殿。遣大臣上長陵獻陵告題成。仁帝后至亦奉景神殿。上欲復建廟如初禮。而中允郭希顏希意言。孝宗功德當百世祀。請上祀西世室。祀武宗別廟。而以睿宗祔禰廟。於名實爲宜稱。下廷議。交不可。上曰。希顏所言。亦臣子之心。意饗用。以禮官堅持而罷。乃建新廟。復同堂異室之制。而祀二祖七宗如初儀。尋奉安神位。上乃闢昭穆說不論。遂中奉太祖。左序成宣憲睿右序仁英孝武。追崇之典。至是而極。爲九室皆南向。而祧殿則藏四祖主。兩廡侑享十五王。如國初。先是定侑享功臣則徐達、常遇春、李文忠、鄧愈、沐英、廖永安、張玉、朱能、俞通海、張德勝、胡大海、趙德勝、耿再成、王眞、桑世傑。後罷廖永安。進郭英劉基。先是有姚廣孝以中允廖道南言。廣孝髡徒。不宜入廟。移祀大興隆寺。至於歲驚蟄則行祈穀禮於南郊大饗殿。秋報禮於大祀殿。設雩壇於四月行大雩。禮社稷則配以句龍后稷。奉太祖成祖配。西苑復建帝社帝稷如太社稷儀。以修撰姚淶及給事中陳棐言。於帝王廟罷祀元世祖及從祀木華突等五人。於山川壇南建先農壇。每耕籍以后稷及仁祖配。於太醫院建三皇廟。從以古名醫配。建先蠶壇於大內。歲春皇后詣祭。采桑於采桑臺。蠶成行三盆手禮。建高禖壇於永安門北皇城東。建金海祠於大內西湧泉亭後。祀司海水府司舟之神。下至山公宗匠。靡神不舉。而昔所祀如五祀諸祀如故。二十六年。皇后方氏崩。謚孝烈。諭廷臣議祔太廟祧仁宗。有言者輒罪之。卒祧仁廟而祔孝烈於第九室。中外知其非而莫敢爭。尋以獻皇帝原廟生芝。更名玉芝宮。建金籙醮壇。凡節序及國有大事。皆齋醮。而侍郎顧鼎臣進步虛詞七章。及請進青詞。仍列五事。上喜。後二十年行之不衰。且建元府鎮虜法壇。嚴事之。

用以褫虜魄。而虜時窺塞入內地。及去。則曰元威所祐不可忘。事益謹。隆慶元年。詔罷祈穀大饗二祭。復元極寶殿。仍曰欽安。升祔世宗。進孝潔。而祀孝烈於景雲殿。於是給事中王治上言。先帝追崇獻皇帝。大稱尊稱。誠萬世不刊之典。至於入廟稱宗。則猶有當議者。蓋獻皇雖貴爲天子父。實未嘗臨天下。而今乃與祖宗諸帝並列。雖親爲武宗之叔。嘗北面武宗。而今乃位武宗右。揆之典禮。終爲未合。故先帝於獻皇祔廟之後。玉芝宮猶如故。是先帝之心亦有不安者。臣以爲獻皇祔太廟。於萬歲後不免遞遷。若專祀則億年不改。下所司議。卒不撤。禮官復言。獻皇既升祔奉祀內殿。凡行禮已與列聖同享。而復有玉芝宮諸祭。似爲煩數。請悉罷之。上曰。玉芝祀典。出自皇考孝思。復命詳議聞。於是禮尚書高儀等復議言。宗廟常禮。如每年四孟及歲暮大祫。則止行於太廟。大小節辰及列聖忌辰。則止行於內殿。未嘗有並祭者。國有大事。或告於太廟。或告於內殿。亦未嘗有并告者。今於玉芝宮則無所不祭。無所不告。是列聖皆一祭一告。而睿宗則兩祭兩告矣。其在先帝行則爲豐禰。未爲不可。今睿宗於皇上爲祖。凡事兩祭兩告。則上而列聖。近而先帝。將何以處之。此禮之難行難繼者也。至於日供之膳宜如舊設。而悉罷諸祭告。庶國家典禮。先帝孝思。可以兩全。上從其議。萬厤中。太常卿温純等請更定時享疏言。太廟時原係九廟帝后冠服。今祝文止稱五廟。皇祖考妣太皇帝后。然自憲廟而下。既備六帝后。乃又加廟。則不止九矣。今查五廟內止太祖成祖英宗設祭。而祝多稱二廟。於座位未合。似應改正。至大祫東壁壽春以下十五王。按帝系圖。壽春王於太祖爲伯。霍邱以下七王爲兄。寶應以下七王爲姪。自英宗來相沿稱皇高伯祖。皇曾伯祖。倫

序既紊。且世次已遠。凡親盡帝王。止稱徽號。而諸王似應改稱。上下廷臣議。於是閣臣拱等上議。時享之制。止於九廟。二祖百世不遷。其餘以親序。宏治中自憲宗而上稱六廟。嘉靖初自孝宗而上稱六廟。自孝烈祔仁宗祧則稱五廟。隆慶間因而不改。至皇上嗣統。則世數異。自憲宗至皇考已備六廟。而二祖英宗三廟猶五廟。揆之名義世數。實有未協。臣等議得帝后尊稱。不宜簡略。廟次世序。所宜分明。應比照大祫禮文。將祝文通列九廟帝后聖號。而壽春等王親屬已遠。止稱本爵。裁去皇高伯祖等稱。庶得情理之當。上允其議。遂更之。其後祔神宗光宗熹宗如常儀。而建文皇帝景皇帝終不得與廟祀。止成化中荆門州訓導高瑤。請立景帝廟稱宗。下部議。禮官以非臣下所敢輕議。而左庶子黎淳力駁之。議遂寢。若建文皇帝。終三百年無言及者。在大內則有奉先殿。崇先殿。奉慈殿。宏孝殿。神霄殿。皆時祀祖宗及列后之不祔廟者。而承天府特建慶源殿。陵寢。熙祖葬祖陵。在泗州基運山。德懿二祖則望祭於祖陵。仁祖曰英陵。在中都翊聖山。高皇帝孝陵及四十妃嬪墳在神烈山。各設陵衛祠祭署奉祀。及祀丞守陵戶。而長陵以下葬天壽山。各設陵衛神宮監祠祭署如孝陵。獻皇帝曰顯陵。在承天純德山。制各如孝陵。懷宗葬土城關外曰思陵。置守陵戶孝陵東有懿文太子陵。及天壽山鬱金山有恭讓胡皇后、景帝后、孝潔及張后、吳后、諸帝妃、太子、諸王、殤公主、諸阿保夫人墳。皆以時祀牲醴羞果有差。而諸王葬其封國者。其子孫祀之。外戚則祀楊王墳於盱眙。徐王墳於宿州。各有廟及奉祀墳戶焉。先是洪武初。詔令郡縣訪應祀神祇名山大川聖帝明王忠臣烈士。凡有功於國家。及惠愛在民者。具實以聞。著於祀典。而嘗有功德於一方事蹟

昭著者。卽不祀。禁人毀撤。而帝王陵自伏羲而下三十六陵。每卽位遣官祭告。惟隋高祖不遣官。在京師則有十廟皇帝遣官各以時祭。季春秋眞武。季夏東岳。仲夏都城隍漢前將軍。仲春秋姚廣孝。正旦長至聖旦靈濟宮。皆太常。仲春秋京倉戶部。馬祖太僕。宋文信國太常。而元世祖以順天府官。後罷南京則有十四廟。季春秋眞武。孟夏天妃。季春寶誌和尙。仲秋都城隍。仲春祠山廣惠張王。渤孟夏季秋五顯靈官。皆太常祭。仲春京倉戶部。馬祖太僕。四孟歲除漢秣陵尉蔣忠烈王。漢前將軍。晉成陽卞忠貞。宋曹武惠王。南唐劉忠肅。元衞國忠肅公福壽。皆應天府祭。而饒州忠臣府之三十六人。南昌忠臣廟之十四人。諸盡忠死節。皆祀其地。歷代名賢。皆祀其鄉者。不可勝紀。府州縣近郊三壇。南神祇壇。歲仲春秋祀風雲雷雨境內山川。西社稷壇。歲春秋上戊祀司社司稷之神。而祀八蜡於其旁。則爲祠而不壇。北厲壇。歲上元淸明孟冬朔祭無祀鬼神。名宦鄉賢二祠則附先師廟側。品官則倣朱子祠堂制。許立家廟。奉高曾祖禰四世。主歲時俗節薦享。從其便。庶人得祀其祖父母父母。嘉靖中。從夏言請。品官得於冬至祀始祖。立春祀高祖以上祖。祭畢燬其位。但不得立廟。先是給事中張九功具釐正祀典疏。下部議。時倪岳爲禮官。覆議言。古制天子祭天地、宗廟、社稷、天下名山大川、及五祀。諸凡載於祀典者。於祭法所謂法施於民。以死勤事。以勞定國。能禦大菑。能捍大患。則祀之。非此不在祀典。故孔子曰。非其鬼而祭之。諂也。又曰。淫祀無福。而先儒以爲帝王無妄祀。無徼福。又曰。明於天地之性。不可惑以神怪。皆謂此也。自秦以降。乃多淫祀。厤漢至元。誕罔萬變。至國朝太祖卽位之三年。首詔天下改正祀典。列聖恪遵成憲。間有因感增祠。或以

事增齋醮。行之不察。遂襲爲例。異端之徒。轉相煽惑。怪誕相乘。所當深禁而痛絕也。惟聖明絕天地之通。嚴幽明之分。敬恭神明於祀典所應舉。而其外齋醮禱祠。通行罷斥。不惟屏斥異端之姦。亦可節省無益之費。允合聖祖以禮事神之心。而亦足致聖王至誠感神之妙。以正人心。端風俗。其於治道。非小補也。今議除正大之神如漢前將軍關宋丞相文。俱祀典應祭外。其餘則詳爲辯析。以正萬年之祀。以解萬世之惑云。所謂釋迦牟尼文佛、三清三境天尊者。按傳記。西方有佛國曰天竺。天竺有五。中天竺生釋迦。漢明帝明其法入中國。後宗其教者以釋迦爲師。若所云三世佛。分釋迦之本性爲法身。德業爲報身。幷眞身爲三。本一人而分三像。謬矣。唐儒韓愈論之詳矣。至於道家以老子爲師而云三清。蓋倣釋氏三身而爲之。宋儒朱熹曰。玉清元始天尊。既本老子之法身。太清靈寶天尊。又非老子之報身。而老子又自爲上清道德天尊。蓋失而又失矣。況莊子明言老聃之死。則亦人鬼耳。豈可僭居昊天上帝之上哉。由此言三清三境。實無所據。況躬親祠醮。如宋徽宗。覆亡陷竄。可爲明戒。而乃遞年來。凡遇萬壽千秋節。則奉詔修吉祥道場。或遇國恤。則修薦揚道場。俱先期遣官於大興隆寺及朝天宮祭告。此不合祀典者也。所謂北極中天星主紫微大帝者。按象緯書有曰。北極五星在紫微垣中。一名天極。一名北辰。其北第五星名天樞。極星之紫微垣。衆星所拱。爲天文之正中。又曰帝座。以象天子之常居。今乃像之如人。而以極星之正。祠於異端之宮。而萬壽正旦冬至諸節。皆遣大臣祭告。不知南郊已有星辰合祭之禮矣。此不合地典者也。所謂九天應元雷聲普化天尊者。按傳記有曰。凡陰氣凝聚。陽氣在內。則奮擊而爲雷霆。非如異端之謂

龍車石斧鬼鼓火鞭之說也。而道家以爲玉霄一府。總司五雷。而雷神皆其所主。又託以爲六月念四日。爲示現之神。朝廷歲以是日遣官詣大德顯靈宮致祭。夫風雲雷雨每歲於南郊大祀外壇已有合祭之禮。而八月望山川壇復有秋報之祭。況自二月發聲。何日不示現。而必於六月廿四日乎。至於肖像種種。尤屬不經。此不合祀典者也。所謂梓潼帝君者。按圖誌。英顯王廟在劍州卽梓潼神。神姓張諱亞子。其先越嶲人。因報母仇徙居七曲山。仕晉戰歿。人爲立廟。唐元宗封左丞。僖宗封濟順王。宋咸平改英顯。按文昌在北斗魁前爲天之六府。道家謂上帝命梓潼神掌文昌府事、及人間祿籍。故元加號爲輔元開化文昌司祿宏仁帝君。而天下學校多立祠祀之。京師立廟於北安門曰文昌宮。歲以二月初三日爲誕生之辰。遣官致祭。夫梓潼以孝忠顯靈於蜀。其地宜祀。而至於文昌之星。與梓潼何與。合而爲一。誠出傅會。此不合祀典者也。所謂祖師三天扶教輔元大師法眞君者。按傳記。張道陵字輔。漢光武十年生於天目山。善符水治病。永壽元年。於雲臺峯上昇。百二十歲。唐天寶七年。册贈太師。中和四年。封三天扶教大法師。大觀二年。册號正一靖應眞君。子孫遂膺世爵。入國朝令傳襲正一眞人。秩正二品。以正月十五日爲其示現之辰。遣官詣顯靈宮告祭。又按史傳。建安二年。曹操破張魯。定漢中。魯祖道陵。順帝時客蜀。學道鳴鶴山。作符書惑百姓。從其道者出五斗米。時謂之五斗米賊。陵子衞。衞子魯。以法相授。自號師君。其衆曰鬼卒。曰祭酒。大抵皆黃巾類。朝廷不能討。就拜魯漢寧太守。鎭夷中。觀此則陵之爲人可知。宜令其子孫祀於其家。此不合祀典者也。所謂大小靑龍之神者。按其碑記。昔有僧名盧自南來。寓西山之屍陀林祕

魔巖。一日二童子來拜於前。盧納之。鬻薪供奉甚謹。時久旱不雨。二童子白云能限雨期。言訖卽投龍潭。須臾化青龍二。果得雨。事聞。賜僧號曰感應禪師。又別設醮於龍潭上。宣德中禱雨偶應。遂加封號。春秋遣順天府官致祭。遇歲旱遣官祭告。近遇大旱。每禱無應。其無足崇奉明矣。此不合祀典者也。所謂東嶽天齊仁聖大帝。按圖誌。東岳泰山在山東泰安州。下有廟。自黃帝以來封禪者七十二君。唐宋元加以王以帝。若祀人鬼。洪武三年。詔去封號爲東岳泰山之神。有司春秋致祭。有事則遣廷臣祭告。今京師朝陽門外亦有東岳廟。實元延祐中元教張留孫創。國朝因而不廢。歲三月二十八日及萬壽。皆遣官祭。夫山川靈氣。有發生潤澤之功。故歷代祀之。今山東已有常祭。況每歲南郊大祀壇。八月山川壇。俱有祭。前項祭告。似屬煩瀆。此不合祀典者也。所謂北極佑聖眞君者。按傳記以爲眞武神也。眞武本元武。宋眞宗尙道教。避祖諱改元爲眞。元、龜也。武、蛇也。本北方元武七宿。虛危星形。乃以元武爲眞聖。而作龜蛇於下。靖康初加號曰佑聖助順眞武靈應眞君。及考圖誌。眞武爲靖樂國王太子。生而神靈。長而勇猛。志除邪魔。遇紫虛元君授以道祕。遇天神授以寶劍。入武當修煉。功成上昇。奉上帝命鎭北方。披髮跣足。建皁纛統元靈。此道家傅會。殊爲誕妄。再考國朝御製碑記。太祖起兵。神多陰佑。及定鼎金陵。建廟於鷄鳴山。太宗起兵。神有顯相。乃於京城艮隅并太和山重建宮廟。歲時春秋。及京師每月朔望。各遣官致祭。而太和則設提督內外官。憲宗在位。範金爲像。豈期陳善援引左道之人鄧常恩等。上以熒惑聖聽。糜費內帑。下以驛騷道路。擾害生民。又於京師重修靈明顯佑宮。日居其間。引進邪術。遂使清淨之地。爲姦盜之區。使元

武有神。豈其所樂聞哉。此不合祀典者也。所謂崇恩眞君隆恩眞君者。按道家之言曰。崇恩姓薩氏諱堅。西蜀人。在宋徽宗時。嘗從張繼先及王侍宸林靈素學法。累有靈驗。而隆恩則玉樞火府天將王靈官也。又從薩眞君傳授符法。永樂中。杭州道士周思得以靈官法顯京師。附體降神有應。乃於禁城西建天將廟及祖師殿。封薩爲崇恩王。爲隆恩建一殿祀之。尋分二殿。又改觀曰宮。名顯靈。四季更袍服。三年小焚化。十年大焚化。又復易以新製珠玉錦繡。所費不資。每歲萬壽正旦冬至及示現之辰。皆遣官致祭。今就其言議之。薩之法因王而行。王之法因周思得。而顯遡其源。又宋徽時林靈素輩之所傳會。況近附體降神。乃欽發充軍顧玨父子。每旱澇禱之。杳無驗。此不合祀典者也。所謂金闕上帝玉闕上帝。按一統志。閩縣舊有祠祀二眞人。眞人。五代時徐溫子。長知證封江王。次知諤封饒王。常提兵平福州。其地父老戴之。圖像以祀。及永樂時太宗病。藥弗瘳。或言神靈禱之輒瘥。於是新閩廟。命有司春秋致祭。又於京師立廟。加封金闕玉闕眞人。尋加封眞君。進上帝。每朔望萬壽聖節正旦冬至及誕辰。俱遣官祭。四季易袍服。加冕旒龍衮。夫維皇上帝。主宰於天。而兄弟並稱上帝。其僭何如。所謂神父聖帝、神母元君、金闕、玉闕元君。按碑紀乃神父母及其配。父初封眞人。母妻封仙妃。繼加聖帝。母妻皆元君。每節序亦遣官致祭。夫神父名溫。乃五代時誤國之臣。專權弑主。殊無功德。祀以報功。豈宜濫及。而母妻並受隆名。僭擬已甚。此不合祀典者也。所謂城隍之神。按易曰。王公設險以守其國。遡城郭溝池制自黃帝。保障宗社。捍衞君民。厥功甚鉅。故國朝之制。天下省府州縣皆有城隍之祭。都城隍廟。凡萬壽令節各遣官致祭。而以歲五月十一

日爲神之誕辰。夫廟祀城隍本非人。鬼安有誕辰。可謂謬妄。況南郊大祀壇。八月山川壇。俱有合祭之禮。既與天下府州縣之禮不同。而又復爲煩瀆。不亦謬乎。凡此之祀。俱應罷免。而相沿已永。終明之世。皆因而不革。

史官贊曰。書云。徧於百神。又曰。咸秩無文。明之祀典。可謂盡乎天人神鬼矣。獨於梵刹多所創建。髡徒滿天下。不以裁抑。無乃以太祖曾起皇覺。弗爲厚非之歟。

明書卷五十一

志五

綸渙志一

史官論曰夫王言惟作命。不言則臣下罔攸稟令。大哉王言。亶其然乎。唐虞咨命尚矣。粵自三盤籲感。殷道復興。八誥毖讎。洛圖和會。山東父老。聽代來之詔令。河西萬里。驚建武之璽書。故禮稱絲綍。易象渙汗。綍者。言其自微而之著也。汗者。言其出而不復反也。有能大如綍之言。絕反汗之令。賦政於外。多山甫將命之材。出納於內。有北斗喉舌之義。於以宣盛化。徠遠人。雖殷周所稱何加焉。夫同言而信。信在言前。同令而行。行在令外。管子云。下令於流水之源。泉流自中。令行自內。新莽之作大誥。至文也。而叛者滋起。奉天之降詔書。至卑也。而悍者投戈。詩曰。出話不然。爲猶不遠。辭之輯矣。民之協矣。是故仁君重所以協之者。明興。太祖脫汗馬而悅詩書。天姿英決。揚於王廷。軍書羽檄。皆親洒宸翰。口占立就。驚爲神明。列宗嗣徽。天章時煥。視草者家擅枚馬。宣命者人懷龍契。發號施令。罔有不臧。近古之風烈。迨其季世。詞或費矣。亦有行有不行焉。夫言出而千里應。一代治亂之樞機也。故特著於篇。作綸渙志。使後世之出身加民者。有所鑒焉。

太祖高皇帝

即皇帝位詔

詔曰。朕惟中國之君。自宋運既終。天命眞人於沙漠。入中國爲天下主。傳及子孫。百有餘年。今命運亦終。海內疆土。豪傑分爭。朕本淮甸庶民。上天眷顧。祖宗之靈。遂乘逐鹿之秋。致英賢於左右。凡兩淮兩浙江東江西湖湘漢沔閩廣山東及西南諸部蠻夷諸處寇攘。屢命大將軍與諸將校奮揚威武。皆已戡定。民安田里。今文武大臣。百司衆庶。合辭勸進。尊朕爲皇帝。以主黔黎。勉徇輿情。於吳元年正月初四日。告祭天地於鍾山之陽。卽皇帝位於南郊。定有天下之號曰大明。以吳元年爲洪武元年。是日恭詣太廟。追尊四代考妣爲皇帝皇后。立大社大稷於京師。以册寶立妃馬氏爲皇后。長子標爲皇太子。布告天下。咸使聞知。洪武元年正月日。

以金陵大梁爲南北京詔

詔曰。朕爲建邦畿。以成大業。興王之根本爲先。居中夏以治四方。立國之規模至重。自趙宋末世。夷狄入主中國。今百有餘載。其運乃終。羣雄分爭。未見有定於一者。民遭塗炭。亦已極矣。朕以布衣。當擾攘之際。拔身戎伍。率衆渡江。荷天地眷祐。祖宗積德。臣下宣忠。三軍用命。西平陳友諒。東滅張士誠。南靖閩廣。北有中原。武功大集。混一之勢已成。十六七年間。凡糧儲軍需。百物科徵。頻煩尤甚。民無休息者。皆江左一方受供給之繁。遂致天下收平甯之效。民初有助於朕。其可忘乎。頃幸大梁。詢及父老。皆曰昔聖人居中

國而治四夷。天下咸服。朕觀中原土壤。四方朝貢。道里適均。父老所言。乃合朕意。可不從乎。然立國之規模固大。而興王之根本不輕。其以金陵大梁爲南北京。朕於春秋往來巡狩駐守。播告天下。使知朕意。至於立宗社。建宮室。坐朝市。南京既創置矣。北京其令有司次第舉行。於戲。江左開基。立四海永清之本。中原圖治。廣一視同仁之心。故茲詔示。想宜知悉。洪武元年八月初一日。

大赦天下詔

詔曰。天生民而立之君。君者奉天而安養斯民者也。昔者元政陵夷。民失安養。羣雄蠭起。疆宇瓜分。朕以布衣入戍伍。憤生民塗炭。提孤軍與豪傑同志者思所以靖之。賴天之靈。因民之利。干戈所至。強頑弱服。大河之北。以際南海。罔不來臣。重念推戴以來。軍士勞苦。農民罷弊。未有以安之。賢人君子。逃匿巖穴。未有以來之。刑亂重典。未有以平之。供億煩重。未有以紓之。是用陰陽差謬。水旱不時。天災屢見。朕甚懼焉。爰布溥恩。與民更始。可大赦天下。於戲。民墜塗炭。十有七年。蕩析離居。光嶽之氣。於焉始復。繼自今各厚爾生。共享太平之福。以臻雍熙。不其偉歟。布告中外。咸使聞知。洪武元年八月十一日。

求賢詔

詔曰。朕惟天下之廣。固非一人所能治。必得天下之賢共成之。向以干戈擾攘。疆宇彼此。致賢養民之道。未之深講。雖賴一時輔佐。匡定大業。然而懷才抱德之士。尚多隱於巖穴。豈政令靡常而人無所守歟。刑辟煩重而士懷其居歟。抑朕寡昧事不師古而致然歟。不然。賢士大夫幼學壯行。思欲堯舜君民者。豈固

汨沒而已哉。今天下頗定。日與諸儒講明治道。啓沃朕心。豈敢不以古先哲王自期。巖穴之士。有能以賢輔我。以德濟民者。尙不吾棄。洪武元年九月十八日。

改燕城爲北平府詔

詔曰。一海宇以安人心。正國統而君天下。理勢所在。古今皆然。自羣雄乘亂以來。四方思治惟切。元綱已墮。疆土遂分。孰拯斯民。以定於一。顧予菲德。造此丕圖。荷上天眷祐。臣鄰翊贊。肇基江左。平定中原。睠惟幽薊。實彼本根。命將北伐。列郡皆順。已於洪武元年八月初二日。克取燕城。胡君遠遁。兵無犯於秋毫。民不移於市肆。捷音來奏。殊副朕懷。今改燕城爲北平府。命官屯守。海宇既同。國統斯正。方與生民共享安平之福。尙賴內外臣僚。夙夜公勤。以匡朕之不逮。於戲。上體天心。俾萬邦之咸乂。下從民欲。合四海以爲家。故茲詔示。想宜知悉。洪武元年十月初二日。

免北平燕南河東山西北京河南潼關唐鄧秦隴等處稅糧詔

詔曰。朕本淮右布衣。因天下亂。率衆渡江。保民圖治。今十有四年矣。荷天眷祐。西取陳友諒以安荆楚。東縛張士誠以平三吳。遂至八番。直抵交廣。以極於海。悉皆戡定。重念中國本我華夏之君所主。豈期胡人入據。已及百年。天厭昏淫。羣雄並起。以致兵戈紛爭。生民塗炭。是用命將北征。兵渡大河。齊魯之民。歡然來迎。饋糧給軍。不辭千里。朕思其民當元之末。疲於供給。今既效順。何忍復勞。朕爲天下之主。深用憫焉。已將山東行省洪武元年稅糧免徵。不期天旱。民尙未甦。其洪武二年夏秋二稅。再行蠲免。近者平燕都。

下晉冀。土地疆宇。盡爲國家所有。其民久被兵殘。困於徵斂。尤甚齊魯之民。其北平燕南河東山西新附地面。可將洪武二年稅糧。亦與蠲免一年。有司更加存撫。以副朕懷。河南諸郡歸附以來。久欲惠之。奈西北未平。則出師所經。擬資糧餉。是以未遑。今晉冀平大軍已久矣。其北京河南所轄滁徐宿等州已免稅糧外。西抵潼關。北界大河。南至唐鄧光息。洪武二年夏秋稅糧。盡行蠲免。以遂朕之初意。今大兵所克秦隴等處新附地面。雖嘗設官署理。重念其民久被兵殘。困於徵斂。洪武二年夏秋稅糧。一體蠲免。以遂朕恤民之意。故茲詔示。想宜知悉。洪武二年正月十七日。

免甯國府稅糧詔

詔曰。朕自淮右渡江。駐兵太平。開基建業。繼克鎮江。下宣城。賴天之靈。將士之力。西征北伐。罔不平定。朕念創業之初。軍國所給。皆取辦四郡。供億繁重。未嘗一日忘之。今天下之勢。十定其九。南北混一有期。朕欲四郡之民。次第甦息。故先太平。次及應天鎮江。俱已蠲免稅糧一年。其甯國府洪武二年夏秋二稅。亦與蠲免。有司其體朕意。益加存恤。故茲詔示。咸使聞知。洪武二年正月二十日。

免江左州郡稅糧詔

詔曰。朕自淮右率衆渡江。首定太平。以居建業。肇興丕基。其太平鎮江宣城廣德。爲京師之翼郡。至如興師旅定羣雄。六合一家。軍需錢糧。供億浩繁。止此數郡。以足我用。子孫萬世。何忘江左之民。朕心拳拳。舊歲已免稅糧。忽遇天旱。竟無可收。縱使不免。亦無可徵。雖惠不及。於心有歉。其洪武二年夏稅秋糧。甯國

府已行詔免應天太平鎮江再免一年其廣德幷滁和無爲州今歲稅糧亦與蠲免以稱朕意焉故茲詔示想宜知悉洪武二年正月初九日

免凋弊地方稅糧詔

詔曰朕聞自古帝王之興必有賴於武功武功者必有資於民力矜恤之道理所當先朕自卽位以來於今三年深欲與民同樂於天地間奈緣守帥新戍於邊陲大將帥師於吐蕃轉輸之勞猶未能已然各處郡邑供給有先後豐歉有不同雖嘗免其稅糧猶慮凋弊之餘未能蘇息其應天鎮江太平寧國廣德滁州和州當創業之初錢糧供給實爲浩繁止此數郡以充國用遂致平定四方念其勤勞何時忘之深宜優恤應天太平鎮江已常免其稅糧二年寧國廣德滁和已免一年今此七處洪武三年夏稅秋糧再行蠲免其徽州嚴州金華衢州處州廣信池州饒州廬州皆以次歸附供給亦爲繁勞今此九處洪武三年夏稅秋糧亦以蠲免其河南北平近入版圖重念其民久罹兵革疲困爲甚山東與河南地方相接其民宜加培養庶使河南之民得以相資爲生山東已嘗與免稅糧二年河南北平已免一年今此三處洪武三年夏稅秋糧再行蠲免朕以布衣起事固知黎庶之艱難稅糧從寬必先郡邑之凋弊所在有司其尙謹於奉承以體朕恤民之意故茲詔示想宜知悉洪武三年三月初一日

分封諸子爲王詔

詔曰朕荷天地百神之祐祖宗之靈當羣雄鼎沸之秋奮興淮右賴將帥宣力創業江左曩者命大將軍

徐達總率諸將。以定中原。不二年間。海宇肅清。胡遁沙漠。大統既正。黎庶靖安。欲先論武功。以行爵賞。緣吐蕃之境。未入版圖。今年春復命徐達等再征之。是以報功之事。未及舉行。朕聞古昔帝王之子。居嫡長者必正儲位。其衆子當封以王爵。分茅胙土。以名其國。朕今有子十人。卽位之初。已立長子標爲皇太子。諸子之封。本待報賞功臣之後。然尊卑之分。所宜早定。乃以四月初七日。封第二子樉爲秦王。第三子棡爲晉王。第四子棣爲燕王。第五子橚爲吳王。第六子楨爲楚王。第七子榑爲齊王。第八子梓爲潭王。第九子杞爲趙王。第十子檀爲魯王。姪孫守謙爲靖江王。皆授以册寶。設置相傅官屬及諸禮儀。已有定制。於戲。奉天法古。實爲生民。明此倫彝。非文武賢能三軍用命江左民人之助。何以致此。尙賴各盡心力。以成治功。故茲詔示。咸使聞知。洪武三年四月初七日。

設科取士詔

詔曰。朕聞成周之制。取材於貢士。故賢者在職。而其民有士君子之行。是以風俗淳美。國易爲治。而教化彰顯也。漢唐及宋。科舉取士。各有定例。然但求詞章之學。而未求六藝之全。至於前元。依古設科。待士甚優。而權豪勢要之官。每納奔競之人。辛勤歲月。輒竊仕祿。所得資品。或居舉人之上。其懷才抱道之賢。恥於並進。甘隱山林而不起。風俗之弊。一至於此。今朕統一中國。外撫四夷。方與斯民。共享昇平之治。所慮官非其人。有傷吾民。願得賢能君子而用之。自洪武三年八月爲始。特設科舉。以起懷材抱道之士。務在經明行修。博古通今。文質得中。名實相稱。其中選者。朕將親策於庭。觀其學識。品其高下。而任之以官。果

有材學出衆者。待以顯擢。使中外文臣皆由科舉而選。非科舉者毋得與官。敢有游食奔競之徒。坐以重罰。以稱朕責實求賢之意。於戲。設科取士。期必得於全材。任官惟賢。庶可成於治道。咨爾有衆。體予至懷。故茲詔示。咸使聞知。洪武三年五月十一日。

正定神號詔

詔曰。自有元失馭。羣雄鼎沸。土宇分裂。聲教不同。朕奮起布衣。以安民爲念。訓將練兵。平定華夷。大統既正。永惟爲治之道。必本於禮。考諸祀典。知五嶽五鎮四海四瀆之封。起自唐世。崇名美號。歷代有加。在朕思之。則有不然。夫嶽鎮海瀆。皆高山廣水。自天地開闢以至於今。英靈之氣。萃而爲神。必皆受命於上帝。幽微莫測。豈國家封號之所可加。瀆禮不經。莫此爲甚。至如忠臣烈士。雖可加以封號。亦惟當時爲宜。夫禮所以明神人。正名分。不可以僭差。今命依古定制。凡嶽鎮海瀆。並去其前代所封名號。止以山水本名稱其神。郡縣城隍神號。一體改正。歷代忠臣烈士。亦以當時初封以爲實號。後世溢美之稱。皆以革去。其孔子善明先王之要道。爲天下師。以濟後世。非有功於一方一時者可比。所有封爵。宜仍其舊。庶幾神人之際。名正言順。於理爲當。用稱朕以禮祀神之意。於戲。明則有禮樂。幽則有鬼神。其理既同。其分當正。故茲詔示。咸使聞知。洪武三年六月初三日。

封元後詔

詔曰。朕本農家。樂生有元之世。何庚申之君。荒淫昏弱。紀綱大壞。由是豪傑並起。海內瓜分。雖元兵轉戰

華夏。終不能致。此天意也。然倡亂之徒。首禍天下。謀奪土疆。欲爲王霸。觀其所行。未合於理。故皆滅亡。亦天意也。是時朕年二十有四。擾攘之秋。盤桓避難。終不能居。乃託身行伍。驅馳三年。覩羣雄無成。徒擾生民。朕乃率兵渡江。訓將練兵。奉天征討。於今十有六年。削平強暴。混一天下。大統既正。民庶皆安。今年六月初十日。左副將軍李文忠副將軍趙庸等。遣使來奏。五月十六日率兵至沙漠。於應昌府獲元君之孫買的里八剌、及其后妃、并寶册等。知庚申之君。已於四月二十八日因痢疾歿於應昌。大軍所在俘獲無遺。中書上言。宜將其孫及后妃并寶册獻俘於太廟。朕心思之。深有不忍。其君之亡。係乎天運。所遺幼孫。若行獻俘。加殃其身。朕所不爲也。況朕本元民。天下之亂。實非朕始。今定四海。休息吾民於田里。非朕所能。亦天運所致然也。尙慮臣民。未知朕意。是用播告天下。於戲。君舟民水。載覆不常。可不畏哉。然禮德尙賢。使民懷仁。天下甯有不治安者乎。故茲詔示。咸使聞知。洪武三年六月十五日。

定功臣將士爵賞詔

詔曰。朕本農夫。託身緇流。因有元失馭。海宇瓜分。遇時多艱。入於軍伍。覩羣雄之無律。遂率衆以渡江。撫太平。定建業。選將練兵。東征西討。幾二十年。荷上穹垂祐。祖宗積德。山川百神之助。大將軍等。運謀竭忠。六軍用命。遂致強殞弱服。疆宇奠安。諸番入貢。華夷一統。朕自愧德薄。上無以答天心。下無以答神貺。恐貽祖宗之累。其何以謝諸將六軍委身暴露之艱苦。今者班師振旅。定功封爵。欲加以重賞。則天下鎭守之兵。及京師護衞之士。內外百萬。而民之資力有限。薄取輕收。非古人中正之道。厚斂則有損於民。故遵

前代之法。取之以中。用倉庫錢糧。均其等第。以謝軍士。崇爵祿。頒金帛。以勞功臣。朕本疎愚。務從古制。今定勳爵高下。俾其子孫世襲。言通天地。詔布中外。民庶咸知。洪武三年十一月十二日。

免兩浙秋糧詔

詔曰。朕本農夫。深知稼穡艱難。及至躬率六師。征討四方。尤知將士勞苦。重荷上天眷祐。平羣雄。一天下。東際遼海。南定諸番。西控戎夷。北靖沙漠。皆以精銳。屯此邊要。用安黎庶。未免科徵轉運。供給繁重。事豈得已。惟爾兩浙之民。歸附之後。民力未蘇。兼以貪官汚吏。害民肥己。四載於茲。朕甚憫焉。今既掃除姦蠹。更用良善。革舊弊而新治道。以厚吾民。其洪武四年合納秋糧及沒官田租。盡行蠲免。於戲。食惟民之天。民乃邦之本。一視同仁。皆吾赤子。然恩之所及。時有後先。咨爾民人。各安生業。共享昇平。故茲詔諭。想宜知悉。洪武四年五月□□日。

免江西秋糧詔

詔曰。朕本農夫。深知民間疾苦。及至親率六師。南征北伐。備知將士之勞。方今天下一統。東戍遼海。南鎮諸番。西播數種戎夷。北屯沙漠。朕以中國精銳。駐守遐荒。豈但風俗之殊。亦有寒暑之異。艱難萬狀。朕不忍言。然欲鎮安吾民。必資守邊之力。其於科徵轉運。未免勞民。理勢相須。蓋不得已也。念爾江西之民。未歸附時。土豪割據地方。狼驅蠶食。貲財一空。歸附之後。供給繁重。已經九年。其爲困苦。朕甚憫焉。今年秋糧。盡行優免。於戲。四海蒼生。皆吾赤子。愛念之意。旦暮不忘。緣事有緩急。故恩有先後。茲爾人民。體朕至

懷。故茲詔示。想宜知悉。洪武四年五月初四日。

免應天太平鎮江甯國廣德秋糧詔

詔曰。嘗聞國以民爲本。民以食爲天。此有國家者。所以厚民生而重民命也。朕乘羣雄鼎沸之時。率衆渡江。兵定建業。十有八年。其間高城壘。深濠塹。軍需造作。凡百供給。皆爾近京五府之民。率先效力。濟我時艱。民力繁甚。朕心不忘。天下一統。今五年矣。雖嘗蠲免四歲稅糧。然猶未足以報前勞。是用申敕有司。其應天太平鎮江甯國廣德五府。洪武五年合納秋糧。除頑慢刁狡不行蓋倉完備、及多科害民糧長本戶秋糧不免外。其所管人民秋糧。盡行蠲免。有司不許徵收。於戲。朕欲使爾民優游快樂於田里。此朕之心也。然以國家之大。供給之繁。有必需必而與者。其勢似不容已。爾其服勤畎畝。以稱朕意。故茲詔示。想宜知悉。洪武五年十月□□日。

正禮儀風俗詔

詔曰。朕聞三皇立極。導民以時。庖廚稼穡。衣服始制。居民舍焉。五帝之教以仁義。不過遵三皇之良規。益未備之時宜。當時之君。示其所以。天下從之。民用和睦。自周至於漢唐宋。增減損益。用乃有國昌。民受時宜。家和永康。朕蒙皇天后土之恩。命統天下。祖宗之靈。百神護祐。得正帝位。紀元五年。朕本草茅之士。失習聖書。況摧強撫順。二十有一年。常無甯居。一槩粗疎。故道理未臻。民不見化。市井鄉閭。尚然元俗。天下大定。禮儀風俗。可不正乎。茲有所示。諭爾臣民。詔書之後。敢有不遵者。治以如律。於戲。風俗頹靡。胡禮拘

焉。再整彝倫。務遵先王之法。恤念孤寡。實爲善政之先。顧以德薄。恩澤未孚。倉廩未盈。六軍四戍。尙慮未悅下民之心。恐貽上天之怒。夙夜祗懼。若履淵冰。咨示臣庶。體予至懷。期臻禮義之風。永底承平之治。故茲詔示。想宜知悉。洪武五年五月□□日。

諭雲南詔

詔曰。朕聞順天者昌。逆天者亡。古今定論。禍福嘗理也。朕起自草萊。削平羣雄。戡定禍亂。今已七年。中夏既安。四夷多附。絕無強凌弱。衆暴寡。所以臣順於我者。得遂其生。共享和平之福。惟爾雲南王某。乃元君遣派。受封西南。孤處遐荒。猶未臣服。以若所爲。非貽禍於大理之民。必自致喪身滅姓於大理之手。二禍之機。必有其一。不可逃者。何也。蓋雲南土地人民。本大理所有。自漢通中國。稱臣朝貢。至唐宋皆受王封。其來久矣。昔因爾元滅其王而統其地。及今百年。無有復其故物者。邇來元祚傾覆已盡。爾尙力據其地。不還大理自王。果欺人乎。欺天乎。人雖可欺。天不可欺。禍患之報。將不旋踵至矣。今特遣爾親族威順王親往開諭。如果上順天理。下契人心。卽奉貢來庭。不然。朕當別遣使者。直抵大理。仍賜唐宋所封舊號。令彼爲王。合兵加討。悔將何及。於戲。胡虜無百年運。今已足信。人心轉移之機。在人自審而已。時不可失。爾其思之。故茲詔示。想宜知悉。洪武七年二月初五日。

存恤兵難官軍人等詔

詔曰。曩因天下大亂。死者不可勝數。生者備歷艱辛。已有年矣。朕起布衣。削羣雄。定禍亂。改元洪武。今已

七年。但才疎德薄。旦夕慮上帝有責。思之再三。惟兵後苦殃者。朕失撫養存問。軍士爲朕開拓疆宇。奮不顧身。沒於戰場。屍不至家。魂無所依。父母年高。妻寡子幼。一旦拋棄。至今不能存活。此朕之過也。民間經兵避難。父南子北。至今不能聚會奉養者有之。或亡沒親老而失養。親沒子幼而無依。亦朕之過也。興言至此。實可憫傷。今詔天下有司各具名以言。朕當存養。使不失所。於戲。君天下者所以爲民也。但君思治而民乖。民欲樂而君昏。臣希賢而不法。君或懦而臣剛。此古今所難也。所思奉行者勿以仁爲弊。以干刑憲。故茲詔示。想宜知悉。洪武七年八月十二日。

慎恤刑詔

詔曰。釋罪宥愆。昔君未嘗輕發。發則精詳至甚。豈有罪重而脫僥倖以自懽。致寃深而含忍無訴者。故有眚災肆赦。怙終賊刑。載之於書。至今明焉。漢唐及元。懦君承祖業。權由姦佞所持。因有大赦之說。雖脫君子之微差。善良之誤失。則姦頑得爲漏網之魚。鬱含寃於滿地。朕德薄才疏。失效聖人之道。相繼行之。是故五星紊度。黎庶匪甯。若悖禮乖仁。非朕者誰。今不敢不察。若槩脫兇頑於僥倖。致良善以無伸。豈聖人恤刑者歟。特命中書條陳。若果眞犯。雖笞罪以上。俱各不原。其餘詿誤因人致罪過失者。盡在赦下。於戲。肆赦於眚災。爲良善者圖。賊刑於怙終。實王綱而治惡。凡吾臣庶。律己修仁。勿干刑憲。故茲詔示。想宜知悉。洪武七年十一月□□日。

農桑學校詔

詔曰。農桑衣食之本。學校道理之原。朕嘗設置有司。頒降條章。使敦篤教化。務欲使民豐衣足食。理道暢焉。何有司不遵朕命。往往給由赴京者。皆無桑株數目。學校緣由。甚與朕意相違。特敕中書令有司今後敢有無農桑學校者。論擬違制杖降罰。歷三年後注以吏事出身。民有不奉天時而負地利者。如律究焉。於戲。彝倫不整。實君師之過。坐享民供。亦已職分之當爲。斯言既出。臣民聽行。永懷多福。故茲詔諭。想宜知悉。洪武□年□月□□日。

免山西陝右稅糧詔

詔曰。山西陝西。地居西北。河山壯麗。昔我中國歷代聖君。皆都此而號召萬邦。曩因元主華夏。民無的主。已經百年矣。朕自丁未年復我中土。繼我聖人之位。建都炎方。於今九年矣。其間西征燉煌。北討沙漠。軍需甲仗。民人備之。外有轉運艱辛。內有秦晉二府宮殿之役。愈繁益甚。自平定以來。民勞未息。今者方甯。正當與民同享太平之福。於今年三月二十五日。敕中書度倉庫。軍有餘糧。今將山西陝右二省民間夏秋租稅盡行蠲免。以醒吾民。於戲。民醒君艱。則天下大治。五常如令。則風雨乃時。惟爾臣庶。想宜知悉。洪武九年三月□□日。

免河南北平揚州等處省郡稅糧詔

詔曰。前者兵征四方。軍需甲仗。吾民備之。卽今天下平定。正當使民樂其樂而生其生。實朕之本意也。奈何工匠之徒。覺鎮宮殿。致使土木之功復興。愈勞繁重。內郡多被艱辛。其餘外郡轉運尤難。朕於今年三

月二十五日敕中書下戶部。使之度出幾何。量入幾何。對云。官軍足食。可二三年。於是詔令河南北平等省直隸揚州等府。悉將本年民間夏稅秋糧盡行蠲免。於戲。從吾化者撫之。外吾化者省之。惟爾臣民。日省月親。共享無窮之福。故茲詔示。想宜知悉。洪武九年三月□□日。

諭福建布政使司參政魏鑑瞿莊詔

詔曰。今年仲夏敕卿南行。又抵中秋。而彼中政令得失。杳無知者。鄉郡之籍。民也如民焉。殊於民者何。至於學焉。而閭里曰儒。如儒焉。已而超於儒者云何。乃至於尙志焉。故官於朝。然不及考而遷調之。於功未見惟志。於業未見惟勤。卽今職於炎方。其所轄者甚衆。且八閩之地。利盡南海。勢控諸番。古今居是者。君子焉。小人焉。弊瞞焉。人情焉。珠玉焉。翡翠焉。金銀焉。束帛焉。子女焉。賢人焉。非人焉。忠君焉。愛民焉。修身焉。篤孝焉。高名不朽焉。沒世絕嗣焉。其言殊焉而又同焉。卿其審擇焉。力行焉。功名遂而身家全矣。洪武九年□月□□日。

又詔

詔曰。朕觀上古天下之治亂。在於君臣能馭不能馭耳。若君能馭臣下以禮法。臣能馭吏卒以體上。故治由此矣。若君罔知所以馭臣下。臣亦無知以繩吏卒。故亂由此而始矣。或云吏卒小人。其於治亂何干。然雖小人。凡施小詐。動傷國政。所以爲亂始。若吏卒守分。民無枉擾。則民安矣。所以朕嘗下令入於條章者。正欲使上官馭吏卒動以禮。次嚴之以法。若吏卒之徒背禮而違法者。繩以死地。無論此令已入條章久

矣。人皆貪官。動以下人所持。縱有吏卒縱橫。安敢誰何。所以國政無施。天下之民受枉。法愈弛而亂愈生。由此也。朕嘗切恨。若爲官布政權。無馭吏卒之威。則諸事不成。蓋吏卒能爲股肱爪牙。若馭以得法。諸事辦集。方今有職者。孰能爲此。忽九年秋。丞相奏福建兩參政致極刑於一老吏。朕聞當哉。若不如律者。數如棰死。有何地論。故往諭之。今後凡有不如律者如是。近行者尤加急治。勿令欺侮。方稱是官。洪武九年□月□□日。

天變許令臣民言過詔

詔曰。朕本寒微。因元多事。試與羣雄並驅。十有七年。艱難萬狀。方得偃兵息民。稱尊海外。紀年洪武。今已九春秋矣。邇者欽天監奏五星紊度。日月相刑。於是靜居自省。考古今乾道變化。殃禍在乎人君。尋思至此。惶惶無所措手足。惟詔臣民。許言朕過。於戲。於斯之道。惟忠者仁人之心能鑒朕之不德。假公營私。又非賢人君子。故茲詔示。想宜知悉。洪武九年閏九月□□日。

諭靖江王府文武官詔

詔曰。洪武九年十二月二十日。典寶副林清齋到從孫守謙表。知已達長沙矣。朕歷覽表之副本。文辭妥帖。誦之。忽思從孫之遠行。不覺淚下而又沾襟。今進表使歸。朕特諭爾王府文武衆官。卽今守謙未壯。志若孩童。既出鎮於西南。必文武之臣。爲守謙之已能。若倚之而不謀。縱之而不導。又非賢人君子。然孫幼而戇。凡導以仁王之理。少有不從。從容必以歲月而成其德。守謙本幼。朕輒敢令行焉。爲何。蓋謂所保者

文武是也。諭至。爾諸人恪恭朕意。日夕毋怠。

諭元臣納哈樞詔

詔曰。人生天地間。機變造化得宜。時勢不失者。乃爲傑丈夫。古人有云。活千人者。其後必封。爾爲元臣。忠則忠矣。何若爲人事而失德。有若是耶。昔者爾被獲於江東。朕特生全爾歸。此朕順人心之所好。所以好者。人人凡有患難。誰不欲脫患難而身安者乎。當時在俘囚之中。果願死乎生乎。若以爾已心度之。凡兩軍之間。有力不及爾者。被爾拘囚。而乃盡殺之甚不少。當是時。若以已受患難之心推及俘囚者。爾必大昌。福及後嗣。必有日矣。如去年冬。爾將兵寇我遼界。彼回軍之日。凡棄下者皆生全於我處。朕未嘗輕殺一人。曩者黃紬萬戶奉朕命令而往爾處。非已願行。實差不由已也。本人於爾頗有恩惠。何期爾不思好生惡死之情。一旦殺之。其爾之患難。爲黃紬所生。其黃紬之命。爾獨故意殺之。天心神鑒。禍將歸焉。今爾與朕守邊將士旌旗相望。略較勝負。則彼勝我負。已兩經矣。爲爾所害者。將及八千人。皆無生全。誠可惜哉。然已往之事不咎。未來者可不思乎。自今以後。若能與我通一介之使。則前日之讎。必成冰解火焚矣。諭至之後。不然朕言。彼必就縛。生見朕面。恐無言可對。爾思之。洪武十年□月□□日。

諭元丞相哈剌章蠻子驢兒納哈樞等詔

詔曰。自有元多事。羣臣有棄君親而自生者。有抗朝命而自爲者。目擊耳聞。實非一人。獨卿等奮忠仗義。衛君深塞。歲月如流。倏經十有一年。邇聞所衛之君。因疾已崩。在卿等可謂有始有終。良臣之名播矣。然

昔爲人臣。今則盡矣。或聞次立新君。其親王者有三。卿等正在猶豫之間。朕觀三者誠可再思。凡此三人。皆元親孫嫡派。不過遙分叔伯而已。卿等若欲堅忠貞之意。毋顚尊而扶卑。理應自長而至幼。無乃人倫正而天道順也歟。若乃賢愚之別。理難備拘。從賢則吉。彼至尊既崩。卿等能推派以立之。不絕有元之祀。當此流離之際。爲臣者尙能竭力爲之。美聲盈人耳目。豈不艱哉。若或不然。或尊或卑。但以立君爲名。內有自專生殺之威。則非人臣之道。恐累嘉名。況日生頡頏。彼此疑猜。當此之際。富貴若風中之燭。命如草杪之霜。甚不難矣。故茲詔諭。想知悉。洪武□年□月□□日。

諭元臣相驢兒詔

詔曰。天地惡盈而好謙。其德好生而惡死。此非時人新造之言。乃亙古至今明驗也。朕云如是。蓋謂卿等當元天更運命之時。卿帥騎步堅忠貞之節。捍禦邊陲。已十一年矣。每嘗遣人通問。未得回報。今再差人詣所在。以禦寒之衣作微禮。卿能受賜。不傷人命。以修後嗣之德。豈不智人也哉。朕言至此。惟卿以智量之。勿爲愚者所迷。書云。作善降之百祥。作不善降之百殃。惟順理則吉。故茲詔示。想宜知悉。洪武□年□月□□日。

免江左姑熟等六州四縣秋糧詔

詔曰。賞功討罪。在昔帝王。必斯二事爲先。曩因率兵東渡江。來姑熟、金陵、京口、宣城、廣德、徽州、長興、吉安、宜興、江陰。相次不逾三年。盡入版圖。當時天下豪傑。互相雄長。殊聲異教。若欲平之。非甲仗之餘。供給之

盛。豈能平禍亂。一寰宇。而爲人主者耶。今禍亂以平。朕居大位十有一年。嘗思六州四縣之民。久勞於前。雖我子孫。累世不忘。特以今年秋糧盡行蠲免。於戲。興王定亂。肇福天下。惟斯民之勞先。故茲詔示。想宜知悉。洪武十二年九月□□日。

免北平夏稅秋糧詔

詔曰。古今民之休息長養。惟君主之。其於水旱災傷。在有司飛報以聞。君親調之。邇者廣平馳驛來奏。所屬郡邑。天久不雨。朕思爲民立燕藩屏中國。保障吾民。命工肇造宮殿。軍民共成。何期有司差役不均。有傷和氣。致令民艱種樹。除將布政使薛祥等見行問。其北平所屬地方洪武十二年夏稅秋糧。盡行蠲免。洪武十二年□月□□日。

更定五府六部詔

詔曰。朕膺天命。君主華夷。當即位之初。會集羣臣。立綱陳紀。法體漢唐。略加增減。亦參以宋朝之典。所以內置中書、都府、御史臺、六部。外列都指揮使司、承宣布政使司、指揮使司、都轉運鹽使司、提刑按察司、及府州縣。綱紀庶務。當不期任非其人。致有丞相汪廣洋。御史大夫陳甯。晝夜淫昏。酣歌肆樂。各不率職。坐視廢興。以致丞相胡惟庸結搆羣小。寅緣爲姦。或枉法以惠罪。或執法以誣賢。因事發覺。人各伏誅。特詔天下。罷中書。廢都府。使知更官定制。行移各有所歸。庶不紊煩。於戲。周職六卿。康兆民於宇內。漢命蕭何。肇四百年之洪業。今命五府六部詳審其事。務備厥職。故茲詔示。咸使聞知。洪武十三年□月□□日。

雷震謹身殿赦天下詔

詔曰。朕以菲德。託於萬姓之上。奉天勤民。於茲十有三年矣。不期宰輔失寄。肆姦擅權。使賢愚陷於不義。朕思創業之艱難。念生民之不易。首誅姦惡。鋤根翦蔓。爰及餘黨。然錄刑之際。不無過焉。甚非上帝好生之德。乃洪武十三年五月初四日申時。雷震謹身殿。朕甚懼焉。於是赦天下罪者。於戲。上帝好生。雖遙穹而聽邇。朕時愚昧。得罪於人神。從今修省。布告臣民。故茲詔示。想宜知悉。洪武十三年五月初五日。

御正殿制

制曰。朕聞堯舜之君。德備天地。禹湯之治。大洽民心。朕本才疎德薄。惟乏圖治。弗克行仁。乖上帝后土之好生。負海嶽之呵護。累祖宗於地下。致五雷奉命著跡於殿廷。雖不遑甯處於斯時。甚畏無知於悠久。昨卿等請御大朝。故不違羣情。朝臣民於正殿。賴爾臣僚。毋隱匡輔。洪武十三年六月□□日。

大免天下秋糧詔

詔曰。朕荷上天眷祐。山川效靈。祖宗積德。君主華夷。十有三年矣。倉廩益。府庫充。皆吾民之所供。今民力未甦。詔告有司。洪武十三年天下秋糧。盡行蠲免。其放回事故官員。自思情無實犯。則親自來朝。仍授以職。於戲。欲消愆而弭禍。非致吾民於仁壽之鄉。將何以答天心之永顧。故茲詔示。想宜知悉。洪武十三年六月二十五日。

諭諸司修職詔

詔曰。朕荷天地之祐。祖宗之德。君主華夷。十有三年矣。其立綱陳紀。所以安民也。曩因姦臣弄權。恣行不法。內外百職。咸罔克忠。弗修誠敬。以及神人。惟貪賊蠹政。遂致典刑。邇來有司。皆出編氓。深知稼穡艱難。民生疾苦。是用授以職任。相與圖治。當竭誠以報效。無蹈愚姦。其舊任未代者。若仍復前非。慢神虐民。務在貪財。肆意妄行。則國有常憲。於戲。政在養民。實先聖之令典。竭忠司事。尤人臣之當爲。故茲詔諭。咸使聞知。洪武十三年九月初七日。

免江左五郡秋糧詔

詔曰。朕荷天地祖宗護祐。山川百神效靈。在位十有四年。思昔創業之初。軍需甲仗。惟江左五郡之民。其勞甚矣。特以洪武十四年秋糧。太平應天鎮江廣德甯國五郡。除官田減半徵收。其民田盡行蠲免。於戲。立法以繩頑。施恩以撫善。斯倣先王之道。非朕所能。故茲詔諭。咸使聞知。洪武十四年十月□□日。

平雲南詔

詔曰。朕荷上天眷祐。海嶽效靈。祖宗積德。自卽位以來。十有五載。寰宇全歸於版圖。惟西南諸夷。爲雲南梁王所惑。恃其險遠。弗遵聲教。特命征南將軍潁川侯傅友德。副將軍永昌侯藍玉。西平侯沐英。率甲士三十萬衆。馬步並進。罪彼不庭。大軍旣臨。渠魁盡獲。雲南已平。詔示天下。臣民共知。於戲。福民永已。聖賢之爲。逆天違命。根禍殃民。身家被罪。惟西南諸夷。應之。故茲詔諭。想宜知悉。洪武十五年□月□□日。

諭雲南詔

詔曰。曩因元政不綱。豪傑縱橫。朕提師旅。與之並驅十有二年。然後命征虜大將軍平華夏。諸將四征五年。中原是平。萬姓甯家。紀年已十五年矣。惟爾烏撒烏蒙東川芒部建昌等處。抗命弗庭。況雲南梁王誘我邊士。因是發征南將軍潁川侯傅友德。副將軍永昌侯藍玉。西平侯沐英。率三十萬衆。問爾西南諸夷之罪。十五年正月初一日。將軍潁川侯等報至。言雲南等處盡行剋復。今特遣使齎詔諭爾雲南烏撒烏蒙東川芒部大理建昌水西普定等處人民。今後敢有不遵教化者。加兵討平之。於戲。春秋之義。罪重者釋。有罪而納逋逃。爾雲南王及諸夷酋長宜甘然乎。故茲詔諭。洪武十五年□月□□日。

諭雲南諸夷詔

詔曰。自有元失馭。羣雄並起。聲教異爲。烝黎各擅。是故廢興疊疊。民不聊生。朕秣馬厲兵。於江左控弦三十萬。以觀諸雄。久之羣雄弗成。乃命征虜大將軍平元都。肅靖華夏。奠安黎庶。邇年以來。士不彎弧。馬牧平野。農耕有餘。人皆樂福。惟爾西南諸夷。密邇聲教。恃險弗庭。納逋逃。匿有罪。坐受四川之任。肆侮中華。凡我朝臣。孰不奮恨。是以特興問罪之師。今雲南既平。諸夷復從。故詔諭以更生之恩。於戲。知天命者福。臻昧天理者禍至。信如四時。速如影響。播告諸夷。想宜知悉。洪武□年□月□□日。

免直隸江浙河南山東稅糧詔

詔曰。嗚呼。惟皇上帝。眷我生民。自統一以來。雖暫有雨暘愆期。終未凶荒。雖朕豈不知江左之民減衣薄食。助我興王。供給浩繁。安無貧窘。特以洪武十五年夏稅秋糧。除官田減半入官。不爲常例。民田稅糧。盡

行蠲免。其浙江江西雖次第歸附。爲首定中原人民。爲我供給。越大江。入河淮。抵北平而漕河南。其勞甚矣。近年以來。江東浙江江西及直隸府州官吏糧長。不行優恤小民。已行問罪。亦以今年夏稅秋糧除官田減半入官。不爲常例。民田稅糧。盡行蠲免。所有山東河南民人淳實。無巧以取愚。無強以凌弱。篤力於田畝。且山東之民。東供遼左。北給北平。惟山東民資皆至焉。北供山西。西入關中。河南民資。歲常助關內之民以供官。斯二布政司糧。今年秋夏亦行盡免。於戲。爲民上而不爲民便。豈有不罰者乎。自今以後。任事官民。毋蹈前非。虐我良民。故茲詔諭。咸使聞知。洪武十五年四月□□日。

大赦天下有罪詔

詔曰。朕率諸英俊。平羣雄。安宇內。卽位以來。十有七年。其間罪頑民。清吏弊。刑賞皆施。未曾大赦。自洪武十七年三月二十七日昧爽以前。大赦天下。除謀反大逆、謀殺祖父母、父母妻妾殺夫、奴婢殺主、謀故殺人、蠱毒魘魅、毒藥殺人、不赦外。其餘已發覺未發覺。已結正未結正。罪無輕重。咸赦除之。敢有以赦前事相告言者。以其罪罪之。於戲。赦過宥罪。既大布以殊恩。遷善保安。尙同躋於至治。故茲詔示。想宜知悉。

禁諸司姦貪擾民詔

詔曰。天道以有餘而補不足。人不奉天。故以不足奉有餘。嗚呼。罪益自己。惡怒人神。天譴既臨。尙惡不已。復造多非。蠹政害民。如戶部侍郎郭桓、胡益、王道亨、闔部等。刑部尙書王惠迪、侍郎葛修、闔部等。兵部侍郎王志、闔部等。工部侍郎嚴志德、闔部等。禮部尙書趙瑁、闔部等。貪贓亂政。罪已分明。及其問贓。下落尙

惡不已爲此也其殺身之計不將實計所在供招太平妄指平民爲實以致一時不能格彼姦心良善受害嗚呼朕爲民設官爲民造福既不勝任而且罪盈法古天討以除民害因此愈加害民必欲除姦復生姦其擾害吾民實朕不才之所致今詔天下凡我良民憐朕不敏以居君位嗚呼書不云乎天位艱哉寢食不安以圖民康仰天俯察求治姦貪愈增如此人心爲之奈何然自詔之後凡擾吾民者大赦不赦洪武十八年六月二十七日

免災傷地方秋糧詔

詔曰嗚呼天位艱哉然如是朕自即位以來十有八年不遑暇食以措民生奈何內外之臣數用弗當罪實在予一人以致上天垂戒災於萬姓所以水旱相仍今聞山東北平雨水愆期農艱栽植歲苗有虧詔書到日今歲秋糧盡行蠲免有司如命毋擾吾民於戲上帝好生使宰民者爲民造福朕統天下代天理物設諸有司分掌牧民自詔之後體朕至意樂吾民生故茲詔示想宜知悉洪武十八年七月□□日

禮齒德恤孤獨詔

詔曰昔元末播蕩海內受兵所在黔黎苦殃甚矣如此一紀有奇朕命前征虜大將軍中山武寧王開平忠武王及令公侯羣將等發兵諸道所向兵偃民得粗安下詔天下曰大明今十有九年然姦臣在位諜間臣民恩本施而弗及德將布而阻行政乖理悖莫甚於此先王之道全未倣行失存問於高年欠撫恤於鰥寡孤獨舊歲大誥行民從朕命至姦擾吾民者循治斂跡欽差監生職任諸司想吾民樂生有其漸

矣。特命有司存問於高年。恤鰥寡孤獨者必得其所。篤廢殘疾者收入孤老處。給所用。使得終天年。於戲。禮壽尊賢。報功酬勞。恤孤賑寡。古先哲王之大典。令出恩霑。必有司如命。故茲詔諭。想宜知悉。洪武十九年六月二十日。

有司責任條例敕

敕諭有司衙門。方今所用布政司府州縣按察司官。多係民間起取秀才人材孝廉。各人授職到任之後。略不以到任須知爲重。公事不謀。體統不行。終日聽信小人浸潤。謀取贓私。酷害下民。以此仁義之心淪沒。殺身之計日生。一旦繫獄臨刑。神魂倉皇。至於哀告懇切。奈何虐民在先。當此之際。雖欲自新。不可得矣。如此者往往相繼而犯。上累朝廷。下辱鄉閭。悲哀父母妻子。孰曾有鑒其非而改過也哉。

册立皇太孫詔

詔曰。曩古列聖相繼馭宇者。首立儲君。朕自甲辰卽王位。戊申卽帝位。於今二十九年矣。操將練兵。平天下亂。偃天下民。奠萬民於田里。用心多矣。及一統以來。除姦暴。去豪強。亦用心多矣。近來蒼顏皓首諸司爲重。嫡孫允炆。以九月十三日册爲皇太孫。嗣奉上下神祇。以安民庶。詔告臣民。想宜知悉。

赦藍黨胡黨詔

詔曰。朕荷累世祖宗修仁積德。有感於皇天后土。眷命朕躬。亦命諸英勇者。爲之助平禍亂於諸雄擾攘之時。朕自甲辰卽王位。戊申卽帝位。尊居兩間。兵偃民息。今三十年矣。邇者朝臣其無忠義者李善長等。

陰與搆禍。事覺人各伏誅。今年藍賊爲亂。謀泄擒拏。族誅已萬五千人矣。餘未盡者已榜赦之。猶慮姦頑無知。尙生疑惑。日不自甯。今特大誥天下。除已犯已拏在官者不赦外。其已犯未拏及未犯者。亦不分藍黨胡黨。一槩赦宥之。嗚呼。古之忠臣義士。當時感格人神。歡動祖宗。其亂臣賊子歷代爲患者。不但不能感格人神於當時。亦累祖宗憂囚於地下。朕今大誥臣民。自生疑惑者許以自新。故茲詔示。想宜知悉。洪武二十六年九月初十日。

免江東五郡秋糧詔

詔曰。朕二十八歲渡江。二十九歲入建業。昔秣馬勵兵。與羣雄並驅。旌旗甲杖。一應供給。皆出我江東五郡之民。以此平定天下禍亂。海內甯謐。朕今老矣。思民效勞。無可撫勞。今特以洪武二十八年合納官民秋糧。盡行蠲免。少蘇前日之勞。故茲詔示。想宜知悉。洪武二十八年九月初六日。

仍免江東五郡秋糧詔

詔曰。朕定天下之初。一應供給。皆出太平甯國應天廣德鎭江五府之民。宇內康甯。已有年矣。思民效勞。無可撫勞。今特以洪武二十九年秋糧。不分官民田地。盡行蠲免。均工夫役。依期來赴。故茲詔示。想宜知悉。洪武二十九年八月二十二日。

再選誤落科第詔

詔曰。朕荷皇天眷命。賜有中土。因土宇之廣。人民之衆。日思月慮。精神有限。邇來科第一節。託之儒臣。有

失打點選後朕於宂務隙中將下第文詞過目知爾文詞典雅所答中題一時誤落今後爾再選來復爾科第洪武三十年三月十一日

諸司拖欠稅糧許折輕齎詔

詔曰朕荷皇天眷命代元爲君統一寰宇主宰生民尊稱宇內已三十年矣每念設官分職各有攸司邇年以來各府州縣夏稅秋糧因貪官吏弊不能宣布條章愈見民力艱苦今特敕戶曹行下諸司所有積年稅糧拖欠未完者許折輕齎以免轉勞之苦以息人民欠輸之罪故茲詔示想宜知悉洪武三十年十月□□日

遺詔

詔曰朕受皇天之命膺大任於世定禍亂而偃兵安生民於市野謹撫馭以應天今三十一年矣憂危積心日勤不怠專志有益於生民奈何起自寒微無古人之博智好善惡惡不及多矣年以七十有一筋力衰弱朝夕危懼慮恐不終今得萬物自然之理其奚哀念之有皇太孫允炆仁明孝友天下歸心宜登大位以勤民政中外文武臣僚同心輔佐以福吾民凡喪葬之儀一如漢文無異布告天下使明知朕意孝陵山川已因其故無有所改洪武三十一年閏五月十一日